夕刊
滿洲日報
十二月九日
發行所 大連市東公園町三十一番地 滿洲日報社

露支正式會議の具體的條件提示
蔡氏哈府で露代表に

【ハルビン特電八日發】勞農露國の要求により東支鐵道督辦呂榮寰氏を罷免した支那側は近く交渉處長蔡運升氏をハバロフスクに派遣し正式會議の凡ての條件に關し提案せしめる意向であるも既にモスクワ政府との交渉で奉天において大綱の附議すみであると支那側はいつてゐる、正式會議の議題は管理局長の權限と損害賠償案との二項である

交渉成立の見込
東鐵督辦の罷免により

【奉天特電九日發】露支交渉の支那側代表として圓滿解決のため奔走中の蔡運升氏は此程急遽歸奉し張學良氏と再び打合せをなしつゝあつたが、奉天派としての態度も既に決定せるもの如く蔡氏は八日夜滿鐵線で北行しハルビンへ向つた、東鐵督辦其他の更迭によつて大體成立を見る模樣である

滿洲里へ國際列車
愈よ十二日發車の豫定

【ハルビン特電八日發】滿洲里方面の狀況調査のため領事團から支那側に交渉中の國際列車編成に關し支那側は十二日に發車することの出來るやう目下東支鐵道管理局にて編成中、なほ札蘭屯まで運行せる旅客列車は八日から博克圖まで通じ免渡河と海拉爾間の鐵路修理を終れば滿洲里までの連絡開通は容易であらうと

滿洲里食糧難

【ハルビン九日發電】支那側消息に依れば滿洲里は依然露軍の保障占領下に在り、十一月十七日以來交通杜絶のため同地市民約一萬食糧難に襲はれ馬肉を食しつゝあり此の儘推移せば餓死する者續出する由々しき問題を惹起する悲慘な狀態にあると

ものが開かれる場合帝國は僅か三名の全權では不足を來す事となるので目下之に就て幣原外相と全權增員に就き考究中であるが誰にするかは未だ決定してゐない

濱口首相の時局問題縱横談
選擧法改正は具體化せず
蔣介石氏は結局下野せん
疑獄打切は全く虛妄の噂

【鎌倉九日發電】濱口首相は八日鎌倉の別莊に於て左の如く語つた

選擧法改正問題

選擧法改正調査會設置の目的は政界の淨化、選擧界の廓淸を意味するものである、此問題は一朝一夕に解決するやうな簡單なものではない、之が具體案を作成する爲め黨出身閣僚並に與黨と隔意なき意見の交換を爲し諒解を得た上閣議に提出する考へである、自分が既に調査會長たる事を承認したるが如く傳へられてゐるが問題はまだ具體的に決定し居らず委員を親任待遇にするやうな事は斷じてない

產業合理化問題

之は目下審議會に於て原案を作成して居るから之を基礎として適當な方策を講ずる筈で調査の濟んだものからどし〳〵實行するのが至當であらう

軍縮會議問題

ロンドン會議の全權は米國七名英國五名で分科會と云ふやうな

支那公使問題

現在支那國內の事情が急變してゐるので速に後任公使を決定したいと希望してゐるが近く外相に依つて決定するであらう、蔣介石氏の立場は非常に不利となり結局下野の已むなきに至るであらう、隣國の紛擾は速かに和平統一されん事を切望してゐる

疑獄打切問題

疑獄事件につき政府は去る六日の閣議に於て金解禁實施期即ち一月十一日迄檢擧打切を命じた

純日本式趣向で
牛肉すきやき會
さいべりあ丸食堂で

【サイベリア丸八日發電】本船のシヤトル到着ももう間がないので司厨長は昨夜取つて置きのメニウを持出した、牛肉の鋤燒會である、食堂は三十疊の疊敷に變へられテーブル鋤燒鍋等總て純日本式、乘船以下の日本人は勿論外人船客にも大持でショットウエル博士夫人令孃、太平洋會議濠州夫人代表ヤヤムペル女史等は振袖姿に日本髷の艷姿で出現すると云ふ次第夜遲くまで大賑ひであつた

南京政府没落せば
天下三分せん
于右任氏の時局前途觀

我

國は再び動亂の渦禍に暴露されんとして居るその原因は蔣介石氏が個人主義の專橫に對する反動である、過去に於て蔣氏が汪兆銘氏に對する極端な壓迫は蔣氏のためには却つて自己を危ふくする動因となつた汪氏は既に歸國して居るから蔣氏に對抗して大局に當る事にならう、即ち第三次全國代表大會で選出された中央執行委員會を基礎に乘出すであらう

目

下の情勢では蔣、汪兩氏は對立的關係に在ると觀る事が出來る、即ち蔣氏が西北問題を解決し得てもその勢力を現狀維持で南京に居据わらうとすれば廣東の局勢を考慮外に置くことは出來ない廣東が蔣派の掌中から離れたなら蔣氏は南京に安心して居る譯に行かない、之に反し汪氏が今後直接運動を開始するためには廣東問題の解決が先決問題で汪氏の時局收拾は廣東が其掌中に歸するか何うかに依りて決せられる

閻

錫山氏は元來一個の政治的商人である、今日迄何時もどつち附かずの曖昧な態度を持して打算的に動いて來た、今度は一層その本領を發揮した、即ち馮氏を煽動して事端を捲き起させ一方蔣氏を唆かして大兵を動かさして兩者の疲弊を企てその結果が如何になつても自分は損をせぬ工風を考へて居る

西

北軍が陝西に後退すれば蔣氏はそれまで追擊は出來ない、其處で閻氏が西北善後時宜の格で武器の沒收や軍隊の改編で一と儲け出來るので何方に廻つても損の無い立場に立つた、

國

民黨はその重要政綱の一として「地權の平均」を主張して居るが、今後の紛爭は全く「地盤の平均」から誘發した、黨の主義政策は誠に結構であるが今日では全く看板であつて國民黨の新軍閥は決して舊軍閥に優るとも劣らない、西北軍なども極端な沒收主義で人民は從來の軍閥下に於けるより一層苦んで居る、殊に昨年來の饑饉で餓死せる者は六十萬人以上であり、之に對する各團體の救濟品さへ軍閥に沒收されるので救濟は全く無效である、現在の局面が何う變化するかは豫斷は出來ないが結局天下が三分され北部、中部、南部と鼎立の局面になるかも知れない…寫眞は于氏…【天津發】

信陽の夏斗寅軍
武勝關に退却す
唐軍は信陽に肉薄

【漢口八日發電】唐生智軍の先鋒部隊は既に駐馬店、信陽に迫りつゝあり、同地守備の第十三師夏斗寅軍は武勝關に退却した、同軍は擁護防備をなすはずで、第十一師はまだ前線より南下せず、總指揮劉峙氏は全軍が歸漢するまで當地に留まることゝなつてゐる、武漢は目下の處案外靜穩である

唐軍の武漢入り
田軍よりも早からん

【北平九日發電】唐生智軍は七日信陽に達したが西北軍田動[illegible]先鋒部隊も武漢を衝かんと襄陽に入つた、唐軍は平漢線、田軍は徒歩進軍の唐軍の武漢入りが先になるものと見られてゐる

王錫爵軍後退
滬寧線交通復舊

【上海九日發電】常州にて獨立を宣言した王錫爵の第四旅は南京より急派された第二第八兩師の一部と九一日戰鬪の後八日午後四時ご[illegible]

陸軍の緊縮困難
在營年限を短縮するも
結局經費節約し得ず

【東京九日發電】宇垣陸相は兵役義務者の負擔輕減と產業上の見地から各兵科の在營年限短縮の意圖を有し目下陸軍省內關係局課に於て夫々研究中であるが、一年現役制は種々の點で實行不可能と見られ可能性ある案としては
一、靑年訓練の査問に合格した者は一年三月然らざる者は現制(二年十月二十日)通りとす、右に依り年七百五十萬圓の節約となる
二、現在同樣靑訓査閱に合格せる者は一年半、然らざる者は一年十月二十日、右に依り年五百萬圓の節約となる(以上步兵)
又特科兵案は靑訓査閱合格者一年半然らざる者は現制、右に依り年三百萬圓の節約となる而して右の內步兵の第二案並に特科兵案最も可能性ありと見られてゐるが、之に依つて八百萬圓の節約をなし得るが如きも雜役夫其の他を備ふ必要あり結局節約にはならぬ模樣である

社會民衆黨大會議事

【東京九日發電】社會民衆黨昭和四年度大會は八日午前十時より第一ホテル芝協調會館に開會安部黨首の演說あり、議長に島田維三氏を擧げ各種委員の任命ありて正午休憩、午後一時再開、片山書記長より大阪支部の內紛問題につき經過報告あり質問を保留し六時閉會續いて中央執行委員會に移り大阪支部內紛問題對策につき協議の結果九日の大會第二日には
一、大阪側の質問を極力抑へる事
一、若し紛糾することあらば斷乎として全國同盟並に田萬氏等を除名すること
を決定した

南京行列車顛覆し
乘客多數死傷す
反蔣派後方擾亂頻々

【上海特電九日發】今朝七時五分當地北停車場發南京行旅客列車は黃渡驛附近において線路が破壞されてゐたゝめ顛覆、車輛は大破し乘客に多數の死傷者を出した、右は反蔣派の後方擾亂の一端にして此種擾亂は目下各反蔣團體により計畫されをり當地の人心極度に怯えてゐるところより民船數十艘に便乘自發的に宜興方面に移動した此結果混亂し人心は不安で南京行旅客は皆無である

輸長內相懇談

【東京九日發電】鈴木書記官長は九日午前十時牛込安達內相を訪ひ選擧革正調査會設置の件につき懇談し濱口首相に於ても年內に調査會の大綱を決定し度い意嚮であると傳へた

國際司法裁判議定書調印

【ワシントン八日發電】米國大統領フーヴアー氏はスイツル駐在米國代理公使をして九日國際司法裁判所に米國を參加せしむる三個の議定書に調印すべきを命じた

蔣氏河南平定後
灰色軍を壓迫す
各地將領背叛の原因

【北平特電八日發】石友三軍の叛亂が計畫的なることは疑問の餘地がないが中央軍と西北軍が互角の戰爭をしてゐる時たゞ之を傍觀してゐて

中央軍が

勝利を收め相當の餘裕を持つやうになつた今日に於て事を擧げたのは拙策も甚だしいと一般に觀るところであるが信ずべき筋の消息によれば石友三氏の今度の擧は已むを得ざるものがある即ち蔣介石氏は石氏が馮氏を離れて中央に附隨したものゝ馮氏と石氏の關係は今なほ密接なるものがあつて蔣は石氏に對する警戒を怠らず西北戰爭勃發するや石氏に安徽省主席の好餌を與へて馮軍への變轉を抑へたが西北問題一段落後、蔣氏は石友三、韓復榘、馬鴻逵、陳調元氏らの所謂

灰色派

の驅逐、若くは勢力縮小に取かゝる方針を立てその手始めに石友三軍の半部、第二十七師を廣東增援の名義で廣東に送り石軍の兵力を半減せしめたる後これを壓迫せんとする計畫であつ

製鋼所設立可否は
總裁が上京後決定
今後重要案は重役會議で決定
大平滿鐵副總裁談

昭和製鋼所に對する重役會議は七日で終了したが勿論決定すべき性質のものではなく總裁着任前數回開催した重役會に於て研究した數字上の詳細な說明をなして更に審議を進めた譯であるが同問題は總裁が近く上京の上政府筋と相談し設立するか否かを決定されることにならう、而して設立するとなると各關係のエキスパートと更に研究をなすことにならう總裁の上京期は二十一日のうらる丸の豫定であつたが各種重要案件も近く一段落を告げる筈だから二十一日よりは幾分早められることになるかも知れぬ

滿鐵職制

に就ては過般來研究されたゝめ社員全般に對して通曉されたが今後は重役會議を定期に開催することゝして會社の重要案件は總て同會議による合議制で決定して行きたいと自分は考へてゐる、窯業課長や事務所長等の補充問題は此處三四日中に決定發表の豫定である

法院問題等陳情
辯護士會太田長官に

關東州辯護士會大內、小野正副會長及び六委員は九日午後一時より關東廳に太田長官を訪問し左記事項を陳述した
一、地方法院新築促進の件
一、高等法院の大連移轉
一、北支那控訴、上告の關東廳移管
一、治外法權撤廢に關する件
一、訴訟事務進行に關する件

ガス器檢査修繕
あすから五日に亘り
南滿瓦斯社員總動員して

南滿瓦斯會社では今回奉仕總動員なる標語の下に十日より十四日迄五日間に亘りて全社員出動して各瓦斯需要家を訪問して來所器具其の他の檢査、修繕を行ふ筈であるが、こは歲末に入りたることゝ且つは正月直前など特別に瓦斯使用する場合に於て器具の破損を生じ、正月直前に急に瓦斯會社に

撫順炭山元積出
一日に九百餘車
撫順炭礦の新記錄

滿鐵々道部七日の社內、社外貨物の輸送狀況は十萬七千七十噸で內撫順炭が三萬一百六十二噸ほかに社內貨物一萬噸であるから社外の

營業貨物

は二萬六千噸餘といふ內譯であるが石炭の需要最盛期で積出炭に追はれてゐる狀態であるため滿鐵では撫順山元輸送一日八百五十車を七日から九百車に增加しその第一日たる七日は山元積出九百六十三車といふ撫順炭礦創業以來の記錄を作るに至つた、而して同日は更に大溪湖炭三十五車、煙台炭二十一車を輸送してゐるため滿鐵の線路を走つた石炭車は一千十九車の驚くべき數を示してゐる、殊に石炭需要期は永續のものでない關係上この

最盛期を

逸せまいと滿鐵の貨車配給は石炭輸送に全能力を發揮することになつてゐるから此處當分は石炭輸送上には每日記錄を作つて行くことだらうと見られてゐる、尙四平街、開原、鐵嶺方面の豆粉が一兩日前から平均五六十車づゝ出初めた模樣である

專門的に

破損の虞あるに對しては直ちに修理する筈で、各需要家に於ても豫じめその用意するやう希望してゐると

して之が修理の要求殺到するを例とし完全にその求めに應じきれない憾みがあつたので事前に於てこれを防止し、需要家の不便を一掃せんが爲め奉仕的に素人の眼には觸れないでも

南京外交團對策協議
婦女子は避難

【南京八日發電】上海臨時法院改組會議はフランス委員を除き全部出揃つて居り明朝佛代理公使の入京を待つて開會する豫定であつたが、時局のため遂に延期された、目下の情勢では何時開會されるか不明であり時局が切迫して來てゐるので各國代表は明日米國領事館に參集對策協議會を開き協議することに決した、なほ各國共幾多の前例に鑑み婦女子の上海避難を勸告することゝなる模樣である

荻川放談
露支衝突（其四）（130）

南方の動亂は愈々擴大す、蔣介石の運命も倍々縮まるもの如し、歸順蔣介石の東四省官憲も其蔣介石から漸次に自己の勢威を剝ぎ取られんとして、一寸厭氣が差し居つた矢先き、國內の大勢は蔣介石に背き出す、常時なら支那のことなり、當然それと絕縁すべかりしに、そこに露支抗爭あつて、自己が仕掛けしことながら、單獨で之を處理するは心細し、不離不卽の態度で蔣介石の此間に弄ぞぶ外交に便るところありしが、其外交も爾來なくして、終に露國からの背負投となる、何とあつてもこゝが辛抱じや、露國との妥協じやが、南四省官憲が露國と妥協すれば、とて、毫も退讓なんかの心配は要らぬ、露國とて此喧嘩の原因には、滿洲の不法無理を持つ、支那側は退讓でなく互讓の精神に立ち、其不法無理へ突込んでの妥協を圖すべし、それで再び喧嘩とならば、此場合こそ充分なる列國の同情を負ふて之に臨み得べし、還次の抗爭に列國の同情なきは、支那側が理不盡に仕掛けし喧嘩なればなり、若し支那側にして斯く態度を改めんか、露國はよもや之に刃向ふまい、刃向はゞ列國も默つて居まいが、日本たんかは、其場合こそ一肌脫ぎても善いと思ふ。
◇
誰れ聊か物騷なところに及んだが、支那側の出方次第では、再びそうした喧嘩をたさずとも、還次兩國の抗爭には晃が附くべし、此晃を附けて東四省官憲よ南方の動亂に注意すべきではないか、こたび若し蔣介石が失脚するとせば、其處に一黨專制乃ち黨政なるものゝ、支那に不向きなるが證據立ち、然らば此後をどうすべきかの問題が生れる命の完成に忠實ならば、今から東四省官憲にして、眞に支那革此問題の解決に從ふべしで、外觀を避けて內治に沒頭し、此際どうあつても支那萬年の計を廻らさねばなるまい。
◇
かように憫ふと、過去幾度か提唱されて、未だ實施の域に達したことのない聯省自治、云はゞ聯邦組織みたような政治を支那に布き、これで滿足ゞ出來れば之を基に次第々々と其統一を圖る、此目的での國民會議、國民會議とはゆかずとも、全國巨頭會議如きを、蔣介石下野確定の場合に開いたらどうか、之が古來よりせし支那の政體や、現在に於ける支那の政情に、最もふさわしきものであろやに考へられ、支那一方の覇者たる資格を具ふ東四省官憲などこそ、之を爲さんとせば、乃ち大にそれを爲し得るのである。

短時間に

反蔣の決意をなしたものらしく豫て氣脈を通じてゐた韓復榘、馬鴻逵、陳調元氏らと充分の聯絡を遂げてゐるか否かは甚だ疑問であつたくらゐであるが石友三氏の兵力は現在三萬に達してゐるし、之が蔣氏のお膝下南京近くで叛亂したのであるから南京政府は大狼狽し且つ西北軍に尙再起の餘力を有し廣東の反蔣軍大に振ひつゝある今日、蔣介石に取つて致命的打擊である

て蔣介石反對の行動を取らしむに至つたのである、かく計畫的叛亂ではあるが石友三軍の廣東出動は最近に決定したもので、此命令を受けてからの

たので之を察知した石氏は廣東出動命令を受領すると共に全軍に令し

大觀小觀

山西の閻錫山、オイそれとは出さず。石橋を叩く。
◇
唐生智軍、武漢に入らんとす。自己保存の惱み。
◇
形勢觀望は軍閥の常套だが、得要領な通電で當面を誤魔化す。
◇
蔣氏、辛うじて南京を死守すも、大勢、すでに去れりといふ。
◇
問題は、まだ國民政府なるの存否に懸る。
◇
日本の議會は、いよ〳〵解散といふことに決したらし。
◇
解散、大によし、淨化も廓淸も、ある程度まで、既成現狀の打破より出づ。

人事

▲鮫島滿鐵公司總辦　九日朝來連
▲淵征三氏　同上
▲山崎貞二氏（滿鐵鐵道部）朝奉天より歸連
▲太原要氏　同上
▲寺島由松氏（辯護士）十二日急用にて大阪へ二十五日歸連豫定
▲松岡慎一郞氏（高等學校教授）十日出帆ばいかる丸にて內地へ
▲日高涉氏　前日淸製油工場長上
▲飛田周山氏（畫家）同上
▲八田実森氏（同）同上
▲渡邊晨畝氏（同）同上
▲北沛大助氏（同）同上

天氣豫報

十日（南の風）曇り一時晴れ　但し霧雪模樣
日出　七、〇　日沒　四、二三

各地の溫度

	昨日最低	十一時
大連	零下六、二	四、三
旅順	同　五、八	五、二
營口	同一六、二	〇、八
奉天	同一七、二	一、二
長春	同一九、二	零下三、〇

◇—滿洲醫大アイスホッケー選手—◇

愈よヨーロッパ遠征の途へ

來る二十五日クリスマスの佳き日を期して出發

【奉天特電九日發】今冬を期して歐洲遠征の途に上ることに決定した滿洲醫大アイスホッケー部の十川監督以下選手十名とも頗る元氣で準備を整へるかたはら昨今の寒氣を幸ひ滿鐵上に雄々しい姿を現はし猛練習を續けてゐるがいよいよ來る廿五日クリスマスの日を期して花々しく出發する事になつた【寫眞は右から木下織昌・西久豐且古・北河清・稻葉喜久・高瀬壽久・林清一・牛野進の諸選手】

支那演奏旅行の夫君

藤原氏の後を追ひ秋子さん來連

十二日入港のはるびん丸で 大連で落ち合つて上海へ

われ等のテナーとして若き女性の憧憬の的である藤原義江氏の後を追ふて愛兒と家庭を棄て渡歐し、今秋九月藤原氏が帝都で病むと聞いては遙々とイタリーミラノから彼の病床に馳つけて敢然と世評を一蹴し

◇…愛情の 涙を捧げつけて世人から注目され、藤原氏からは常に「女房々々」と口癖のやうに周圍の人々を惱ます秋子夫人は目下支那演奏旅行の途にある藤原氏のあとを追ふて九日門司出帆の定期船はるびん丸に投じて來る十二日來連することになつた、藤原氏は大連、旅順、奉天の獨唱會を終へて八日夜奉天發天津に赴いたが、來る十二日天津より再び來連し秋子夫人と落ち合つて市内を見物し翌十三日大連出帆の奉天丸で連れ立つて南洋の

◇…歡樂境 上海へ愉快な旅をつゞけその後内地に歸り明春二月手を攜へて布哇へ演奏旅行の途に上る豫定である【寫眞は今年の夏藤原氏が帝大病院に入院中撮つた彼と彼女】

商店街の繁榮策に浪速館の存續運動

磐城町連鎖商店との對抗上 無視されぬ映畫館

いよいよ明十日から開店する連鎖商店街がその繁榮策として映畫館常設館を利用して顧客吸集に新方面を開拓せんとして着々と準備を進めつゝあり、その結果は大いに注目されてゐるが、一方當市内の

商店街 としては從來浪速館を有した浪速町が連鎖商店街へ相當の店舖を引き拔かれ、その上に最近著るしく進出して來た磐城町に新映畫館「大日活」が竣工し映畫館の存在は商店街の繁昌に密接な關係を有し、各都市に於ても映畫館が新に出來るとその附近は自然に

盛場化 するのが常である ところが浪速館は「大日活」及び「常盤座」の如く興行場取締規則によつたものでなく明春の解氷期を期して在來の各館と共に改築命令を受ける運命にあり、且つ浪速館は現在の敷地にては興行場取締規則による改築には幾多の難關を有し萬一興行場取締規則に該當せぬものとして改築命令と共に廢館されるに至れば、浪速町としては映畫館を有する磐城町及び連鎖商店街との對抗上由々しき問題なので浪速町の

有志は 浪速館を映畫館として將來存在すべく當局に運動をなすと共に之が存續につき町内として何等かの方策を講ずべく寄々協議中でその成行は大いに注目されてゐる

北浦畫伯らけふ離連

あらゆる意味において成功を收めたる中日現代繪畫展覽會開催のため滯滿中であつた美術學校教授北浦大助畫伯を初め八田英蓉、飛田周山、渡邊晨畝の諸氏は九日出帆ばいかる丸で歸國の途についたが何れも滯滿期の如く日支親善の上に貢獻多かつた事を語り合ひ乍ら多數の見送り裡に出發した

女になる年ごろ 十四年二ヶ月

【東京九日發電】女が初めて女になる年齡は文化の程度、氣候の關係その他で各國に依り多少遲速があり、我國では平均十四年十月から十五年と大概相場が決まつてゐるが、最近濱田病院長小濱惟清博士の三ケ年に亘つて東京各種女學校生徒四千五百人に依つて調べた結果によると最も早いのは十一年六月で十二年七月から十六年までが全數の九十二パーセント四を示し平均すると十四年二月になつてをり最近二、三十年間の間に約十ケ月早發的となつてゐること、平均期が三十三日四分の一と五日延びたことが判明した

東伏見宮大妃チフスと御決定 本日中宮內省から發表

【東京九日發電】東伏見宮大妃周子殿下には豫記より御歸り後本月一日より葉山の御別邸に御休養中のところ、八日御風氣にて御發熱三十九度前後を示され入澤、[illegible]宮兩博士拜診の結果チフスと御決定本日中に宮內省より發表のはず

珍らしい、けふの煙霧 沖待、繫留で埠頭の混雜

九日未明よりミルクの樣な濃煙霧が折柄の東北風に流されて大連埠頭を覆ひ、めまぐるしい年末の港風景を更に慌たゞしいものにした 煙霧は午前六時ごろ全く埠頭を一色にしてしまひ、行き交ふ滿鐵小蒸汽の汽笛の音、信號所の霧笛信號の響、それらが絶え間なく鳴り渡り、十米突位へだてたところは見分け難く折柄定期船ばいかる丸の出帆日であつたが「さよなら」の聲に引離されて行くばいかる丸すら瞬間のうちに煙霧のためその互の姿が分明しなくなるといふ有樣埠頭でこの日午前六時の調査によると沖待船廿一ぱい、正午迄に入港は繫留されたといふ

交通訓練デー

十日の交通訓練デーには今回は特に歳末車馬行人雜閙を期して各署動員取締に當り大連署にては遊動班三班に別ち特に歩行者の左側通行勵行に努めた

歳やうやく暮れて家出、踏倒し、ドロン頻り

人妻＝宿泊人＝店員＝抱へ酌婦

歳暮漸く迫つて慌しさに追はれた如く家出人の搜査願が續々として大連署、沙河口署宛届けられた、今九日だけでも

◇ 福岡縣京都郡丸田町畠中正房の妻初美(二八)は姑との關係面白からず風波絶えなかつたが長男正喜(二)を連れて家出、先月二十六日出帆の熱河丸にて朝鮮へ向ひ更に大連に來た形跡があるといふので九日夫より大連署宛搜索方願出た

◇ 市內西公園町一五五大日本旅館々長と稱する杉原三十郎(三八)は去る九月十日以來市内信濃町二二泉館に止宿してゐたが宿料六十一圓不拂のまゝ先月五日から行方を晦ましたといふので九日館主より大連署宛搜索方願出た

◇ 原籍名古屋市西區別武町字八幡三三八七、當時逢坂町八〇香月樓抱醉婦太助こと小川キヤウ(二七)は去る七日午後二時無斷家出逃走したので九日樓主より大連署宛搜索方を願出たが、當人は甘井子土木に勵む男の許に逃げた形跡があると

◇ 營口永安街本町一二八料理店大福樓抱へ藝妓福蝶こと樋口アサ(二二)は去る七日情夫元營口商業實習生

殉職警察官の弔慰機關を設立

近く發起人會を開く

警察官の殉職に際し從來何等共濟的の團體が設けてなく殉職者の遺族の待遇に方法等につき待遇の厚薄あり少なからぬ缺陷を認めてゐたが、今回奉天新聞大滿支社長佐藤武雄氏及び滿靑年聯盟の井章次氏等主唱となり、弔慰機關を設立することとなり七日午後市役所に於て各方面關係者の協議會を開いた結果、準備委員を設け具體的案を立てたが、近く發起人會を招集し設立が決定する由準備委員は左の如し

市役所、民政署、商工會議所、兩公議會各代表者、靑年聯盟代表者金、章次、主唱者佐藤武雄

師走！師走！師走！——。忙しいお金の勘定

師走に入つて會社も、銀行も「金」の勘定で忙しい。殊に遣りくりに氣をつかふところは一層のことである、しかし滿鐵の會計課は忙しい中にもゆとりがある、月給、ボーナスが十分に貰へる人々の「金」勘定であるから………。【寫眞は忙しい滿鐵の會計】

荷物方を奇貨にモヒの密輸

岡島一派の片割捕る

先月十四日檢擧せる岡島一派のモヒ大密輸事件については其の後極力大連署司法係に於いて取調中なるも、去る六日午後九時更に原籍山口縣玖珂郡岩國町大字川西一一四當時市内淡路町一四滿鐵大連列車區勤務福屋學善(二七)を引致したが彼は荷物方なる自己の地位を奇貨として數回にわたつて長春川上誠昌堂にモヒを密送し密送料を受取つてゐたものである、なほ彼等一派の現在まで判明した密輸額は六萬圓餘に上り目下引致中の連類者九名に達しいづれも言を曖昧にして密輸の本元を自白しないと

小池善次郎(二七)も共に逃走し行方不明となつたが、年頭により沙河口署では市內搜査中市内黄金町平路屋街に同人潛伏中を發見、

日本で一儲けの支那人送還

一度大連の水上署で注意したに拘らず日本で是非一儲けしたいと僞かに見せ金を握つて先月廿二日武昌丸で出帆した山東生れ林春仲(二五)外九名の支那人は案の上上陸禁止となりそのまゝ九日武昌丸で送還されて來、彼等は何れも家財道具を賣拂つて旅費と見せ金をつくつて日本に渡らうとしたもので今日までに所持金全部を費ひ果して我的ペーチヤン〳〵を繰返してゐる當局では取敢ず青島に送ると した

入日營口より來連した樓主に引渡した

◇ 市内磐城町五一吳服商三河屋店員齋藤今朝太郎(二〇)は一ケ月前より同家外交員として働いてゐたが、去る二日同店購買會日印鑑及び主人より貸與されたる銀側時計を攜帶家出した儘歸來せぬので九日大連署宛搜索方願出た

◇ 原籍石川縣石川郡一馬村字有松當時市内逢坂町末廣ビル二階一號田中四郎(二三)は滿鐵文書課に勤務してゐたが、本月初め免職となり長兒の市內浪速町一四八花乃家本店内田中益治方に同居中、藥商會より蓄音機を買ひ代金不拂の儘行方不明となり九日兄益治より大連署宛搜索方願出た

醉狂て留置

市内沙河口議町十二丁目滿鐵沙河口工場作業員森川實(二四)は七日午後十一時ごろ沙河口仲町明石カフエーにおいて飲酒泥醉の上居合せた客に喧嘩をふきかけ器具を手あたり次第にブチ壞して暴行を働いて居るのを沙河口署員が取り押へ本署に引致した醉の醒めるまで留置場どめ、八日朝散々に油を搾られて歸宅

赤痢やヂフテリヤの病源毒素説覆る

蛋白質でないこと…… 細谷博士の研究遂に完成

【東京九日發電】傳染病研究所で十年來其の研究に從事してゐる細谷省吾博士は赤痢、ヂフテリヤ、破傷風等の病源たる毒素は蛋白質でないとの理論を完成し、從來の醫學界大會に於て斯學界の權威を前にその發表をなす事となつた、之等赤痢、ヂフテリヤ、破傷風等の毒素が蛋白質でないとせば自然之れを中和する藥品を使用して從來より簡易な療法を施し得る事が期待されてゐる、細谷博士は大正八年帝大醫科出身後、研に入り昭和一年學位を得最近二ケ年半の外遊より今春歸朝した人である

日滿連絡上り機

平壤への乘客富川[illegible]彌氏をのせて、九日午前八時周水子飛行場を出發

貴金屬、寶石類專門の大泥棒捕ふ

安東署で手配中の代物

既報去る四日市内小崗子宏濟街貸座敷二十七號において遊興中を擧動不審者として小崗子署員が逮捕した山東省生れ住所不定曲文池(二五)は取調べの結果、曲は去る廿二日午前三時ごろ安東市場通り九丁目四番地雜貨寶石商徐鑑成(三七)方に侵入し、陳列場を破つて在中の繻毛皮十一枚時價五百五十圓、帶止め寶石入十二個百九十五圓、カフス釦十一個百六十七圓、ネクタイピン二十五個八十七圓、ルビーアレキサンダ約二千個六百圓その他貴金屬寶石類總額約千七百五十四圓を窃取逃走しかねて安東署にて手配中であつた稀代の大泥棒であることが判明した

深川工場爆發 十名重傷す

【東京九日發電】八日午後三時十五分ごろ深川區上大島一東京瓦斯會社深川工場の瓦斯溜槽が一大音響と共に爆發し屋根十坪程を吹飛ばし一面火の海と化したが附近消防隊駈付けて消止めた、從業員九名および消防夫一名重傷を負ふた原因は煙草の火かららしい

ガスで絶命

市内大龍街八九藥商康忠懋方店員李殿臣(二七)同王德昌(三〇)の兩名は七日夜煉炭を焚き就寢したが、八日朝平日より起床が遲いため傭人が室內に入つたところ、李は煉炭の瓦斯のため既に絶命し王は土間に落ちて虫の息となつて居るのを發見直ちに博愛病院に收容したので王は生命は取止めた

卸賣物價はぐんぐん下落

前月末に比し五分五厘安
十一月末現在の調査

大連商工會議所調査＝十一月末市內卸賣物價は調査品目七十種中騰貴したもの僅かに五種、低落三十二種の多きに達し他は保合つた、即ち同月中の平均卸賣物價に比し一分弱、前月末に比し五分五厘の低落である、騰落を品種別に示せば左の如くである

騰貴　押麥、馬鈴薯、玉葱、鷄卵、煉乳

低落　白米(朝鮮特等、滿洲特等、同一等)大豆、小豆、高粱、粟、蕎粉(仕三井、竹綠兵船)醬油(龜甲萬)鰹節、砂糖、牛肉(ロース、上肉)ハム、綿系、綿布、銘仙、金巾裏地、晒木綿、モスリン、綿ネル、羅紗、煉瓦丸鐵、平鐵、亞鉛引平板、洋釘疊表、大豆油、大豆、粕

保合　牛蒡、淸酒、麥酒、醬油(大印)味噌、食鹽、茶、豚肉、鷄肉、色甲斐絹、蒲團綿、セメント屋根瓦木材、板硝子、銑鐵、塗料、酒精、石炭酸、石油、石炭、コークス、木炭、薪、燐寸半紙、洋紙

更に類別に依る騰落を指數に於て示せば左の如し(前月比の部は前月物價指數を百としての比較、前年比とあるは前年同期を百としての比較)

類別	前月比	前年比
穀類十一品	九六、五	八〇、一
蔬菜類三品	一三一、五	一六一、一
飲料調味十品	九九、五	九三、四
肉類七品	九九、三	九二、〇
衣料十品	九三、四	八六、五
建築十五品	九九、〇	九二、五
雜品十四品	九九、六	八七、四
總平均	九九、〇	八四、四

近海市況は不況のドン底

繫船問題をも絡んで
船主は正に靑息吐息

海運界の不況は日を逐ふて愈々深刻味を加へつゝあるが、殊に金解禁準備政策により招徠せしめられた一般財界の不景氣の襲來に近海市況の悲況は今や極度に達せんとし、更に對米貿易の不振は近海の船腹を益々

過剩ならしめ現在に於て既に百六十萬噸を越ゆと言はれてゐる、これが爲め、諸お關係により浦港輸出杜絕のため、大連港輸出特産物の增加が却つて大連船腹の過剩となつて現はれ且つは社外船の大連港に殺到するは自然の勢で、各船舶會社は共に貨物の積取りに狂奔する結果として近海市況は愈々惡境の一途を辿つてゐる、而も一方に於て繫船問題は隨時隨所に起つてはゐるが、一度繫船するとすれば更に就航の際

特別檢査のため數萬圓を要するため、資本豐ならざる船舶會社としてはその負擔に耐え得る所でないので、みすみす損失とは事前に知りつゝも貨物の積取りに寧日なきわけであるかくして愈大なる船腹過剩の結果は市況運賃を益々低落せしめる一方で、大汽の如き大連阪神間豆粕九錢を以て契約せりと言はれ內地船主の如きも當地のブローカー業者に對して運賃の如何を問はず兎に角荷物の吸收を依賴せりと言はれ殆どその不況の對策に困じてゐる狀態にある

大連寄託の混保大豆に

滿鐵に獎勵金要望
特產取引人組合委員會で決定

大連取引所重要物產取引人組合では既報の如く六日午後三時より取引所に於て委員會を開催し左の事項其他につき協議を行ひ午後五時閉會した

一、大豆及豆粕先物取引受渡に於ける倉庫料最低料金計算方改定に關する件

現物取引受渡に於ける大豆及豆粕倉庫料最低料金は十日分を賣方の負擔とするに反し、先物取引に於ては受渡當日迄を賣方の負擔とし、取引上不便なるを以て之を現物取引と同樣最低料金十日分の倉庫料は賣方の負擔とする事としては如何と議長より說明の上諮りしに本件は尙充分審議研究の要ありとし之を保留

次に左の二件動議として提案あり之を附議す

一、混保證券は保管期間滿了前相當餘日あるものを受渡に供する件

從來混保證券の受渡に際し保管期間に餘日なき證券により不測の損害を蒙りたる例少からず、依て今後は保管期間に相當餘日あるものを受渡する事としては如何と議長より諮りしに協議の上左の通り決定す

一週間以上の現物取引並に先物取引の受渡に提供する大豆及豆粕混保證券保管期間了七日間、餘日あるものに限る事とし昭和五年五月一日より之を實施する事

右は取引所及信託會社に申請し受渡規程の改正を請ふ事

一、着後混保に非ざる大連寄託の混保大豆に對し獎勵金交付方を滿鐵會社に交涉する件

着後混保、非ざる大連寄託の混保大豆は從來獎勵金の交付なき爲め受渡上非常の不便と不公平なる點あり依て他の團體と協議研究の上一般混保大豆と同樣獎勵金の交付を滿鐵會社に交涉する事に決す

尙來る二十二日公主嶺に於て開催の大豆査定會には當組合よりも委員四名を派遣する事に決定した

奉取の特產上場無期延期となる

長春取引所の吉林官帖の上場も許可は困難

九月來問題となつてゐた奉天取引所の特產上場問題は最初に地元一部特產商の猛烈な反對に遭ひ次いで大連の重要物產取引人組合等三團體が擧つて反對意見を表明し關東廳、滿鐵等に意見書を提出して斷然上場反對の旗幟を明らかにし爲め奉取信託原田專務等の上場運動は一頓挫を來した形となり爾來第三回主務官廳關東廳の意嚮並に滿鐵の態度を確むべく關係者を訪問した結果、如上の反對を押切つてまで此際上場を斷行するは法的形式論は兎も角面白からざる結果を

招來するものとして當分無期延期に決定した模樣であるが同問題はこれにて解決せる譯ではなく旣に滿鐵の內意としては上場贊成に決して居り唯如何なる適當な時機に實現すべきかゞ問題となつてゐるのであるから近き將來に必然何等かの形式で本問題は再燃し來るものと觀られてゐる、尙長春取引所の吉林官帖上場問題も其

明春施行は困難か

滿洲商工會議所令

滿洲商工會議所令は明春早々施行されるかの如く傳へられてゐるが同法令は未だ關係官省に於て審議中で、藤崎商議書記長上京の折も促進方に就き種々接衝を試みたが拓務省方面に於て商埠地と附屬地とを同一意味で包含することに對し反對意見を有するものもあり、依つて藤崎氏は適用範圍に關して疑義があれば取りあへず關東州のみに施行し、其の成績を見たうへ滿鐵沿線商埠地に及ぼすも遲くあるまいから特にこの點を留意し促進される樣諒解した模樣であるが目下のところ明春施行は困難なる事情にあると

後(中略)露亞兩報提出のため支那側の官帖濫發で二百吊、五十元程度に下落し、上場の論據となつた通貨としての安定性を失ひ當分その恢復は望まれ相にないので是亦當分許可は困難となつた

關稅制度の改善

專門的立場から研究

大連商議では昭和製鋼所設置に關し先決問題となるべき關稅制度の改正に就て過般藤崎書記長上京し政府要路と接衝を試みた諸事項を基礎として着々改正要點の調査研究を進めてゐるが、關稅制度の改革は各方面に影響するところ甚大なるものがあるので、貿易、交通工業の各部委員に於ても各々專門的立場から研究を遂げ、之を取纏めて近く役員會に附議決定のうへ關係各要路に向つて具體的運動を起すこととなつた

正金建値引上

【橫濱九日發電】正金銀行は本日建値を左の通り各ポイント引上げたと

對米　四十九弗(八分一高)
對英　二志〇片十六分一

內外銀共買ふ

【大阪八日發電】對外爲替市場の休會明けは正金賣、シチー、朝鮮買にて對米四九弗四分の一(中略)十萬弗、同四九弗分の一にて三井、三菱賣に同四九弗四分の一にて三弗、同四九弗四分の一にて正金賣、チャーター買十萬弗に正金あり正金は極力市場持に努めて居るので氣配は强保合なる、買氣は旺盛である

豆信株主總會

二十四日開催

豆信では廿四日午後二時より本社會議室に於て定時株主總會を開催し本年度下半期決算に關する件、瓜谷長造兩氏任期滿了並に取締役曲子源氏、監査役古賀連氏辭任により取締役・監査役三名選任を附議する、當期損益計算書を示せば左の如くである

△利益之部

科目	金額
賣買手數料	二四〇、八一三
諸預ケ金利息	一一二、五五九
貸付金利息	二二、八〇八
有價證券配當金	六三、〇六五
株式名義書換手數料	二二三
合計	四三九、四六九

△損失之部

科目	金額
諸稅	六一、六二六
營業所座繰越利息	五九
取引人身元保證金利息	六、二四〇
社員身元保證金利息	一、五八二
有價證券消却金	四〇、三五四
雜損	八五五
營業費	五三、二一三
當期益金	二七五、五三七
合計	四三九、四六九

尙ほ配當は舊株貳圓、新株五(年八分の割)として目下關東廳認可申請中

漁業組合總會

評議員を選擧

大連漁業組合では七日午後一時より臨時總會を開き定時總會の決議改正案に付き關東廳へ出願に對する回答を得たる報告をなし尙ほ本組合の業務發展に關し種々協議を重ねた結果評議員十名と組合長監督等を置く事に決し左記の如く評議員を選擧し關東廳へ認可を申請した

村田平次郎、柳村繁雄、(中略)藏、小野木廣治、木原福太郎、木喜太郎、田中由次郎、宮太郎、猪塚茂一

因に役員は本組合の發展を計る爲め目今市場事務所內に於て每日每日午後二時より會合し日々取扱ひたる業務上の研究をなすと

朝鮮米を歡迎

內地の酒造界

內地酒造界で朝鮮米に目を付けたのは二、三年前であるが(中略)朝鮮米が內地酒造界に(中略)本年の如きは木浦產雄町三等品質調査の結果一等に當選の如き好成績を擧げてゐると

鮮銀券發行高

發行總額　一一四、四〇六、七(中略)
正貨準備　六四、四二八、五(中略)
保證準備　四九、九七八、二(中略)

會社解剖

關東州進出の噂ある
大日本製氷會社
營業狀態は頗る良好、次期も一割程度の配當可能

◇大日本製氷會社の設立は大正八年六月創立當初の資本金は九百二十萬圓であつたが、其後逐次內地彼地等の主要都市の製氷會社を合併して現在資本金三千五百八十六萬六千六百圓(內拂込二千八百六十萬二千四百二十五圓)株數は五十圓拂込濟四十九萬三千七百八十六株、十七圓五十錢拂込の新株二十二萬三千五百五十株で東京が本社、札幌、名古屋、京都、大阪、下關、博多、長崎、臺北に出張所を置き全國に百六十一の工場を有してゐるが製造能力は一日直營製氷五千四百八十八噸、冷藏一千四百五十九噸、出資會社が製氷一千二百十三噸・冷藏四百三十八噸である

◇社長は和合英太郎氏、常務が高木藤次、桝谷米市、加藤重治の三氏で其他重役は合併會社だけに二十餘名の多數である、決算期は一月と七月であるが創立以來每期缺かさず一割から最高一割の株主配當を行つてゐる、當社最近の業態を知るため本年九月末開催の株主總會において決定した本年度上半期の利益金處分を示せば(單位圓)

科目	金額
當期利益金	二、五一八、七〇〇
前期繰越金	一二一、二五九
合計	二、六三九、九六〇
內	
固定資產償却金	五〇〇、〇〇〇
法定積立金	一〇〇、一四〇
準備積立金	二〇〇、七二九
役員賞與金	一〇〇、〇〇〇
退職手當積立金	二〇〇、九〇〇
配當金(一割)	一、四三〇、〇七一
後期繰越金	二八四、七五九

◇右表の通り當期利益金は二百五十二萬八千餘圓で利益率は一割七分六厘に當る、昨年上期は決算期變更の結果九ケ月決算であつたけれども利益は二百二十萬圓に過ぎなかつたからそれに較べると本年上半期は非常な好成績である、配當は二分增加の一割を行つたが社內保留金は九十六萬七千餘圓で利益金に對し三割八分以上に當り當社としては近年珍しい餘裕のある決算を示した

◇さて八月以後の下期成績はどうかといふに今までの經過から行くと上期とり更に都合より行く筋合にある、八月になつても相變らず快晴續きで七月よりも高唱の日が多く製氷會社は何れも製造に忙殺されたのだから成績は惡からう筈なく當社は八月に百二三萬の利益を擧げたさうである、九月は降雨が多く早冷の感があつた位だから昨年より幾分不利であるがそれでも四十六七萬の利益を擧げ十月も九月程度の成績となつてゐる

◇十一月以後の三ケ月は冷藏用の季節になるのだから大した事は望まれないが當社は同業者に三百萬圓內外の投資をしてゐるしこの配當收入は決算期の關係で上期より下期の分が多く上期の八萬圓位に對し二十萬圓を下らない見込である、以上を合計すると下期利益は二百五六十萬圓となる勘定だが事實は之よりモット增加するといふのは諸稅金が激減するからである諸稅金は納期の關係で其一部分を上期に納入するから下期は極めて少い、上期に較べると二十四五萬圓も少くて濟むさうだ、それで結局下期利益は二百七八十萬圓に上る見込で配當の一割維持は既定の事實とみられてゐる、當社は昭和三年七月龍紋氷室の合併以來著しく利益率が低下したとみられ更に損害金の增加で會社內容について少からず懸念されたこともあるが如上の成績からみると時節柄としては先づ有望堅實な會社とみるが妥當であらう

金！金！金の米國

彼等の事業上の特徵？

機械による大量生產主義

(五)　弗と米人氣質……田畑爲彥

金が豐富であつて企業熱の旺盛なアメリカの國民性は自然そこに醸成されて通貨易等の盛大を期することは當然の

結果であるが、今これ等の事業を經營するについての彼等の事業上の特徵を見るに何んと云つても前に述べたやうに國民の消費貨物の單位の標準化されて居る關係上國內消費貨物を始め凡てが大量生產主義であり得るのと、大量生產であるが故に自然機械本位となつてその惠まれた巨大な天然の工業原料に依つて機械製產は迅速に殆ど人手を用ひずに多くの貨物は生產されて居るのであるそして又國內消費はこの廣い大陸に年々增加しつゝある人口の產の要を環境に依つて刺戟されるのである

これ等の大量生產の迅速な機械的企業の發展について一面この國の人民が各種の人種と色々な階級の人々によつて成立つて居る關係、前に述べたやうに特殊の技術や才能を持つてゐる者があるため自然企業發展の上に於て色々の發明考案をなし從つて生產の量と質の改善向上を圖ることが出來るのである、それ等の發明考案をなす者はこの大陸の富源に着眼し必然的に大量迅速な生產に比例して益々增進の一路を辿りつゝあるのだ

黃塵

◇…滿鐵消費組合は創立當時の趣旨から言へば(中略)

◇…滿鐵も一方には小賣商人を脅威す。(中略)し大百貨店式の經營を行つて金融を行ひ更に油類のためとあつて輸入組合新設に便宜を與へる。

◇…これで邦商共喰ひの際助長した形である。

◇…邦商も保護と壓迫を交られては一體感謝してよんでよいか判らないであ(中略)

市況

奧地高て高粱强調

市場電報

大阪株式、東京株式、大阪期米、東京期米、大阪綿糸、大阪棉花、神戶豆粕、橫濱生糸、印度麻袋、現物前場、正金(金劃定)、鮮銀(金劃定)、手形交換高(九日)、奧地市況(前九日場)、特產、錢鈔、材料區々乍ら鈔票低落、上海爲替情報、上海標金、爲替相場(正九午日)、株式、內地變らず當市保合、銀、豆、株、綿花、前場、後場(弱保合)、商品、現物取引

平安異香 (194)

葉多默太郎作　中一彌畫

戀の行方（二）

サッと顔色を變へたが、それを見せまいとするやうに俯向いて、飛び立つ心をじつと押へただみ聲で

「髑髏の紋袋を持つた女、心當りがないでもねエのだが、それがどうかしましたか」

そつて、下からじつと男の顔色を窺ふ陣十郎。旅商人はその陣十郎を目据ゑて、

「さうか、心當りがあるか。で、ゐなくなつたのは何時のことだ」

「二年昔の春だつたが、それが、一體どうなんだね」

「二年か、なるほど、さうだらう――その女がお前屍骸になつて出たのよ、屍骸になつて……」

いふと陣十郎、思はずせきこんで、

「どどこからだ、え、おう、何處から出たんだ」かぶさつて來るのを男は輕く流して、

「なあに、なんでもないのさ。心當りがありやそれでいゝ。その女は何といふのだな」

訊いたが陣十郎は答へない。顔を覗くと、險惡な顔色をしてゐる。

男は、そこで始めて態度を變へたくよつと前屈みになつて、

「陣十郎、わしは使廳のものだ、黒住源八郎といつて――おぬしは知つてゐたのだらう、どうもわしを知つてゐる樣子だつたわしはおぬしを知らないが、おぬしはわしを知つてゐた。さうだらう」

「へえ、へえぢやないや。知つてゐたらう」

「へえ、存じてゐました」

「ぢや、訊くことは返答して貰はう。その女は何といふのだ」

「藤つていつてました」

「さうか、藤か――それで、その藤といふ女が髑髏の圖柄の入つた紋袋を持つてゐたのでな」

「さうなんで――實はその藤つてのはわしの娘なんで。先刻こゝにゐたのが妹娘で、藤が姉娘――髑髏の圖柄の入つた革袋はわしもこゝに持つてゐる。これと同じものを姉娘に持たせてあつたんでございます。が旦那、藤が屍骸になつて出たといふのは本當なんでござんせうか」

「うむ、眞實だ。ふとした機會でわしが見付けた」

「それは一體、何處なんで……」

「そいつは今こゝでは云へない。そのうちに話をすることにならう、今は我慢をしてくれ――で陣十郎、その藤といふ女がゐなくなつた時のことで、何か心當りはないか。例へば、何處へ行くといつて出たとか、誰に誘はれて出たとかいふ」

「………」

「なにかあるだらう。あろらしいおぬしの顔つきだ。云つてしまつてはどうだ」

「………」

陣十郎はもう源八郎には耳をかしてゐないやうだつた。何か深く考へこんで物をいはないのだつた源八郎は、その樣子をじつと見てゐたが、例の辛辣な冷笑が、髭の伸び次第になつた頬を走ると、同時に松の根の腰をあげて、

「まあいゝ。それだけ聞けばなんとか目鼻がつくだらう。陣十郎、邪魔をしたな」

云ひ捨て、爪先走りに淀川堤へ驅あがつた。堤へ上ると、柳の下に二人の男が待つてゐる。配下の高倉四郎と下僕のからつけつの猷兵衛。何れも旅商人の風體だ。

「面白いものが手に入つた。とにかく歩いてみるものだな」

何時になく上機嫌な源八郎だつた。

「四郎、おぬしはこれからすぐ鐵原へ引返して、日向へ行つてくれ日向はお蘭の方の生母の故郷で、お蘭の方が二十の年までゐた所だ行つてお蘭の方が入道殿と父子對面のために上京した前後の事情をとくと調べて來てくれ。ふとすると案外な土産があるかも知れない なるべく詳細を調べて來るのだ。いいな」

「承知いたしました」

高倉四郎はピチ/\した魚のやうな活氣を見せて、そこからすぐ鐵原へ引返した。

源八郎はある重大な使命を受けて京都へ潜行中だつたので、そのまゝ京都へ急いだ。

「お大將、棕から出た女屍體の、下手人のめつこがついたつてわけで？」

「うむ、まあ、さうだよ――」

源八郎は笑つてゐた。

映畫と演藝

潮に乘る北斗

絶對的大衆映畫である。放蕩者で腕のたつ武家の二男坊、色好みの年増女、隱密をつとめて居る二男坊の兄、おとなしい二男坊の許嫁、そして慘忍な海賊の頭領、舞臺は異國情緒溢れる長崎である。此のクラシカルな背影の前に亂舞する妻三郎、川田芳子以下の姿を我々はすみほに受け入れる事が出來やう。

◆が何と云つてもストリーが簡單な爲に人物の紹介などが完全でない。從つて時々事件がひどく唐突だつたりする憾みがある。キヤメラも相當苦心してあるし、セットも凝つたつもりではあらうが、それ程の效果をもたらし得ず、かへつて少し惡洒落に墮して居る。あまり監督の企畫が大きすぎて、いわゆる眼高手低の結果に終つたのではあるまいか。

◆妻三郎の演出は近頃めづらしい味を見せて居るし、川田も忘れられて居た昔を思ひ出すに充分な若さを見せては居るが、妻二郎、芳子共に其性格の變化に強味が少しもない。殊にラストシーンに至つては、昔のオペラの眞似ではあるまいし、安價なセンチタルの盛澤山で思はず「妻三郎よおやめなさい」と云ひたくなる。

◆文句はともかく、面白く見られる映畫である。肩が凝らずに妻三郎のチャンバラに滿足出來る點だけでも興行價値はあらう。

噂話

けふの船で小波痴外氏が淋しく歸つて行つたが▲既報の如く同氏を繞り仲間の美談が傳へられてゐるが、その後乘船劵を買つた人なぞが出て一層關係者を感激させた▲土曜日から日曜日へかけて暖かゝつたので各館とも賑はつた▲常盤座は開館の準備がすつかり整つたが、肝腎の建築の方が遲れてゐるので豫定通りの開館が難しいのではないかと懸念されてゐる▲また連鎖商店のパンフレットによると三月開館となつてゐるが、あれは何かの間違ひだらうと評はれてゐる▲これは早く連鎖商店で訂正するなりマネキンを使つてハツキリした開館日を宣傳した方が得策だらうと噂されてゐる

滿洲日報
日本繪卷物集成
第五回配本濟!至急書店へ御申込下さい一回分揃てある
源氏物語繪卷・狹衣物語繪卷・寢覺物語繪卷・枕草子繪卷
發行毎に益好評人氣愈沸騰 會費毎月拂二圓送料十六錢
書道講座
編輯顧問 文學博士 尾上柴舟
會員募集 締切十二月廿日限
見本進呈
第一回配本開始
岡山高蔭著
日本書道研究
至急書店へ
大特典著者肉筆進呈
1 短册・懷紙の書方…阪正臣
2 色紙の書方…千葉胤明
3 手紙の書方…中村春堂
4 日本書道研究…岡山高蔭
5 和様概説…尾上柴舟
6 碑帖の研究…樋口銅牛
7 漢字の書方(楷)…丹羽海鶴
8 漢字の書方(行)…丹羽海鶴
9 漢字の書方(草)…丹羽海鶴
10 漢字各體臨書…比田井天來
11 支那文字の史的研究…中村不折
12 文字の歴史…後藤朝太郎
硯及筆墨紙研究
東京神田今川小路 雄山閣 振替東京二四二二七
大日本史講座
第十三回配本濟 吉野朝時代史
回を重ぬる毎に益好評・東洋史と姉妹講座にして受驗用・教授用・研究用に好適即刻申込下さい
東洋史講座 第二回配本開始 東洋文明發生時代
小學生全集 菊池寬先生編輯 八十卷
豫約會員募集
日本名著全集 興文社版 全三十卷
江戸文藝之部 (甲種十五册)(乙種十五册)
入會金 甲種乙種とも會費と全然別にて 金五十錢
會費 甲種乙種とも毎月一册づつ配本にて一册 金一圓七十錢
本日〆切 五日〆切の講座も本日迄に限り有効
入會金 初級用も上級用も別々にて 金四十五錢
初級用(毎月二册配本入函) 金九十錢
上級用(毎月三册配本入函) 金一圓卅五錢
東京市日本橋區馬喰町二 興文社 振替東京一八四四番
活版・石版 印刷所 滿日社印刷所

にきびとり
美顔水
心ある御家庭には是非常備せられたき皮膚衛生藥
(一)ニキビ、吹出物――婦人は固より男子方でも、ニキビや吹出物の多いのは見よいもので御座いませんが、この藥は頑固なニキビや吹出物にも確かな効能がありますので信用を博して居ります。
(二)蚤、蚊、南京虫――その他毒のある虫にさゝれた時、この藥を附けますと、不愉快な痛さや痒さが止まり、さゝれた跡が腫物などになる事が御座いません。蚤や蚊で夜お子方のムヅかる時など、この上ない重寶な事がおわかりになります。
(三)皮膚を美しくす――斯ういふ藥ですから、常用すればニキビ吹出物を防ぐは勿論、皮膚は次第に磨きこんだ樣に綺麗になり、顔の美しさを增しますので、心ある御家庭には常備せられて居ります。
發賣元 (東京・大阪) 桃谷順天館

乳兒.幼兒.專門
幡井醫院
電話四八五九番
世界第一、良品廉價
振つても落しても止らぬ時計
ハフィス振動不感時計
特徴
振動不感
指示正確
機械堅牢
日章印極厚側
滿洲特約店
大連
奉天
哈爾濱

ノーシンのむので仕事がズン〱

蜂ブドー酒
岡本一平
(五)
一平
近藤利兵衛商店謹製

和平正式會議における露支兩國の主張要點

東支鐵道の駐軍權限保持と重要職員の任用復活問題等

【奉天特電九日發】蔡運升氏は協定書に基き正式會議開催準備のため約二週間の豫定でハバロフスクへ向ふたが、聞く所によれば議定書の中心問題は支那側としては妥協的交渉を進める意嚮であるが、主張點は駐軍權限保持を主張しロシア側は松花江の航行權並びに東支鐵道重要職員任用復活を主張しをるため前途に多大の難關は横たはるといはれてゐる

軍備撤退交渉成立

【ハルビン特電九日發】露支交渉全權に任命された蔡運升氏は正式會議打合せの爲本日午後四時半着哈、ポグラニチナヤへ向ふ筈であるがロシアとの軍備撤退交渉は成立したと傳へらる

蔡全權哈爾賓着

十日哈府に向ひ出發

【ハルビン特電九日發】露支交渉全權蔡運升氏は九日午後四時卅分奉天より來哈、十日ハバロフスクに向ふ筈であるが、支那代表今回の露領乘込の目的は去る三日ニコリスクにおける議定書に對する張學良氏の同意を得たので、更にハバロフスクでロシア全權シマノフスキー氏と會見し國境軍隊撤退、兩國の監禁者釋放正式會議期日と其の地點等につき商議決定の上正式に東鐵の原狀回復に關する議定書に調印し公文の交換を行ふ順序である米國の警告等に依り廣汎な國際的色彩を帶去る七月より露支兩國間にさしも紛糾を見た東鐵の原狀回復問題も、支那代表今回の露領乘込みで漸く大詰めとなり愈々正式會議に入る譯である、奉天政府はハルビンで正式會議を開くことを希望してゐる

蔡氏長春を通過

【長春九日發電】露支和平準備交渉を纏め復命のため盛に奉天に赴いた蔡運升氏は正式交渉全權に任ぜられ今朝當地通過ハルビンへ向つたが、南三日ハルビンに滯在準備を整へてハバロフスクへ行くと語つた、なほ正式會議地は明言しなかつたが同地で行はれる模様である

防露軍幹部不正暴露

給與品を着服

【奉天九日發電】目下戰線にある奉天軍は給料の不渡りを始めとしてその待遇甚だ惡く防禦具等も完全に行渡らざるため銃器を攜帶し居るにも拘らず兵卒は大部分高粱殼をすゝり防禦具の不足にふるへて居る有様で殊に甚だしきは各所より添附した慰問金品の如きその大半が分配されて居ない狀態で其間之を横領して居るものあること が判明したので今度は更に此方面の調査をすることにしたが調査の進行に從ひ防露軍幹部の橫領事件が暴露するらしいと

奉天當局は最近防露軍の狀況を調査せしめたところ奉天當局としては防禦具糧食等充分の給與をなし居るに拘らず逃走土匪の群に入るものが非常に多いので此の報告を受けた

山階宮茂麿王 臣籍御降下

伯爵に列し葛城姓を賜ふ 近く勅許を仰ぐ

【東京九日發電】近衞步兵第一聯隊御勤務山階宮茂麿王殿下は愈々臣籍に御降下あらせらるゝ事となり、來る十一日樞府本會議及び來週開會の皇族會議の議を經たる上勅許を仰ぐことゝなつたが、臣籍御降下の上は伯爵に列せられ葛城の姓を賜ひ從四位に叙せらるゝ筈である

南京に全國大會を開き 時局收拾策を討議

閻、馮兩系並びに西山派要人の 太原重要會議で決定

【東京九日發電】其筋着電に依れば閻錫山氏は最近太原に馮系及び西山派要人を集めて會議を行つた結果
一、今後政局收拾には廣東派汪兆銘氏と共同し氏を國民政府首席に、閻氏を總司令に推す
二、外交部長は伍朝樞、唐紹儀、陳友仁三氏の內より推す
三、財政部長は從來の財政狀態を調査した上適任者を選定す
四、一黨主義を排し政黨政治を行ひ省、市黨部は地方自治團體とす
五、政治、黨務は汪兆銘氏に一任し軍事は閻錫山、張學良、馮玉祥唐生智氏等を委員とする軍事委員會にて決定
六、近く南京に第三次全國大會を開き政治、黨務、軍事を討議す
と決定し西山派首領謝持氏は之を攜へて七日北平發香港へ向つたが此結果汪、閻兩氏の協議となり時局の進展を來すべしと見らる

在留の婦女子に 自發的引揚勸告

上村南京領事より

【南京九日發電】領事團會議の結果英、米は在留婦女子全部に引揚命令を出すことゝなり、我上村領事は在留婦女子に對し上海に自發的引揚の勸告を今朝發した、なほ英、米、佛、獨各國婦女子は昨日午後全部上海に避難した

支那公使は 愈よ小幡氏

南京政府に對して アグレマンを求む

【東京九日發電】支那公使は前トルコ大使小幡酉吉氏に決定し、政府は目下南京政府に對しアグレマンを求めつゝあるから、右回答次第直ちに閣議に附議決定の上任命さるべしと

河南を目ざし 西北軍進發

蔣氏は滬寧線死守か

【北平九日發電】陝西省境にある西北軍は石友三氏の通電に呼應し隴海線にて東進し、先頭部隊は既に洛陽附近に到着して居り、目下の情勢では湖北は唐生智軍が掌握する模様で西北軍は河南を目ざして居る之に對し蔣介石氏は下野前最後の抵抗を試むべく武漢河南方面を放棄して南京に直屬軍を集中し滬寧線を死守するものと見らる

支那兩鐵道 時局のため不通

【北平九日發電】石友三氏の兵變以來津浦線は濟南浦口間不通となり又平漢線は六日より北平鄭州間折返し運轉をなし鄭州以南は不通となつた

組閣の披露宴 伊東伯等出席を拒絕

【東京九日發電】政府は來る十九日午後六時より官邸に倉富、平沼樞府正副議長以下樞府各顧問官を招待し組閣披露を兼ねて懇談する計畫であるが、多數顧問官は既に……

屈辱外交の 責任回避の手段

【奉天特電九日發】張學良氏が今回の露支準備交渉議定書調印問題を中央政府に報告し之が承認を得たことは既報の通りなるも右は屈辱外交による東北商民に對する責任逃れにやつた手段であると

國際勞働局 紡績業委員會

【ゼネバ一九日發電】國際勞働局紡績業調査委員會は本日開會、英、米、佛、白、獨、伊、日、支等二十ケ國の羊毛、棉花、人造絹糸、紡績等の現狀につき機械設備勞働時間、賃金、保健、事故防止、失業問題等を研究の筈である

蔣氏危機を脫す

反蔣軍と持久戰か

【南京九日發電】武漢方面約一萬の蔣直系軍の南京集中豫想外に早く中央軍側に優勢となり、蔣介石氏の身の危機も去つた觀あり政府側に安堵の色見られてゐる、石友三、唐生智軍對中央の對戰は持久戰に入らんとする模樣である

小橋前文相 近く召喚か

【東京九日發電】小橋前文相に就ては既に書面審理終了せりとか斷擇の親戚毛で嫌疑されて既に取調一段落等と傳へられるも何、れも宣傳に過ぎず近く檢事局に召喚取調を受くるものと見られてゐる

出席が快諾したるも伊東伯以下有力者は何れも病氣其他の事情で缺席するだらうとの情報に政府は大いに狼狽し關係が手分けして出席を勸誘諒解を求めることゝなり九日鈴木翰長は伊東伯を訪ひ政府の意嚮を述べて出席を懇請した、之に對し伯は政府の意は諒とするも病氣の爲め豫定し難しと答へたとの事である

予は飽くまでも 革命達成に努力

蔣氏記者團に聲明

【南京九日發電】蔣介石氏は八日支那記者團に左の如き聲明を發した

予の下野に依り革命が順調に進めば兎も角然らざる限り決して下野しない、現に北洋軍閥、共產黨再起の虞れある際予は飽くまで革命達成に努むべし、石友三、唐生智等は問題とするに足らず、先づ廣東を平定したる後反革命分子を剿滅せんのみ

研究會常務員 會開催

【東京九日發電】貴族院研究會定例常務員會は九日午後二時から事務所に開會、同會明年度豫算額を決定後時局問題に關し意見交換の結果

政府の緊縮政策は財界に過度の影響を與へ其の不況は歲末に及んで一層深刻化し此の儘放任せば商工業者の打擊大なるものあり、之が緩和の爲め國產獎勵、產業振興策にも政府は然るべき措置を講ぜねばならぬとの意見も出でた模樣で同四時散會した

兵役義務者の 待遇審議會

九日に初總會を開催 十日から具體的研究

【東京九日發電】兵役義務者及び廢兵待遇審議會初總會は九日午後二時より陸軍省に開會、會長宇垣陸相、阪谷男、武藤山治氏以下兩院議員其他の委員約卅名出席し宇垣會長の挨拶に次ぎ幹事長杉山軍務局長より今後の幹事會の方針を述べ午後七時散會したが、明十日より續會し具體的研究に移ることゝなつた、政府の諮問事項は左の如くである
一、現役兵及び其の家族の待遇に關する件
二、在鄕軍人及び其の家族の待遇に關する件
三、廢兵及び其の家族並に戰死、公傷病者の遺族に對する待遇の件

尚本會議は軍事救護法の改正、恩給法改正、軍實業務與優先權、編纂道運賃割引、點呼旅費支給、在營兵一等親の傷病の際旅費の給與鄕せしめる件等も必ず議題となるべきも、之等は經常財源を要する爲め其の實現には國營徵兵、非役壯丁稅等の創始を考慮することゝならう

大藏省の査定峻烈に 植民地當局は憤慨

强硬な態度で緩和要求

【東京特電九日發】植民地豫算に對する大藏省當局の査定が峻烈を極め今のところ步み寄りの復活さへ望みなき狀態にあるので、各植民地當局は何れも憤慨し如何に緊縮の折柄とは言へ內地と植民地を同一視し一般會計同樣特別會計を査定するは餘りに特殊事情を無視した遣り方であつて、既に三ケ年度も緊縮續きであるからこの際復活要求を認めざるに於ては植民地行政の上に惡影響を及ぼす虞があるといふので、その緩和につき何れも强硬な態度で大藏省に迫る模樣である

對策協議

關東廳にて 西山部長に返電

明年五年度の關東廳國費豫算は目下大藏省主計局に於て査定中であるが、同局では既報の査定標準に節減を基準とし豫算の節減削除或は事業繰延べ等をなすこととなつたる結果、豫算額は既定經常費及び新規事業に大斧鉞が加へらる可く豫想されてゐるが、滯京中の西山財務部長は九日電報を以て本廳に右繰延べ或は削除すべき經費を問ひ合せする所があつたので本廳では午前十時半より第二會議室に於て課長會議を開會、主計局の査定案に對する對案を協議直に返電する所があつた

撫順製油所 創業遲延

撫順製油所の火入式は頁岩油……

失業對策の 基本的條項

九日社會政策審議會 特別委員會にて決定

【東京九日發電】社會政策審議會失業對策特別委員會は九日開會、失業基本對策中左の件を決定したが殘りの分は尙一、二回を以て大體年內に完了したる上同審議會は答申を行つて廢止される筈である決定事項左の如し
一、每年一回大正十四年に施行せると同樣の失業統計調査を行ふ國勢調査に際しても失業統計を調査事項中に加へること
一、失業共濟施設の充分なる發達を圖る爲め之が監督及び助成に關し適切な方法を講ずること
一、失業保險制度に就ては種々議論あるも我國情に適合する施設を爲すべく之が調査を行ふこと
一、失業基金制度は週期的失業現象に備ふべき失業防止策として將來實施のため調査を進めること

選擧制度改正の 委員會愈よ設置

年內に第一回委員會を開く運び 內相と與黨幹部懇談會で決定

【東京九日發電】安達內相は選擧制度改正調査會設置につき九日午前十一時半內相官邸に民政黨の富田幹事長以下十氏を招ぎ與黨幹部と懇談會を開き、席上安達內相より「選擧の廓淸の爲め當面の問題としては現行選擧法の嚴正公平な運用に努むべく內務省にて調査研究せしめてあり、又恒久的問題とし選擧法の大々的改正の爲め調査會を設けて政界淨化に努めたい」と述べ、與黨幹部も之を諒とし右調査會は至急設置に努め年內に第一回委員會開催の運びに至らしむる事に決し、午後一時協議を終り午餐を共にした

領事裁判權 「撤廢問題研究」

權威ある第三者招聘

【東京九日發電】列國の管理する上海共同租界當局は支那側の領事裁判權撤廢要望と在留外人の利益との妥協點發見を期し、第三者として國際的名聲ある南アフリカの法律家リチャード、フイーザム氏を招聘研究せしむることゝなつたフ氏は此の種問題につきアイルランド、印度、ヨハネスブルグ等に於て經驗深く功績の有つた人で一月八日上海着の筈である

農產物貿易に 審議會冷淡

【東京九日發電】農林省では生絲を始め綠茶、手皮、除蟲菊、豌豆等我對外貿易上重要なる農產物多きに鑑み國際貸借審議會に對し此等農產物の生產獎勵と之が海外取引改善に關する具體案を提出審議方を要求し、二ケ月に亘つて省內各局にて調査研究の結果具體案を提出したが、審議會は一顧の審議すらなさず葬り去つてしまつたので農林省では政府の態度に非常な不滿を有し今後產業合理化その他各種の調査會に對して資料の提出を見合はせると敦圄いてゐる

らざるかと見られてゐる、從つて重油及び粗製油が撫順から大連へ輸送されるのも三月末の年度內には實現不可能な狀態にある、一方最近豆油の出廻り激增して大連埠頭に於ける豆油タンク(二千五百噸入六基)も殆ど充滿したゝめ重油タンクとして設備されてゐた二千五百噸入タンク六基も三基乃至四基を殘して他は豆油タンクに改變することゝなつた、また輸送重油タンク車二十輛(一輛はベンゾール輸送車に使用中)も當分豆油輸送上代用すべく目下その準備中であると

の設備改善のため延期されてゐるが或は年內に開所式擧行困難にあ

特別會計豫算

【東京九日發電】九日の政務官會議に於て小川大藏大官は鐵道各植民地其の他の特別會計來年度豫算は來る十三日大藏省議を開き兩三日間に議了閣議に提出の豫定なる旨報告した

關東廳豫算も 慘澹たる狀況

西山財務部長より 嚴重に復活を要求

【東京特電九日發】各植民地特別會計豫算は既報の如く拓相より提出したる對策に就き大藏省主計局に於て嚴重査定中であり、各主管事務官と各會計當局との間に種々折衝を重ねてゐるが、大藏當局の態度は意想外に峻烈なものがある緊縮方針を楯に一般會計同樣の緊縮豫算を飽く迄も編成せんとする氣組みで各會計當局に當つてゐるので、現在のところ各種目とも

金解禁準備を目標とする

四年度實行豫算の限度を一步も出さしめず既定經費の節約の如きも復活要求の一部分は之を認めず、また新規要求もホンの少額を認めるに過ぎない有樣なれば各植民地當局は何れも啞然たるものあり、それぞれ特殊事情を力說して少しにても多く豫算を得んことに腐心してゐる、そのうち關東廳豫算に就き之を聞くに他の植民地と同樣の憂目に遭ひ新規事業及び既定經費節約と共に

慘澹たるもの

のあり、關東廳の輸出保證制度試驗擴張などの經費は何れも望みなく、最も期待してゐる警備費の如きも一部分の承認に過ぎないので、西山財務部長は直ちにその內容を本省に打電訓令を仰ぐと共に大藏當局に對して嚴重な復活要求を試みてゐる

滿蒙日本人紳士錄

附 滿蒙銀行會社要覽

民衆黨大會 第二日議事

【東京九日發電】社會民衆黨本年度大會第一日たる昨日は總同盟對全國同盟の對立鬪爭が爆發せんとする形勢に見えて散會となり漸く危機を脫し得續いて開かれた緊急中央執行委員會は徹夜の努力を以て全國同盟大阪辯護士團の說服に努めたが同意を得られず散會し同盟、全國同盟とも徹宵作戰を凝らして今日の會場に現はれたゝめ定刻に至るも第二日を開會するに至らず、黨本部は再び中央執行委員會を開きたる上午前十一時四十五分漸く開會され殺氣漲る裡に大阪內紛問題は各府縣聯合會並に各支部より小委員を擧げ總同盟より齋藤賢一、大矢省三を加へて小委員會を設け一切の討議を之に附託すべしとの動議を强硬的に成立させて正午休憩直に別室にて小委員會を開會した

不良鮮人 頻に橫行

東邊道一帶に

【奉天九日發電】奉天省東邊道一帶に居住する不逞鮮人は最近支那軍隊が國境に出動して警備力手薄となりたるに乘じ盛に暴威を振ひつゝあり、去月三十日には間島に於て我領事館巡査が狙擊されて死亡したる事件などあり一般居住鮮人は大恐慌を來してゐるが一方鮮人の多數居住する敎化縣に於ても亦不逞鮮人の橫行甚だしく彼等は朝鮮革命軍の軍費を募集すると稱し鮮農に多額の寄附金を强要して步いてゐる、而して到るところにて强盜を働くので最近では敎化老頭溝間は殆ど旅行者杜絕の有樣にて右敎化縣にても居住鮮人は自衞の方法につき寄々協議を遂げて居り外出に際しては何れも拳銃を攜帶して行動するといふ有樣であると

東北商民に 資金貸附

【奉天特電九日發】東北商民は屢報の如く內憂外患による金融逼迫のため疲弊のどん底に陷り倒產者續出し地方農民は銀安、奉票暴落により特產出廻りに遭遇せるも資金調達不可能で各縣商務會より此等窮民の救濟に關し奉天當局に申請中であつたが今回省政府主席の命により官銀號の一件につき奉天洋二百萬元を限度とし償還期間六ケ月とし貸附を實施する旨各縣知事に通達した

水師營記念碑

本日除幕式擧行

關東廳內滿洲戰跡保存會では過般來乃木、ステッセル兩將軍會見所として有名なる旅順市外水師營會見所に記念碑を建設中であつたが、最近すつかり落成したので今十日午前十時半から碑前に於て除幕式を擧行する由

齋藤總督上京

【京城特電九日發】齋藤總督は來る十日京城發東上の途に就き廿三四日頃歸任の豫定である

ヤング氏歡迎會

米國のデレゲートとして京都太平洋會議に赴いた米國代表中の唯一の滿洲通なるウォルターヤング氏の歡迎晚餐會は、昨九日午後六時より青年會館に於て開かれた、集つたメンバーは中川主事、澤村、石村、手塚、千葉夫妻小原氏十四名にて、食後ヤング氏はこの度の太平洋會議の內容を語り九時散會した、尙ヤング氏は近く歸米ジョンスポプキンス大學に於て支那關係の講座を持つことゝなつたと

はるびん丸

十日午前九時大連港外着の豫定である

はいかる丸船客

【門司特電九日發】十日大連入港のはるびん丸の主なる船客

關東廳警務局長中谷政一、日本皮革會社技師增井諦司、美術品商貫志彌三郞、菅原裕、佐藤俊美、松岡剛、伴毅一郞、成田茂一、岐部與平、小澤太兵衞、高羽秀吉、二等主計中家貢秀

人事

▲染谷保藏氏(盛京時報副社長)遼東ホテル投宿中の處九日午後十二時發列車にて歸奉

安東子

鴨綠江採木公司の日本側理事長高尾亨氏が今夏就任以來同公司支那側代表于國翰氏と折衝に頗る圓滿に行つてゐるさうだ▲それは高尾氏が外交官出身だけに總て交涉にかけて手腕があるにも因るが、第一原因は高尾氏は支那語を巧に話し、于氏は日本語に通曉してゐる所から一日は兩者が支那語を以て用件を協議し、次の日は日本語を用ゐるといつたやうに日華兩語を交互に使用することにしたので意思疏通上非常に好結果を齎してゐるといふ▲最の日支親善を期するには相互に相手國語に通じてゐることが必要なことは此一例でも判る。

特產 定期後場(銀建)

▲大豆(穀調)單位

限月	寄付	高値	安値	大引
十二月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
一月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
二月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
三月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
四月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

出來高 百二十八車

▲普通大豆

▲豆粕(保合)單位

限月	寄付	高値	安値	大引
十二月限	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
一月限	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
二月限	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
三月限	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
四月限	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

出來高 四萬五千枚

▲豆油(保合)單位

限月	寄付	高値	安値	大引
十二月限	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
一月限	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
二月限	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
三月限	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

出來高 一千五百箱

▲高粱(碾調)單位

限月	寄付	高値	安値	大引
十二月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
一月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
二月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
三月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
四月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

出來高 二百十五車

▲包米(出來不申)

現物後場(銀建)

混保大豆(袋込) 寄付 六五〇〇 大引 [illegible]
(裸物)出來高 二十車
普通大豆 出來不申
豆粕 一二九〇
出來高 一萬枚
豆油 一八二〇
出來高 一千三百箱
高粱 四二八〇
出來高 二車
包米 出來不申

商品 後場

麻袋(保合)
銘柄 約定期 約定値
鐵筋 延十二月末 三〇[illegible]
同 延一月末 三一[illegible]
同 延三月末 三一[illegible]
出來高 十二萬枚
綿糸布(出來不申)
麥粉(出來不申)

錢鈔

定期後場(單位)

期	寄付	高値	安値
近期	八〇三〇	八〇三〇	八〇[illegible]
遠期	八〇四〇	八〇四〇	[illegible]

出來高 近期 百五十[illegible] 遠期 百九十[illegible]

現物後場(單位)

時刻	銀對金	銀對洋
一時半	八〇三五	一二六三五
二時半	八〇三五	一二六三五
三時半	一	一二六三五

出來高 銀對金 三萬[illegible] 銀對洋 一萬[illegible]

神戶特產(九日)

大豆現物 [illegible]
先物 [illegible]
豆粕現物 [illegible]
先物 [illegible]
滿洲小麥 [illegible]
豆油現物 [illegible]

大阪期米

限月	後場寄	後場引
十二月	二八三九	[illegible]
一月	二八三三	[illegible]
二月	二八四一	[illegible]

大阪株式

銘柄	後場寄	後場引
株新	不申	[illegible]
紡新	五九〇	[illegible]
鐘新	二三九 〇二六	[illegible]
日郵	不申	[illegible]
東新	[illegible]	[illegible]

東京株式(長期)

銘柄	後場寄	後場引
東新	一一〇三〇	[illegible]
鐘新	不申	[illegible]
船新	不申	[illegible]
東新	一二九九	[illegible]
株新	一二〇〇	[illegible]

東京株式(短期)

銘柄	寄	引
新株	不申	[illegible]
品中	不申	[illegible]
中新	不申	[illegible]
先新	不申	[illegible]
中先	不申	[illegible]
先	不申	[illegible]

豆
五品 寄付値 不申 引値 不申 高値 不申 安値 不申

滿洲日報　小賣商店の合理化

何れも彼も合理化の時代だ。小賣商店のみ時代の潮流から遅れることは出來ない。しかし合理化には苦惱が伴ふ。この苦惱を乘切り、合理化したかと思ふと、また次ぎの時代に合理化せねばならぬ。そこに小賣商人の奮鬪を必要とし、不斷の努力が要求せられるのである。

昔は老舗などいふものがあつた。何代目かの何兵衛が、その老舗の主人として、ともかくも暖簾を張つて行くことが出來たのだ。ところが時代は常に進歩する。物質的進歩は社會組織、商業組織をも、根柢から革命し來つた。合理化とは、要するに新時代の要求に順應すべく、小賣商店が安定を求めて落ち着かんとするに外ならぬ。然るに時代のテンポは加速度であり安定したかと思ふと、次ぎの時代へと安定せねばならぬので、小賣商人の苦惱は際限ないといふことになる。そこで、どうしても苦惱を奮鬪して、打ち勝つだけの覺悟と努力とが必要となつて來る。

アメリカには小賣商店王といふジョン、ワナメーカといふやうな人物が躍出した。小賣商店の痛苦は世界共通であつた。否、アメリカでは日本などよりも早く、小賣商店の受難時代が襲ひ來つたのであつた。ワナメーカは小僧から賣子となり、あらゆる受難と奮鬪しそれに打ち勝つて、つひに小賣商店王といはるるまでになつたのである。これ彼が、小賣商人は顧客の購買係なりのモットオを以て徹底的に奮鬪努力したからに外ならない。消費者の購買係、これ小賣商人の拳々服膺すべき格言であらねばならぬ。

現代の自由競爭的なる經濟組織（資本主義的であつて自由競爭の時代にあらずとの論もあるが）のもとにありては、小賣商人は出來るだけの努力によつて、自由競爭に打ち勝つて行かねばならぬ。經濟組織の變革を要求することは別とし、現實に生活して行かねばならぬ小賣商人としては、出來るだけの奮鬪により、競爭に打ち勝つて行かねばならぬ。それには、どうしてもワナメーカの格言のやうに、商品の消費者すなはち小賣商店の顧客の購買係たるの心懸けを以て進まねばならぬであらう。

現在の經濟組織を以てしては、どうしても、商品を生産者から最も近道を通つて消費者の手に渡さねば嘘である。すなはちなるべく中間商人の手をくぐらぬことが肝要であるのだ。中間商人の手を、一回でも多く通るといふことは、それだけ小賣物價を高くするといふことになるのである。小賣商人は、購買者の身になり、一錢でも安く賣ることを第一哲學とせねばならぬのである。これすなはち、仕入において吾人は、一層の努力を商人諸君に要望するものである。次ぎは資金關係である。殊に滿洲の如き銀資本を相當に利用することの出來るところにあつては、ストックの半分ぐらゐを金資金勘定にして置くほどの心懸けがあつて欲しいと思ふ。また金資金勘定であつても、その運轉度數を多くすること、すなはち薄利にても可なり、成るべく早くストックを資金化して資本の回轉を迅速にすることである。それには購入組合の如き、または共同仕入の如き、出來るだけ色々の方法、組織を利用し、購買者の利益本位で努力すべきである。

尤も、かくいへばとて、購買力あつての小賣商店である。この大連の購買力は、果して如何。滿洲の商品消化力は、如何の程度であらうか。その調査、觀測を誤つてはならぬのだ。店飾りや宣傳をあかあかとつけたところで、購買力すなはち一般社會に、その商品を消化するだけの力がなかつたならば、それこそ暖簾に腕押しとなる外はない。新らしい商店街が出現したとしても、それを消化し盡すだけの購買力が一般社會に存せぬ限り、その商店街が、如何に小賣商店の合理化を具備して、眞の合理化たる安定といふところに到達し得ぬことは當然である。

電燈などをあかあかとつけ、數からいつても、また質からいつても、商店數に比較して購買力の充分でないところに、合理化を求めんとしても、それは出來ぬ相談である。麥を作るには、まづ畑の大さから極めてかゝらねばならぬ。商品を消費し得る地盤の廣狹、力量如何を測定することが肝要である。尤も、社會の進歩發達を見越して、一石を打つことは別であること勿論だが、また經濟界の好況不況といふことも考慮に入れねばならぬこと勿論だが、在來のやうに、商品を列べ、店舗を張りさへすれば、自然と客は集まる、商品は捌ける、食つて行けるといふのでは、決して小賣商店の合理化といふことは出來ぬのである。

購買組合の勃興なども、ある意味からすれば小賣商店がそそつたともいへやう。ただ購買組合がは常生活の必需品（それも程度問題で、その限界の測定は困難だが）以上に、贅澤品まで配給することなどは考へねばならぬが、小賣物價の低下といふことは、購買組合の勃興によつて緩和されたりといふべく、しかも要する購買組合は士族の商法であり、專門の小賣商人にして、あらゆる方面から小賣商店の合理化を期するにおいては、その商品の消費者たる一般顧客は合理化されたる小賣商店の味方たることは當然でなくてはならぬ。

要するに現代は、何も彼も合理化せねばならぬ時代である。小賣商店もまた合理化して時代の要求に順應して行かねばならぬ。小賣商人は顧客の購買係でなくてはならぬ。次ぎから次ぎへと要求せらるる小賣商店界の合理化も、この覺悟と努力さへあらば、常に新時代に安定して行くことは必ずしも至難ではあるまいと思ふ。

時局の影響で電燈も苦境
哈洋建て料金を徴收　高橋北滿電氣支配人

【ハルビン發】北滿電氣高橋支配人は最近の状況につき語る

ハルビンは洋票の暴落で哈洋建で電燈料金を徴收してゐるので會社は歩が悪い、一キロワット十七錢五厘では金票の十錢をケコムので立たない、其れに本年は時局影響で新築家屋も少く工場、會社も節約、操業短縮で電力の使用率も減じてゐる上に電燈を使用して營業するレストラン其他が戒嚴令のため早く時間を切り上げるので打撃を受けてゐる、其外海拉爾の支那軍潰退に怖れた有産階級の人々が南下避難するなど全く文字通りの火の消えた狀態で會社としても經營は困難である、値上げは今のところ考へてはをらぬが、支那側電業公司も矢張り觀銀値段で一キロワット十七錢五厘としてゐるが苦いことだと思ふ、尚ほ北滿及支那側電業はいづれも五千キロの電力を有してゐるが使用供給量は約三千五、六百キロ内外であると因に支那側電業は新市街と傅家甸に到る電車の運轉を開始してゐる

南征雜錄　(54)
難波勝治

臺灣の地勢

島と琉島との相違こそあれ、臺灣と朝鮮とは同じく西向きの國である、北西二方面は蒙古風吹き荒む日本海の怒濤に洗はれながら、太平洋岸の緩斜面を和やかな黒潮に浸す本州とは反對に、朝鮮も臺灣も日いづる東の空を背にして、西部の平野を臺灣の運命に**愛撫哺育**するかのやうに、兩地の斯した地勢が齎す必然性は、その開發史上に種々の痕跡を色附けて居るが、殊に臺灣に於て其區別を明か認め得る若し基隆とその周圍に凝集する山嶽とを扇の要とすれば、中央山脈を劃して東の半分は疊んだ襞に、西の半分はサラリと開いて南風を迎へて居る形である、恰度そうした地理的形勢を逐ふて、赤道附近の熱帶圏から北上したインドネジヤ族や、支那東岸から來航した閩族が、茂鬱草の鬱蒼たる西部臺灣に最初の根據を据ゑたので**書契以前**の南洋民族移動は勿論、中世紀以後に於ける歐洲文明東漸の跡に見ても、この地は常に世界交通の要衝に當つて居たが、今や日本の文化力及び經濟力が南進につれて、同じ意味の重要價値は益々濃く厚くなりつゝある、人類史學の示す所によれば、最近の日本民族を構成した分子中には確に黒潮に棹さして北進した熱帶種族が混入して居た、然し夫は國民全體に血肉的浸透力を有つて居なかつたにせよ、其處に家屋の構造、衣服の樣式、宗教觀念に就て南岸から攜へ來つたらしい**素樸剛**な中核があつてその後輸入された支那からの大陸文明を、完全に吸收融和するだけの消化力を具へて居た事は確實である、隨つて日本近時の經濟的南進氣運も、曾て數十年前に北流した民族移動熱が、一轉して發祥地に還元せんとし、此往返反覆の間に足溜りたる臺灣の開發は益々緊要の度を加へつゝある、就中急務中の急務は東部臺灣の產業化で、その現狀は少を西部に比して非常に見劣りする、試みに統計に依つてその一例を擧ぐれば、全島四百三十四萬の人口中、西部に生息するものは四百萬以上で

東海岸は人樂文化共に言ふに足らぬ、昭和三年一月一日現在の耕地面積を瞥見するに、有租地八十三萬三千八十七甲歩、無租地四十一萬二千九百四十九甲歩、その州別に依る内譯は左の通りであつた

▲有租地表（甲歩）

州廳名	田地	畑地
臺北	五四、七五〇	三三、五二一
新竹	七九、四〇四	三七、一四一
臺中	七三、七七九	四九、一〇三
臺南	八〇、一〇〇	一六一、七五四
高雄	六三、〇一四	六三、三六一
澎湖	—	七、六六〇
臺東	四、八〇七	七、〇二三
花蓮港	六、八〇四	一〇、三一五
計	三八〇、七〇八	三八八、八七五

（田畑合計七十七萬六千五百三…

牛肉小賣に就て大連市民に告ぐ（二）
渡邊精吉郎

今年の九月上旬に大連市の助役に瀬谷氏が就任せられたので、私が挨拶に行つた節、瀬谷氏は私に牛肉の小賣問題はどう成つたかとの質問があつたので、私は市こそどうされたのか、市から私に御依頼があつて計畫したのであるが、今春有耶無耶に了つた切りに成つて居るが、市ではどう成さるお考へかと反問したのです、瀬谷氏はそれから今でもやつて貰へるかと問はれたので、其際から山田氏に電話で問合せたら、賣場さへ市が提供されるなら、何日からでもやつて宜しいとの返事があつたので、それでは實行する準備をすると共に、市では一應市場の牛肉商に私の採算を打明けて、値下げをすることが出來ぬかと交渉されたのですが、商人連は採算が困難なことを述べて、百匁を金五十五錢迄は下げると云つたが、最後に五十三錢迄に歩み寄つたのですが、市では判く販賣店を設置することを見合せて、在來の商人に安く賣らせて見ようといふことに成つたのです。

然し私はそれでは決して希望する樣な結果を見ることは出來ないと、思つたのです、なぜ私の出來る事が商人連では出來ぬかといふと、元來何故に大連では牛肉がこんなに高いのであるかといふことを、市民諸君に知つて貰ひ度いのです、それは牛肉商全部が暴利を貪るからであると一概には云はれ無い、暴利は素より暴利であるけれど、市場の牛肉商連は、此高い値段で賣つて居ても、決して一ケ月何百圓といふ、莫大な利益を得て居るのでは無いのです、場合に依ると喰つて行けるのが一杯で、悪くすると若干の缺損が出るといふ始末です、事實ですから仕方が無いですが、誠に不思議千萬の樣ですが、それは主として日本人の牛肉商の營業方針が間違つて居るのが原因で、厚利少賣主義を行つたからです、公設市場肉ですら、支那商人は値切ると値引をするが、日本商人は値引せぬ、日本人の店では日本人の買手は値切ることを氣の毒がるが、支那商に對しては氣樂に値切れる、結局日本人の店では餘り買はなくなつて、支那商に得意を奪はれるので、日本人各店の賣れ高が誠に少く成つた爲、營業の經費から高く賣つても、百匁當り高く附くのと、仕入が少量宛である爲めに、原價が非常に高いのです。

支那官憲が不逞團と通牒
坪井警部補の殉職で判明し　わが官憲の態度强硬

【間島發】坪井警部補の殉職に端を發し延吉縣[illegible]の支那官憲が贈賄を得て不逞の徒を庇護し中には義兄弟の誼を結んでゐる者さへあるといふ驚くべき事實が發覺したので今回の搜査事件に對して支那側が共同搜査を謝絶したかつたのも警察主權問題の外に右の如き事情の潜在してゐることが充分判明した爲め我警察の態度如何によりては從來の協調主義を一擲せんとする強硬態度を示すに至つたところ之を看取した支那軍警首腦部は非常なる衝動を受け近く延吉警備軍司令部に天多防會議を開催して匪賊及び思想犯の徹底的取締に就て協議することに決し敦化、額穆、延吉、和龍、汪清、琿春の各縣長及び琿春を除く各地駐屯軍の長官並に公安局長に對してそれぞれ召集の通牒を發した模樣である

交渉成立しても特產物は大連へ
松田鮮銀理事語る

【京城發】中東鐵道問題に對する奉露交渉成立の結果、現在大連に集中されつゝある北滿特產物の一部が再び浦鹽に向けらるるのではないかと觀せられてゐるが、松田鮮銀理事は左の如く語つた

問題勃發の直後、既に明年二月までの先物が成立してゐたし二月以後の先約も引續き成立してゐる筈だ、此等は何れも大連經由で船のチャーター等も總て大連を目標に行はれてゐるから、今東支鐵道問題が解決したとしても直に浦鹽に廻るやうなことはなからう、本年の北滿特產物は東支本部線に出廻るものゝ一部を除けば大部分は大連へ集るものと觀ても不當ではなからう

吉林省保衛團改組延期

【吉林發】吉林省政府は今回國民政府より「露支紛爭惡化の折柄保衛團の改組は今後時局の解決するまで延期すべし」との訓令に接したので、此旨を省保衛團管理處に通達し同處は更に之れを管下各縣に轉報した模樣であるが、之れに依り今春來計畫中であつた保衛團改組は既に改組濟みのものを除く外延期となつた譯である

海拉爾は無事
チタから入電

【ハルビン發】海拉爾の最近の狀況がチタからハルビンに打電されて來た、通信は電信を利用したもので海拉爾は安全であると記されてあるきりであるが海拉爾滿洲里間の通信はこれによつて完全に通じてゐることが判る

永衡官銀號で林場を閉鎖
吉海線で出材する迄

【吉林發】吉林永衡官銀號が吉敦沿線黄化松林場の境界線不明を理由として開放を肯ぜず爲めに在吉林日支木材業者は勿論吉敦沿線在住民の生存にも關する重大問題とされて居るが右に對し某方面の觀察では現在の如く吉敦沿線から伐出する木材が吉長鐵路を經て滿鐵線に輸送される樣では省資本で敷設された吉海鐵道の利益とはならぬ故に吉敦鐵路と吉海鐵路の連絡が完成し出材が悉く吉海鐵路に依つて南滿に輸送され其利益を省庫に收める事が明確となつた曉には永衡官銀號が其林場の閉鎖を解く方針であらうと云はれてゐる

學校騷擾の善後策
齋藤總督曰く

【京城特電九日發】齋藤朝鮮總督は十日夜京城發二週間の豫定で東上するが、九日正午記者團に對し最近頻發する學校騷擾事件に關し語る

流言蜚語に困つてゐる、大體教育の根本精神に就ては朝鮮のみならず内地でも考慮の餘地がある、背後の煽動者を早く處分して善良な學生の被害を少くしたい、今度の上京は政務打合せで特殊な問題は持つてゐない

避難民を保護

【吉林發】吉林省政府は今回省内各縣及設治局員に向け「國境附近在住民中露支時局の影響を蒙り避難し來る者に對しては一律に之を收容し衣食住を供給する樣」電命したと云はれてゐる

哈市の花柳界
歐亞不通で打撃を蒙る

【ハルビン發】東支東西兩部線の國際杜絶と冬になつた爲め旅客も減少しハルビンの日本人旅館は非常に寂しく人影もない位ゐであるが時局の影響は旅館ばかりでなく一般料理店の如きも歐亞聯絡の開通してをらぬため、歐米歸りのお客がないので打撃を受け矢倉、武藏野、大吉等の一流料理店は地場の客以外特別の收入がないので悲鳴をあげてゐる

奉天

讀書慾に富む兒童に良い書籍
圖書館が二千圓で買入れる

氣候風土その他周圍の關係にもよらうが滿洲における各小學校の兒童は内地のそれに比し四季を通じ冬季は殊更讀書慾に富んでゐるので兒童の前途を慮つた教育家有志は色々な方法で會を組織し兒童讀物選擇、蒐集などに努め善導せしめてゐるが、奉天圖書館でも約二千圓を以て兒童の讀物を選擇し各方面に亙るものを揃へ兒童文庫又は各小學校を巡回讀ましめる巡回文庫なるものを作る計畫を進めてゐる二千圓の兒童讀物選擇は實際上十圓ですら選擇讀物を購入しかねる程多數得られるため之が實現の曉には在奉各小學校兒童は勿論沿線の兒童も非常に惠まれて來る譯である

▲ブレスト氏（太平洋會議オーストリヤ代表）八日安奉線急行にて來奉
▲サドラ氏（同上）同上
▲呂榮寰氏　七日夜歸奉
▲周四洮路局長　七日四平街へ
▲太原本社支配人　八日朝來奉同夜歸連

瀋陽駄話

緊縮、節約の鐵が飛打されて以來どこもかしこも緊縮一天張りで二の文句も告げない▲かうなると一年に一度の歳末大賣出しにどんな影響を及ぼすであらうかとその身ならぬ他のものまでが不要ぬ心配をしてゐたものであるが▲サラリーメンは別に收入の減じてゐるのでなくそれに緊縮でもしたらどれだけ貯金がせられるであらうかといふのであるが▲歳末大賣出しこれは各商店の商品整理でもあらうが一年中一番かき入れ時である緊縮とは云へ顧客を迎へ大いに賣り上げるそれは商賣柄已むを得ぬ▲故に各商店は顧客引つけのため鳴物で例年以上の大宣傳を行つてゐる▲宣傳の效空しからず各商店ともボツボツ時價品の賣れ行きを見るそしてその數は日を逐ふて增加するやうだ▲全く宣傳の效果ですよ不要な處には節約して時に應じて大いに宣傳するのも緊縮の眞理にかなつた道ですよ▲との或商人の話、尤もだが商民もかうした方面に漸次目覺めて行くのは何より喜ばしい事だ

最低氣溫十七度三
寒かつた七日

昨報三日來奉天における氣溫も著るしく降下し七日の如きは最低十七度三を示したが右氣溫は今冬に入つて最初の最低氣溫であると

町の便り

八日の日曜日は近頃ない小春日和に惠まれて市中は年末大賣出しで大賑ひを呈したが一方滿鐵舊グラウンドのスケート場もファンで盛況であつた

◇

駐滿滿期兵の關東廳巡査志願者の採用試驗は八日午前九時より施行された受驗者は沿線各地より來奉せるものも合して卅八名に達し午前中は學科試驗午後は身體檢査が行はれた

◇

梅村蓉子は七日撫順に赴き八日歸奉したが同日午後五時半發安奉線急行で歸國した

◇

熊本出身力士司天龍事田代喜市氏は九州相撲一行から離れ奉天に來り當地相撲道のため盡力することになつたが八日午後五時十間房萬の家に於て盛大な斷髮式を行つた

◇

滿洲醫學會支部では九日午後四時から醫大第五講堂に於て例會を催した

◇

支那問題研究會例會は九日午後四時から奉天公會堂に於て開催され太平洋會議を中心とする滿洲問題について佐原盛京時報社長の講演があつた

◇

我等のテナー藤原義江氏の告別獨唱會は七日午後七時より春日小學校に於て開催されたが、さしもの講堂も定刻まで既に滿員の狀態で無慮千名に達し氏獨特の獨唱には何れも恍惚として陶醉してゐたかくて午後九時終了し盛大なる歡迎會が開かれた、猶同氏は村岡樂童氏と共に八日朝北寧線で天津に向ひ上海經由赴歐する由

◇

この程陽チブスで醫大醫院に入院した奉天署高等係の清水熊吉氏夫人はその後容體よからず遂に七日午後四時死去した猶葬儀は九日午後三時僖々町葬儀場に於て營まれた

人事

▲須藤大連憲兵分隊長　七日來奉
▲河合關東廳事務官　七日夜長春より過奉歸旅
▲金丸滿鐵監査役　七日安奉線急行にて來奉
▲藤原義江氏　八日天津へ
▲村岡樂童氏　同上

吉林

材木同業組合の陣容漸やく整ふ
改めて枕木問題陳情

吉林材木同業組合では過般商議會の際滿鐵會社への枕木請願書に關し討議を行つたが、右請願書の内容に於て元請願の議員と下請願の議員との意見の相違から遂に三ケ島、赤池、吉武諸氏の辭任申出でに引續いて總辭職を招來した、そこで去る二十八日臨時總會を開き商議員改選の結果、三ケ島、寺尾、前田、久禰出、奥田、岩田、平尾の七氏當選を見たが又復三ケ島、前田、寺尾三氏が辭任を申出ると云ふ情況で其上に組合長候補者と目され居る久禰田孫兵衛氏が旅行不在の爲め組合長以下役員互選の議員會が遷延されつゝあつたが愈々去る五日夜居留民會に於て新任商議員會を催し其結果豫測の通り組合長に久禰田氏副組合長に奥田一郎氏有給理事に奥田氏兼任會計に平尾芳次郎氏の當選を見た然るに當選した組合長久禰田氏は會社業務の都合上就任し難しと固辭した爲め再銓議を行つた結果組合長に奥田一郎氏、副組合長に岩田廣次氏就任に決定した、茲に於て過般來揉めに揉め拔いた吉林材木同業組合も漸く安定し愈々滿鐵會社に對する請願運動の實行に着手する模樣である

江風會謠曲納會

吉林江風會では來る十五日午後九時より松江倶樂部に於て、本年度謠曲會を開催し男女會員一同が目出度く謠ひ納める事になつたと

劍道部の納會

吉林劍道部は愈々來る廿二日尋常高等小學校講堂に於て本年度の稽古納めを行ふ事になつた

人事

▲吉林關司令部顧問林大八氏　出奉中の處五日夜歸吉
▲吉林總領事館栗本書記生　嘉屋屬外一名は吉海鐵道沿線へ出張
▲同館片柳署長　敦化方面へ出張中の處歸任
▲吉林滿鐵公所長栗野俊一氏　七日吉林出發京城方面へ出張

鞍山

教化動員聯合會愈よ活動を開始
廿日映畫會と講演會

過般新らしく組織された鞍山教化總動員聯合會では會の目的を達成する第一回の試みとして來る二十日演藝館に於て映畫會及び講演會を開催する事となつたが更に印刷物を配布する等で各役員は總動員の實を擧げるべく努力して居るが聯合會會長は林地方事務所長に決定したが會の規約は左の通りである

第一條　本會は鞍山教化總動員聯合會と稱す
第二條　本會は左の學校及諸團體を以て之を組織す
一、中學校
一、小學校
一、各種各派宗教團
一、修養團鞍山支部
一、實業青年團
一、青年聯盟鞍山支部
一、在郷軍人會鞍山分會
一、各種婦人團
第三條　本會は國體觀念を明徴にし精神民神を作興し經濟生活の改善を圖り國力を培養するを以て目的とす
第四條　本會の事務所は之を鞍山地方事務所内に置く
第五條　本會は其の目的を達成する爲左の事業を行ふ
一、講演會、映畫會等の開催
一、印刷物其他の刊行頒布
一、其の他本會の趣旨に適したる事業
第六條　本會に左の役員を置く
會長（一名）委員（若干名）
第七條　會長は鞍山地方事務所長之に當り本會を代表して會務を統理す
會長事故ある時は會長の指名したる常務委員之を代理す
第八條　委員は第二條の諸團體の代表者、鞍山警察署長、鞍山製鐵所事務課長及社會主事之に當り本會に關する重要なる案務を審議す
第九條　本會は委員中より左の常務委員を設け本會に關する事務の遂行に任ず
一、鞍山警察署長
一、鞍山製鐵所事務課長
一、神道團代表者
一、佛教團代表者
一、基督教會代表者
一、修養團鞍山支部代表者
一、青年聯盟鞍山支部代表者
一、實業青年團代表者
一、在郷軍人鞍山分會代表者
一、鞍山婦人團代表者
一、社會主事

製鐵所の滿洲設置に賛成

大連に於ける製鐵所州内設置運動は漸次熾烈となり期成同盟會の成立を見て之が實現を期することゝなつた由であるが未だ運動の具體的方法は講ぜられて居ない模樣で其運動の豫備行動として奉天、撫順、鞍山三地の各代表機關の了解を求むべく期成同盟會長石本大連市長は市會議員蔦井新助同相川米太郎二氏と同行にて八日午後二時八分着列車で來鞍し實業協會堂に於て地方委員議長增田直次、同副議長石川義助、鐵入組合理事長元藤三郎、實業協會長植田貞造の四氏と會見し種々懇談する處あつたが此運動が鞍山、大連の夫々の立場からは其土地を第一の候補地となすものであるが大體の方針は朝鮮を廢して滿洲の適地に設置する事を要望するのが目的で此點は鞍山側としても了解する處があつたと

製鐵所問題で地方委員協議

鞍山地方委員會では大連より製鐵所州内設置に就て後援方を依賴して來たので七日午後一時半から地方事務所に於て緊急委員會を開き協議する處あつた

開原

市場會社定時總會

開原市場會社にては來る十七日午後一時より同社に於て第二十二回定時株主總會を開催
一、營業報告書、貸借對照表、財産目録及損益計算承認の件
二、利益金處分に關する件
三、監査役高橋健氏任期滿了に付改選の件
を附議する事となつた

開原臨時總會
解散を附議

開原銀行にては營業を滿洲銀行に讓渡したるにつき來る二十一日午後二時華商公議會に於て臨時株主總會を開催し同行解散及び清算人選任の件を決議する事となつた

遼陽

石炭檢斤は成績良好

遼陽警察署では七日朝市内一齊に行商人、商店等の度量衡檢査を實施すると同時に市内に運搬する石炭の檢斤を實施したが行商人の秤には可なり不完全のものもあつたが從來兎角の評あつた石炭は斤量不足もなく成績良好であつたと

民食輸出取締

遼寧省政府委員から縣政府へ七日附の訓令に依れば本年の農作物は省内一般に不良であつたのみならず戰禍の爲め明年の收穫まで果して主要民食に不足するなきや懸念に堪へず若し民食に不足を來すが如き事ありては忽ち生計困難に陷るを以て各縣長は管内商民に布告して管外への輸出と買占めを嚴重に取締ることゝなつたと

エスキモー人の雪のお家

冷たい氷の上に温い夢を結ぶ

雪のお家……なんていふと何だかお伽ばなしのやうですね だが北極の近くに住んでゐるエスキモー人はほんたうに雪でお家をこしらへて住んでゐるのですよ。北極つてどこだつて？そりや、ずいぶん遠いところなんです。奉天よりも、長春よりも、ヘルビンよりもいや/\/\北の方の年中雪や氷にとざされたそれは/\寒いところです。その北極附近は半年晝で半年夜の不思議な國ですが、そこにはエキスモー人と言つて大人でも背が普通の子供位しかない人々が住んでゐるのです。きつと餘り寒いから大きくなれないのでせう。此のエキスモー人は冬になると雪でおうちをこしらへます。雪でお家が出來るものかつて？ところが立派なお家が出來るのです。先づ一晩の雪が積ると、エスキモー人たちは雪の材木を……え？雪の材木は少し變だつて？ではまあ雪材とでも言つて置かうか、その雪材を長さ三四尺、幅二尺、厚さ五六寸位の大きさに切り、之をまるで煉瓦でも積むやうに圓形に重ねて行つて、まんまるい屋根のお家を作るのです。このやうにして出來た雪のお家は風が吹いたり雪が降つたりする度毎に益々堅くなつてしまひには堅固な家になります。私達のお家を造るのには二ケ月も三ケ月もかゝりますが、エスキモー人は二人がたつた八時間餘りで高さが十二尺、廣さが十五六疊敷位の大きなお家を建ててしまふのです。そこには地鎭祭もなければ棟上げ式もありません。お窓は？さう/\お窓はガラスなんてぜいたくなものはないから海豹の透明な腸を何枚も継合せた幕を張つたり薄い氷を張つたりしてこしらへるのです。エスキモー人は此の雪のお家の中に灌木の枝をならべて褥をつくります。そして、その上に何枚もの毛皮にくるまつて溫かい夢を結ぶのです。部屋を溫めるには海豹から取つた油をともすだけ。それで寒いとも何とも言はないのです。何と不思議な人達ではありませんか

キツネノアカチヤン

ニツポン デモ セイヨウ デモ オハナシ ノ ナカ ニ デテクル キツネハ ミンナ ヒトヲ ダマシタリ イヂワルイコトヲ シタリスル ワルモノ バカリデスガ キツネ ハ ケツシテ ソンナ ワルイコト ヲ スルケモノ デハ ナイノデス。キツネハ タイヘン オクビヨウナ ケモノデ ノハラノ クサノナカニ キテモ イツモ ビクビク シテヰマス。コレハ キツネノ アカチヤン デス。キツネ ダツテ カアイイヂヤ アリマセンカ。

僕の童謠

大廣場小學校二年　森照男

はつぴやう會

はつぴやう會は
おも白い
ほんをよんだり
お話したり
うたをうたつて
おも白い
ぼくはほんを
よみました
はつぴやう會は
おも白い
わらひ話を
しましたり
マンガの本を
よみますよ
ほんとにほんとに
おも白い

玉入れ遊び

玉入遊びは
ゆかいだなあ
下關から東京へ
玉はころんで
行くんだが
とちゆうで穴へ
おつこちる
玉入遊びは
ゆかいだなあ
まわしてゆすつて
する中に
コロコロころんで東京へ
とうとうぶじに
つきました

よまわり

カチカチカチと
よまわりが
拍子ぎたたいて
とほつたよ
時けいを見ると
九時なんだ
ぼくはびつくり
おどろいて
とんでふとんに
はいつたよ
よまわり向ふに
行つちやつて
拍子ぎのをとも
きこえない

星のない夜

星のないよは
さみしいな
お月さん一人で
さみしかろ
星のないよは
さみしいな
電氣の光が
つよいな
星のないよは
さみしいな
向ふで犬の
こゑがする。

ニドメノ大チヤンノタンケン（158）

ハルミチ作　ジラウ書

大チヤンノ トコロニ アワテテ カケモドツテキタ ダラスハ シキリニ ナニカ イヒナガラ ホラアナノ デグチノハウヲ ユビサシテキマス。大チヤンハ ダラスノ イフママニ アナノデグチニチカヅイテ イワカゲカラ ソツト ソトヲナガメルト ソコハ キリタテタヤウナ カツガンデ オホキナ イハノ ウヘニ ヒトリノ ムスメガ ウミノ オキノハウヲ ナガメナガラ サメザメト ナイテ ヰマシタ。

「アレデス アレデス アレガ ワタシノ サガシテヰル ワウサマノ オヒメサマデス」

大チヤンニハ ダラスノ コトバガ ヨク ワカリマセンデシタガ ドウモ サウ イツテヰルヤウニ オモハレマシタ。

兒童の作品

お父樣のしくじり

嶺前小學校三年　和田春海

これは、まだ去年の事であつた「はあちやん、おきなさい」私はお父樣の大きなこゑに目がさめた。外を見ると、まだまつ暗で、お星樣も光つて居るし、電しんばしらに赤い電氣がともつて居た。「まだねむい……」私と、兄樣は言つた。お父樣は「もう六時だよ、早くおきなさい」と、おつしやる。女中もまだねてたらしい。お父樣のトン/\と、かいだんを下りていらつしやる足音がする。しかたなしにお兄樣と、目をこすりながら下に下りてみた。女中は子供べやの時計の前に立つてぼんやりして居る。私は「どうしたの？」と、聞いた。すると女中は急に「くす/\」笑ひ出して「まあだ、二時半で御ざいますよ」と言ひましたので、私と兄樣は「えゝ……」と、言つてびつくりしました。よく/\時計を見ると、お父樣は長い針とみぢかい針と、みちがへてゐるのでした。三人で大きなこゑで笑ひ出しました。私は、「お父樣まだ二時半よ……」と言ひますと、「バカそんな事は、ないよ」と、まじめになつて、おこりになるのでおかしくてたまりません。お父樣を時計の前につれて行つて「ほうらほうら」と、言ふと、お父樣、頭をかいて、すご/\と二階へ上つておとこにお入りになりました。

キノフ

沙河口小學校一年　フヂタオサム

キノフ ハ ヤスミ デシタ カラ ボクト コタケ クント アリタクント スズキクント 四ニンデ オカネモツテ ヨウガツカウニ イキマシタ。ヨウガツカウニ キタラ 人ガ 一パイヰマシタ。一バン ニ シヨウカ ヲ シマシタ。ニバンメニ オイノリ ヲ シマシタ。

短歌

神明高女二年生作品

柳原靜子

すゐれんの眞白に咲ける池の面をとんぼ三つ四つすい/\と飛ぶ

×

くみ置きしたらひの水に幾たびも翅ひたしけり赤き子とんぼ

×

初冬の朝はしづけしほの/\と舟のかなたのしらみくるかな

×

寒々とややたち返りたるこの朝げ驢馬のなく音の身にしみ聞ゆ

×

何やらむ土にうつれる紫のかげ崩れけり花の散るらし

伴野政江

朝つゆにぬれし藤をつみとりて籠の重きに心おどりぬ

×

ひそ/\と落葉に時雨のそそぐ音を湯ぶねにありて靜には聞く

歐米ところどころ（四）　西洋の小原女

阿左見福馬

之はポルトガルの首府リスボンで見た小原女姿の魚賣です。今三々伍々打連れて波止場から市中に魚を賣りに行く處です。跣足でこうした姿は西洋では珍しい事です。

師走を行く (九)

玆にも緊縮風
卸商仕入れ手控へ
お正月家庭用の食料雜貨
だが暮氣分漂ふ

正月家庭の必要品として昨今便船毎に最も多く輸入されるものは蜜柑だ。が、これとても例の緊縮節約風に氣押されて例年に比して卸商の手控の結果か、十二月に入つてから昨九日迄に着荷の分合計三萬八千四百六十九箱、金額にして十萬七千圓で、昨今は一便船八千箱内外が輸入されてゐる、月半頃からは漸次増加してアト四、五回の便船毎に一萬數千箱の目當で輸入される見込み、それで總量昨年十二月中の中央卸市場取扱總額三十萬圓に比較し、今年は五、六萬圓方減少は間違ひないといふ話し。

◇

卸値段は今のところ一箱四貫詰の二圓七十錢、小賣値段はこれに約三割をかけて需用家の手に渡る譯で、九日の市場小賣値は百目上もの八錢、最低五錢、押しつまつて多少の値騰きはあつても先づ大した騰動はなからうといふ、産地は紀州、静岡、中国筋、九州ものと云つた順序で、臺灣のポンカンスイカンなども正月用として相當に入荷する。

◇

數の子、鹽鮭、するめ、鰹節、黒豆、昆布、梅干、鰹節、牛ぶりなど乾物類その他の輸入大手筋は三井、辻山洋行、穀菜公司、澤田洋行等の手を經て主として北海道から直接輸入されるが、これらは緊縮の影響が一番甚だしく、入荷は十二月一杯を見越して先づ例年の六分見當、卸値は數の子十貫二十七、八圓より四十五圓まで、小賣値は矢張り三割掛位と見られる

◇

するめは十貫五、上物九圓五十錢、最低四圓五十錢、鹽鮭は十貫目十三圓見當、鰹節は百目立二十五錢から二十七錢位、梅干は三斤入十樽立てで二個入才錢といふ卸値で入荷してゐる。小賣値は何れも二、三割がけどころで、總じて昨年に比し一割内外の下押しである。近來鰹節、牛ぶりの塞職から輸入が著るしく増加し、殊に昨今市場其他で賣られてゐる牛ぶりは殆ど全部塞職もので、さう聞けば値が割方安い代りに味がまづい理由も肯けると云ふもの。

◇

穀物、蜜柑類とも昨今入荷する分は輸入大手筋から卸商の手を潜つて片つ端から直に沿線各地へハルビン邊まで送り出されてゐるので、鐵城町邊の卸問屋は入港船毎に店頭から歩道にかけ、それらの荷物の仕分け荷造などでさながら野戰兵站部のやうな威勢のよい光景を呈してゐる、大連で消費される分は十五日以後の便船で入荷するさうである【寫眞は村田商店の仕分荷造】

安い品物を家庭に供給
第二回の共同仕入れ
信濃町市場組合で

大連市信濃町市場食料雜貨部金融組合では滿鐵消費組合の最近の飛躍に威脅された結果として如何にして品物を安く需要者に供給すべきかの問題につき時節柄苦心協議の結果、各店の商品々質の選擇統一及び賣値の引下げ統一を計り安くて良い品を供給し一般顧客に充分の滿足を與へる外に

頽勢挽回の 策なき結論に到達したので、曩に市役所の承認を得て第一回の試みとして組合商店の十五店舗が連帶保證の下に正隆銀行より一店舗二千圓宛借入れた資金を以て共同仕入れを試みた結果の好成績に鑑み今回更に第二回資金借入れを決議し正隆銀行に交涉既に同行の貸出し内諾を得たので市當局に之が契約承認願を提出したが今回は一店舗二千五百圓宛十五店舗總額三萬七千五百圓で期限は六十日間の短期貸付である上に、市監督の下に連帶保證といふ條件も充分に信用されることゝて勿論喜んで

銀行側では 貸出すことになつてゐるらしい、組合では右の金を借り次第直ちに正月家庭の必需品乾物其他の共同仕入の注文を電報で發する筈で、これにつき御市場組合事務所の岩光氏は語る大手筋の御問屋では既に本年歲末賣出し用の商品は盡く注文して終つてゐるので、其後に於ける物價値下げに伴ふ苦しい御仕向けの惱みに直面してゐるが市場組合のこれからの共同仕入は仕入れ値が安いから從つて顧客に安い小賣値で提供される譯で從來は大資本を擁した大手筋御問屋に窘められてゐた市場小賣商店が今年は却つて御問屋の苦惱を涼しい顔で見ながら

氣持ちのよ よい商ひが出來るので無資金の爲めに早手廻しに注文が發せられなかつたことが却つて惠まれる結果となつた次第寧ろ社會的に觀て非常に喜ばしいことです

遊獵中の三邦人危く人質に
公主嶺農事試驗場員
蔡家で馬賊が襲撃

【公主嶺特電九日發】公主嶺農事試驗場畜産課勤務小松八郎、佐藤繁太郎、石原武一の三名は八日午前三時當地出發蔡家驛を距る十八支里の地點に遊獵に出たまゝ獵犬が歸つたのみで九日に至るも歸宅しないので、警察署は捜査隊を編成する一方、獵友會からもこれに參加捜索せんと驛に集合するなど大騷ぎを演じたが、右は八日午ぜ一時ごろ六十名の騎馬賊の一團に襲はれ銃器、衣類、携帶品を全部强奪され人質として拉去されんとした危急の折柄、該賊を討伐の保甲隊四十名來り交戰の結果賊を擊退したので三氏は辛うじて郭家屯に引揚げ無事なる旨の報を得て一同ホツと胸を撫下した

天津の船舶乘込工人罷業す
待遇改善要求拒まれ
大型汽船の荷役不能に陷る

天津におけるライター會社側と工人側との間に待遇改善に關して種々交渉が重ねられ工人側に兩三日前より不穩の風潮が漲つてゐた然るに九日當地海務局への情報によると、その後ライター會社側と工人側との間に

交渉中 のところ一部要求條件が容れられないため工人は四日以來罷業を開始し目下示威運動中であるが、今次の罷工事情を調査するに、工場内の工人が主動となり各船舶乘込工人がこれに同情し加擔したるに過ぎざる模樣で、これに對し會社側では今のところ高壓手段をもつてこれに對抗する事となり一時工場の閉鎖を斷行した、從つて工人側としては

會社側 の態度に折れて出るか又は事件が益々惡化擴大するか不明でこの點では一般より注目されてゐる、しかるにこの罷工は各國汽船會社に重大なる關係を有する事で大沽沖より遡航し得ざる大型汽船に對する荷役は殆ど不可能な狀態であると、右情報をもたらすと大汽では天津には外人經營のと二つのライター會社があるが、まだ當方には何も情報が入つてゐない、事實としたら汽船會社は相當打擊が大きいだらうと思ふ

東伏見宮大妃殿下御容體

【東京九日發電】腸チブスに御決定の東伏見宮大妃殿下御容體は、九日正午主治醫雨宮博士拜診の結果午後三時宮内省から左の如く發表あつた

御體溫三十七度九、御脈搏一〇八、御氣先御靜にあらせらる

外人技師光榮
有難き御沙汰

【東京九日發電】提き邊りでは過般の萬國會議に來朝したロバート、リツヂウエー氏に對し我鐵道界に多大の貢獻あるを思召され近く左の敍勳の御沙汰あるやに承はる

ロバート、リツヂウエー
敍勳三等授旭日瑞寶章

氏は鐵道技術の世界的權威者で我が國鐵道も氏に負ふ處多く、且那トンネル工事にも關係あり又目下關門トンネル設計視察のため門司に滯在中である

被疑者船長濱田義衛二ケ月職務執行停止、同三等運轉士吉原字一は懲戒を加ふべきに非ず

坐礁の芦原丸船長へ判決

關東州屬籍船善妻汽船所有芦原丸(三千五百廿七噸)は本年一月廿八日南滿海峽で坐礁したが、右に對し汎旦海事審判の結果九日關東州船舶職員懲戒委員會理事江原幹三氏より左の如く決裁された

工專軍も遂に敗る
四十七對十の成績で
南開大學との籠球戰

滿洲體育協會主催本社及泰東日報社後援南開大學對南滿工專籠球戰は十二月九日(最終日)午後七時より神明高女屋内コートに於て擧行されたが、工專の健鬪も及ばず四十七對十にて南開の勝となり南開は遂に四戰四勝の成績を收めた

閉戰同入時

		南開		工專	
得點	反則			反則	得點
2	2	黒 F 塗	原	3	2
11	1	奧 F 唐	田	0	5
16	3	中 C 洗	村	0	0
18	2	池 G 劉	出	0	0
2	0	野津 G 王	波	0	0
0	1	李	村	3	0
40		(20)FG(3)			6
7		FT			4
8		P			10
47					10

南開 47 {29 18}　工專 10 {4 6}

經過 前半六分頃までは工專頑張り四對六で接戰をつづけたが南開の連絡は次第に整ひ、更に後半に至つて劉に球を渡して次第にゴールを増した▲工專が各選手共良く敵をマークし主將山中の負傷にも拘らず全力をつくし最後の三分間に五點を收めた健鬪は賞されて好い▲南開は實際良いチームであり殊に黄監督の態度は氣持が良かつた

南開大學選手は東北大學との試合時間の變更のため豫定を變更して九日二十一時三十分發列車で奉天に出發した

普通學堂開き

かれて新築中であつた南關嶺會普

濃霧の中を安全飛行
試驗に成功す

【東京九日發電】十月二十日墜落慘死した稻垣機をはじめ各地で多數の犠牲者を出してゐる濃霧は飛行家に取つて最大の强敵とされ如何なる天候にも發動機の故障無くば危險無しとされる只濃霧に遭遇した時は如何なる熟練の士も針路を誤るので恐れられてゐたが、最近下志津飛行學校で田中教官が主となり電波を利用して濃霧を乘切る飛行方法を完成し七日實地試驗の結果完全に成功近く陸軍當局に軍機の秘密として報告することゝなつた、右方法は甲地から乙地に飛行の際乙地附近の電信局に向つて自己の飛行機の位置方向を電波で送つて乙地からその飛行機に目的地への方向その他を同樣電波で送り之に依つて濃霧中でも針路を違へず目的地に達し得るものである、之に依つて從來甚だしきは濃霧に遭つて自分の飛行機が逆さまに飛行を續けてゐるのも判らなかつたようなことはなくなる譯である

拾つた小切手で兩替店から詐取
支那人マンマと失敗

九日午前九時三十分市内千代田町二三兩替商協昌號方に一支那人が東萊銀行大連分行振出額九百二十五圓二十錢の朝鮮銀行小切手を持參し、内五百圓は山東省萊蘇縣張懇興方に送金し殘額は現金受取を求めたが、店員が不審を抱き裏書人たる公濟桟に電話にて問合せんとしたところ、件の支人は急に逃げ出したので近隣來合せたる千代田町派出所員是を追跡し千代田町三十三番地路上に於いて大捕物の末逮捕した、右は直隸河北省欒縣當時市内紀伊町一番地益發號方店員崔鵬瀚といひ、該小切手は前日午後二時大廣場中國銀行前にて拾得せるもので監視通渠判屋にて自店名印鑑を僞造し捺印の上前記兩替店にて詐取せんとせるものである

知名紳士が密輸未遂
安東で發覺

【安東特電八日發】六日夜安東發南行列車の一等車に納まつた一人の紳士が寶石類や織物を身體に卷きつけ密輸入を爲さんとして安東通過の際税關吏に發見され平身低頭一汽車遲れて出發した事件があつた、この紳士は營口の水電會社並に商工會議所等に關係を有する加藤種次氏(假名)といひ、密輸常習者はいづれも下層階級の人々に限られてゐると思へば大違ひで時々この樣な知名士が密輸を企て紳士の面目をつぶしてゐるのは遺憾

全日本陸上競技代議員會

【東京九日發電】全日本陸上競技聯盟は八日代議員會を開き左の件を決定した

一、來年度競技豫定
五月十七、八日極東大會前に日本豫選會(東京に於て)十月廿五六日全日本選手權大會(大阪に於て)
二、聯盟公認競技場決定
▲甲種 神宮競技場(東京)上井草競技場(東京)美吉野競技場(奈良)
▲乙種 豊川競技場(愛知)大牟田競技場(福岡)
なほ公認を得んとする競技場は來年中に公認を申込むこと
三、競技使用器具の檢定
來年一月二十一日より使用器具一個十錢の檢定料を徴し器具の統一を圖る

狂竹氏獻曲
旅順白玉山で

盧無得谷狂竹氏の來連を機とし東亞青年居士會世話人となり彌生女學校作法室に於て觀迎尺八演奏會を開き更に八日は恰も大聖釋尊成道の吉日に當るので既報の如く再び居士會主唱の下に狂竹氏を旅順に案内し、神田内務局長、板垣參謀、大木東福寺師範等を歷訪し、午後一時白玉山納骨祠前に於て秘曲阿字觀を獻曲し地下萬の靈を慰めた、關東亞青年居士會は本年六月に創設された在俗青年佛教徒の集りで、佛教に對する社會一般初心者に對する入門の順序を紹介すると共に廣大同志を糾合して大道復興教化の實績を擧げ、更に

支那は 勿論、アジア佛教諸國の有志と聯絡提携して、印度佛蹟巡禮を年々敢行する事を畢生の理想とする青年佛徒の集りであると

伴れて歸へる藝妓又ドロン

營口永安街本料理店大稲樓抱へ藝妓(ママ)ロアサ(二〇)は、河口黄金町樂屋館に潜伏中を連れ戻された樓主代人に伴はれ來連したが、八日夜右樓主代理人の隙を見て再び姿を晦ました、右は九日市内各所を捜査せる……午後三時ごろ再び沙河口署へ捜査願に來た

電車馬車衝突

九日午後六時ごろ大連圖書館前に於て行第十四號電車(車掌手……)轉手陳相玉)が疾走中の香二二馬車夫姜鳳仁(四九)と衝突したが、電車が幾分破損しただけで人畜は無事であつた

大連婦人會バザー

大連婦人會では來る十一、二の三日間北大山通り大毎……に於てバザーを開催、特に……ら取寄せたる上等のあら……の子の外にシャツ地、新……褌など取揃へ廉賣、その……げて國債償還と貧困者の……ることゝした、一般同情……を希望すると

電氣工募集

滿……械係では多忙期に入り實……員を必要とし助力運轉及……經驗者を採用する事にな……年齡廿一歳より三十歳の……望者は履歷書二通一錄筆……し來る十一日午前八時迄……械係に出頭すべしと

修養團向上會

大連……團向上會では日本橋及滿……部合同の主催にて來る十……六時より近江町滿鐵社員……於て左記講演を加へ本年……會を開催することゝなつ……員並一般の來會を歡迎す……最近本國に開催せられ……工業會議の模樣に就て……滿鐵技術委員長……

園藝會例會

大連園藝……の本年最後の例會は十日……より常盤町市社會館に於……れるが、當日の講演は多……住宅内に於ける蔬菜速成……ある

謠曲大家來連

觀世流……曲界の両鎭清水とめ子女……内地より來連目下山縣通……方に寄寓中なるが、謠曲……希望によつて近く一般の……す模樣である

けふのラヂオ

昭和十四年十二月十日(火曜日)

自午前十一時 相場(特産、錢鈔、株式、各地相場)

自午後〇時三十分 相場(特産、錢鈔、各地……)ニュース

自午後三時三十分 相場(特産、錢鈔、株式、……相場)ニュース

自午後七時
一、ニュース
二、家庭講座「ネクタイの作方」物利用)滿洲生活改善……東船谷勝昌、講習者……
三、ハーモニカ(一)行進……實スザー作(二)變奏曲……女フオラータ作(三)パ……カイロノ追遙ダーウイ……
四、(一作)町田榮 序曲ウヰリアムテル……舞踊舞踏室の響ジル……
五、落語「水前寺湯」城山……
六、支那劇「六月雪」……
七、料理獻立
八、天氣豫報

愛慾の窓（183）

戸川貞雄作
淺枝次朗畫

犠牲（一三）

龍吉はさう云ひながらつか〳〵と英輔の前にすゝみ寄ると、洋袴のポケットに突つ込んでゐた左の手を、ぐいと英輔の眼の前に突き出した。その手の先には、拳銃が光つてゐるのである。

「……歸れ！貴様はまだ姉さんを誑らかしに來やあがつたんだな！」

彼、憎しみに堪えない調子で罵んだ。

「歸れ！さつさと歸つてゆかないと、撃つぞ！」

「……龍吉君！思ひちがひをしちや困るよ、僕は大切な用のために來たんだ」

英輔は、龍吉の視線に殺氣を感じながらも、おちついた聲で云つた。

「……龍吉！小森さんは家出なすつた奥さんを訪ねていらしたんだよ！そんな危いもの止して！先刻もわたし云つたんぢやないの！」

美和子は横から龍吉の腕をおさへた。

「ハツはゝゝゝ！姉さん、そんなに心配しなくてもいゝよ……」

と、龍吉は唇をひき釣らせて笑つた「……この拳銃は小森さんのださ！さ、受取りたまへ！」

龍吉は拳銃を英輔の前に更に突き出したが、英輔が受取らうとしないのを見ると、ひよいと氣輕に英輔の服のポケットのなかへ抛り込んだ。

「その代り、早く歸るんだぜ！」

「……では僕は歸るとしようね」

と、英輔は寂しく苦笑したが、美知子の方に顏を向けて「……僕を信じて下さい！若しも倭文子がこゝへまゐりましたら、引止めておいて下さい。さうして僕の邸へ電話を掛けて下さい。僕は飛んで來ます。それから草野君の公判のことですが、明日判決が下つても、まだ控訴出來ます。よく辯護士とも相談なさるんですね。僕の僞證が惡かつたとしたら、僕、控訴の場合にや斷然この前の公判廷に於ける自分の僞證を取消します！そのために僕が僞證罪に問はれるとしても、苦くはないと思ふ……控訴の間に、例の遺書の方も調べませう」

と、筋道立てゝ說く。その說くところに一點の虛僞もあるやうには思はれなかつた。

「わかりましたわ、あなたの御好意も、あなたのお言葉も、よくわたしにはわかりましたわ。それにしても倭文子さまのこと、心配ですわねえ」

美和子は眉をひそめた。

「……まさか、飛んでもないことをしてくれやうとも思はれませんが、しかし心配で堪らないんです」

英輔はきつと唇を嚙むやうにしながらうつむいた。

「……でも、明日の判決を氣にしてゐらつしやることは事實ですから、そんな早まつたことをなさる氣遣ひはないと思ひますわ、明日にもこゝへおいでになるかも知れませんわ」

美知子は慰め顏に云ふ。

「……さうですね。さう思つて兎に角一先づ僕は邸へ戻りませう」

英輔は辭し去つた。

英輔を門口から少し離れた空地に待つてゐた自動車にまで送ると、美知子は息を切らして駈戻つて來た。そしてトン〳〵と二階へ駈け上つて、窓際に悄然と突つ立つてゐる龍吉の前へ立つた。

「……龍吉！」

彼女は低く、しかし鋭く呼びかけた。

「……何さ」

龍吉は蒼い眼を上眼遣ひにして美知子の顏を見上げた。

「……有難うよ〳〵！小森の邸へ忍び込んで、あの遺書を古新聞とすりかへて持ち出してきたのはお前だらう？」

美知子はあたりを憚りながら、しかし矢の徑のやうにはづむ心臟をおさへかねて、聲を顫はせた。

だが、龍吉の答は意外だつた。

「……僕、知らないよ！龍吉が、何うしたつていふんだ？僕はまだ何處に在るかさへ探れないんで少し苛々してるくらゐなんだ！」

新刊紹介

▲戰記名著集（第六卷）安川中尉の「血燃」大竹特務曹長の「劍と筆」二篇を收む、何れも日露戰爭の實戰記で當時の狀況を眼前に髣髴せしめる（豫約品、東京市神田區錦町二丁目十九番地戰記名著刊行會發行）

▲文藝時代（十二月號）新進作家夫人達の「私の夫に就て語る」其他（定價金三十錢、東京市牛込區矢來町七一新潮社發行）

▲大乘（十二月號）大谷光瑞氏の無題錄、佛教の大意、長汀秋色其他（定價金四十五錢、京都市紀伊郡堀ノ內村字堀內大乘社發行）

▲西伯利經由歐洲旅行案內（非賣品北日本汽船株式會社發行）

▲畜產雜誌（十二月號）定價金二十錢、北海道札幌市北三、西六北海道廳內、北海道畜產協會發行

▲新文藝日記 昭和五年版の新潮社の「新文藝日記」は、新味溢るゝ裝幀に飾られて出た、全卷を貫く文藝趣味の橫溢が、この日記の最大特長であるが、殊に卷頭を飾るグラビヤ印刷の文壇畫史は本日記にのみ見る所で一ケ年間の文壇の出來事は一目の下に看取される、本文には從來と全く面目を異にする讀み物が極めて豐富で、新人二十六氏の「私の顏」をはじめ、諸大家の「私の生活」「趣味と娯樂」等、讀むべきものが多い、附錄の「文壇年鑑」には昭和四年度に於ける小說界、戲曲界、評論界、映畫界、並に世界各國文壇の展望、それから現代文士錄（近年擡頭せる新人を加へた）は勿論、現代作家の年齡表、文藝雜誌及び著名同人雜誌編輯者、新聞社文藝部員一覽等を集めてある（定價五十錢新潮社出版）

▲短歌日記（昭和五年版）附錄として增訂明治大正和歌年表、現代歌錄を收めてゐる（定價一圓二十錢紅玉堂出版）

▲書畫骨董雜誌（十二月號）東京牛込區山伏町共社發行

▲實業界（十二月號）定價五十錢東京麴町平河町實業界社發行

▲川柳人（十二月號）定價二十五錢東京市外杉並町[illegible]寺川柳會發行

▲心靈と人生（十二月號）定價二十錢橫濱市鶴見町東寺尾心靈科學研究會發行

▲實業青年（十二月號）定價二十錢東京麴町平河町實業青年修養所發行

▲土上（十二月號）島田青峰氏主宰の俳誌定價二十五錢東京牛込若松町共社發行

夕刊 滿洲日報 十二月九日

露支正式會議の具體的條件提示
蔡氏哈府で露代表に

【ハルビン特電八日發】勞農露國の要求により東支鐵道督辦呂榮寰氏を罷免した支那側は近く交渉處長蔡運升氏をハバロフスクに派遣し正式會議の凡ての條件に關し提案せしめる意向であるが既にモスクワ政府との交渉で奉天において大綱の討議中であると支那側はいつてゐる、正式會議の議題は管理局長の權限と損害賠償案との二項である

交渉成立の見込
東鐵督辦の罷免により

【奉天特電九日發】露支交渉の支那側代表として圓滿解決のため奔走中の蔡運升氏は此程急遽歸奉し張學良氏と再び打合せをなしつゝあつたが、奉天派としての態度も既に決定せるものゝ如く蔡氏は八日夜滿鐵線で北行しハルビンへ向つた、東鐵督辦其他の更迭によつて大體成立を見る模樣である

滿洲里へ國際列車
愈よ十二日發車の豫定

【ハルビン特電八日發】滿洲里方面の狀況調査のため領事團から支那側に交渉中の國際列車編成に關し支那側は十二日に發車することの出來るやう目下東支鐵道管理局にて編成中、なほ札蘭屯まで運行せる旅客列車は八日から博克圖まで通じ免渡河と海拉爾間の鐵路修理を終れば滿洲里までの連絡開通は容易であらうと

滿洲里食糧難

【ハルビン九日發電】支那側消息に依れば滿洲里は依然露軍の保障占領下に在り、十一月十七日以來交通杜絶のため同地市民約一萬食糧難に襲はれ馬肉を食しつゝあり此の儘推移せば餓死する者續出する由々しき問題を惹起する悲慘な狀態にあると

濱口首相の時局問題縱横談
選擧法改正は具體化せず
蔣介石氏は結局下野せん
疑獄打切は全く虛妄の噂

【鎌倉九日發電】濱口首相は八日鎌倉の別莊に於て左の如く語つた

選擧法改正問題

選擧法改正調査會設置の目的は政界の淨化、選擧界の廓淸を意味するものである、此問題は一朝一夕に解決するやうな簡單なものではない、之が具體案を作成する爲め黨出身閣僚並に與黨と隔意なき意見の交換を爲し諒解を得た上閣議に提出する考へである、自分が既に調査會長たる事を承認したるが如く傳へられてゐるが問題はまだ具體的に決定し居らず委員を親任待遇にするやうな事は斷じてない

産業合理化問題

之は目下審議會に於て原案を作成して居るから之を基礎として適當な方策を講ずる筈で調査の濟んだものからどしどし實行するのが至當であらう

軍縮會議問題

ロンドン會議の全權は米國七名英國五名で分科會と云ふやうなものが開かれる場合帝國は僅か三名の全權では不足を來す事となるので目下之に就て幣原外相が誰にするかは未だ決定してゐない

支那公使問題

現在支那國内の事情が急變してゐるので速に後任公使を決定したいと希望してゐるが近く外相に依つて決定するであらう、蔣介石氏の立場は非常に不利となり結局下野の已むなきに至るであらう、隣國の紛擾は速かに和平統一されん事を切望してゐる

疑獄打切問題

疑獄事件につき政府は去る六日の閣議に於て金解禁實施期即ち一月十一日迄檢擧打切を命じた

純日本式趣向で牛肉すきやき會
さいべりあ丸食堂で

【サイベリア丸八日發電】本船のシヤトル到着ももう間がないので司厨長は昨夜取つて置きのメニウを持出した、牛肉の鋤燒會である、食堂は三十疊の疊敷に變へられテーブル鋤燒等總て純日本式、全權以下の日本人は勿論外人船客にも大持でショツトウエル博士夫人令孃、キヤムベル女史等は振袖姿に日本髷の麗姿で出現すると云ふ次第夜遲くまで大賑ひであつた

南京政府沒落せば天下三分せん
于右任氏の時局前途觀

我 國は再び動亂の慘禍に暴露されんとして居るその原因は蔣介石氏が個人主義の專橫に對する反動である、過去に於て蔣氏が汪精衞氏に對する傲慢な壓迫は蔣氏のためには却つて自己を危ふくする動因となつた汪氏は既に獨國して居るから蔣氏に對抗して大局に當る事にならう、即ち第二次全國代表大會で選出された中央執行委員會を基礎に乘出すであらう

目 下の情勢では蔣、汪兩氏は對立的關係に在ると觀る事が出來る、即ち蔣氏が西北問題を解決し得てもその勢力を現狀維持で南京に居据わらうとすれば廣東の局勢を考慮外に置くことは出來ない廣東が蔣派の掌中から離れたなら蔣氏は南京に安心して居る譯に行かない、之に反し汪氏が今後直接運動を開始するためには廣東問題の解決が先決問題で汪氏の時局收拾は廣東が其掌中に歸するか何うかに依りて決せられる

閻 錫山氏は元來一個の政治的商人である、今日迄何れにも附かずの曖昧な態度で打算に動いて來た、今度も本領を發揮した、即ち漂にして事端を捲き起させ唆かして大兵を動かさせ….

西 北軍が陝西に…
蔣氏はそれまで追擊は出…其處で馮氏が西北善後…武器の沒收や軍隊の改編…け出來るので何方に避…無い立場に立つた、

國 民黨はその重…

社會民衆黨大會議事

【東京九日發電】社會民衆黨昭和四年度大會は八日午前十時より第一ーヶ芝協調會館に開會安部黨首の演説あり、議長に島中雄三氏を擧げ各種委員の任命あり正午休憩、午後一時再會、片山書記長より大阪支部の内紛問題につき經過報告あり質問を保留し六時散會續いて中央執行委員會に移り大阪支部内紛問題對策につき協議の結果九日の大會第二日には

一、大阪側の質問を極力抑へる事

を決定した

一、若し紛糾することあらば斷乎として全國同盟並に田萬氏等を除名すること

陸軍の緊縮困難
在營年限を短縮するも
結局經費節約し得ず

【東京九日發電】宇垣陸相は兵役義務者の負擔輕減と產業上の見地から各兵科の在營年限短縮の意圖を有し目下陸軍省內關係局課に於て夫々研究中であるが、一年現役制は種々の點で實行不可能と見られ可能性ある案としては

一、青年訓練の查問に合格した者は一年三月然らざる者は現制(二年十月二十日)通りとす、右に依り年七百五十萬圓の節約となる

二、現在同線害訓査閱に合格せる者は一年半、然らざる者は一年十月二十日、右に依り年五百萬圓の節約となる(以上步兵)

又特科兵案は青訓查閱合格者一年半然らざる者は現制、右に依り年三百萬圓の節約となる而して右の內步兵の第二案並に特科兵案最も可能性ありと見られてゐるが、之に依つて八百萬圓の節約をなし得るが如きも雜役夫其の他を備ふ必要あり結局節約にはならぬ模樣である

輸長内相懇談

【東京九日發電】鈴木書記官長は九日午前十時半安達內相を訪ひ選擧革正調査會設置の件につき懇談し濱口首相に於ても年內に調査會の大綱を決定し度い意嚮であると傳へた

國際司法裁判議定書調印

【ワシントン八日發電】米國大統領フーヴアー氏はスイツツル駐在米國代理公使をして九日國際司法裁判所に米國を參加せしむる三個の議定書に調印すべきを命じた

南京行列車顚覆し乘客多數死傷す
反蔣派後方擾亂頻々

【上海特電九日發】今朝七時五分當地北停車場發南京行旅客列車は黃渡驛附近において線路が破壞されてゐたゝめ顚覆、車輛は大破し乘客に多數の死傷者を出した、右は反蔣派の後方擾亂の一端にして此種擾亂は目下各反蔣派により計畫されをり當地の人心は極度に怯えてゐるところより民衆數十隻に便乘自發的に官廳方面に移動した此結果滬寧線及び電信電話は今陸來開通したが然し人心は不安で南京行旅客は皆無である

信陽の夏斗寅軍武勝關に退却す
唐軍は信陽に肉薄

【漢口八日發電】唐生智軍の先鋒部隊は既に駐馬店、信陽に迫りつゝあり、同地守備の第十三師夏斗寅軍は武勝關に退却した、同軍は第一、六、十一の各師が全部歸漢するまで第九師の四十八旅と共に掩護防備をなすはずで、第十一師はまだ前線より南下せず、總指揮劉峙氏は全軍が歸漢するまで當地に留まることゝなつてゐる、武漢は目下の處案外靜穩である

唐軍の武漢入り
田軍よりも早からん

【北平九日發電】唐生智軍は七日信陽に達したが西北軍田鎭倣の先鋒部隊も武漢を衝かんと襄陽に入つた、唐軍は平漢線、田軍は徒步進軍の唐軍の武漢入りが先になるものと見られてゐる

王錫爵軍後退
滬寧線交通復舊

【上海九日發電】常州にて獨立を宣言した王錫爵の第四旅は南京より急派された第二第八兩師の一部と九一日戰鬪の後八日午後四時ご…

蔣氏河南平定後灰色軍を壓迫す
各地將領背叛の原因

【北平特電八日發】石友三軍の叛亂か計畫的なることは疑問の餘地がないが中央軍と西北軍が互角の戰爭をしてゐる時たゞ之を傍觀してゐて

中央軍が 勝利を收め相當の餘裕を持つやうになつた今日に於て事を擧げたのは擧兵も甚だしいと一般に觀るところであるが信ずべき筋の消息によれば石友三氏の今度の擧は已むを得ざるものがある即ち蔣介石氏は石氏が馮氏を離れて中央に附隨したものゝ馮氏石氏の關係は今なほ密接なるものがあつて蔣は石氏に對する警戒を怠らず西北戰爭勃發するや石氏に安徽省主席の好餌を與へて馮軍への襲擊を抑へたが西北問題一段落後、蔣氏は石友三、劉鎭華、韓復榘、陳調元氏らの所謂

灰色派 の驅逐、若くは勢力縮小に取かゝる方針を立てその手始めに石友三軍の半部、第二十七師を廣東增援の名義で廣東に送り石軍の兵力を半減せしめたる後これを壓迫せんとする計畫であつ…

南京外交團對策協議
婦女子は避難

【南京八日發電】上海臨時法院改組會議はフランス委員を除き全部出揃つて居り明朝佛代理公使の入京を待つて開會する豫定であつたが、時局のため遂に延期された、目下の情勢では何時開會されるか不明であり時局が切迫して來てゐるので各國代表は明日本國領事館に參集對策協議會を開き協議する事に決した、なほ各國共幾多の前例に鑑み婦女子の上海避難を勸告することゝなる模樣である

撫順炭山元積出一日に九百餘車
撫順炭礦の新記錄

滿鐵鐵道部七日の社內、社外貨物の輸送狀況は十萬七千七十噸で內撫順炭が三萬一百六十二噸ほかに社內貨物一萬噸であるから社外の

營業貨物 は三萬六千噸餘といふ內譯であるが石炭の需要最盛期で輸出炭に追はれてゐる狀態であるため滿鐵では撫順山元輸送一日八百五十車を七日から九百車に增加しその第一日たる七日は山元積出し九百六十三車といふ撫順炭礦創業以來の記錄を作るに至つた、而して同日は更に大溪湖炭三十五車、煙台炭二十一車を輸送してゐるため滿鐵の線路を走つた炭車は一千十九車の驚くべき數を示してゐる、殊に石炭需要期は永續のものでない關係上この

最盛期を 逸せまいと滿鐵の貨車配給は石炭輸送に全能力を發揮することになつてゐるから此處當分は石炭輸送上には每日記錄を作つて行くことだらうと見られてゐる、尙四平街、開原、鐵嶺方面の麥粉が一兩日前から平均五六十車づゝ出初めた模樣である

製鋼所設立可否は總裁が上京後決定
今後重要案は重役會議で決定
大平滿鐵副總裁談

昭和製鋼所に對する重役會議は七日で終了したが勿論決定すべき性質のものではなく總裁着任前數回開催した審議會に於て研究した

數字上の 詳細な說明をなして更に審議を進めた譯であるが同問題は總裁が近く上京の上政府筋と相談し設立するか否かを決定されることにならう、而して設立するとなると各關係のエキスパートと更に研究をなすことにならう總裁の上京期は二十一日のうらる丸の豫定であつたが各種重要案件も近く一段落を告げる筈だから二十一日よりは幾分早められることになるかも知れぬ

滿鐵職制 に就ては過般來の重役會議に於て總裁も熱心に研究されたゝめ社業全般に對して通曉されたが今後は重役會議を定期に開催することゝして會社の重要案件は總て同會議による合議制で決定して行きたいと自分は考へてゐる、空席課長や事務所長等の補充問題は此處三四日中に決定發表の豫定である

法院問題等陳情
辯護士會太田長官に

關東州辯護士會大內、小野正副會長及び六委員は九日午後一時より關東廳に太田長官を訪問し左記事項を陳述した

一、地方法院新築促進の件
一、高等法院の大連移轉
一、北支那控訴、上告の關東廳移管
一、治外法權撤廢に關する件
一、訴訟事務進行に關する件

ガス器檢査修繕
あすから五日に亘り
南滿瓦斯社員總動員して

南滿瓦斯會社では今回奉仕運動員なる標語の下に十日より十四日迄五日間に亘りて全社員出動して各瓦斯

需要家を 訪問して、所要具其の他の檢査、修繕を行ふ筈であるが、これは歲末に入りたること且つは正月直前など特別に瓦斯使用する場合に於て器具の破損を生じ、正月直前に急に瓦斯會社に修理の要求殺到するを例として完全にその求めに應じきれない憾みがあつたので事前に於てこれを防止し、需要家の不便を一掃せんが爲め奉仕的に素人の眼には

專門的に 破損の虞あるに關れないでも需要家に於ても豫じめその用意するやう希望してゐると

人事

▲鮫島煤鐵公司總辦 九日朝來連
▲瀧谷三氏 同上
▲山領貞二氏(滿鐵鐵道部) 九日朝奉天より歸連
▲太原要氏 同上
▲寺島由松氏(鐵道士) 十二月八日急用にて大阪へ二十五日頃歸連豫定
▲松岡愼一郎氏(高等學校教授) 九日出帆ばいかる丸にて內地へ
▲日高捗氏 前日清製油工場長)同上
▲飛田周山氏(畫家) 同上
▲八田美蘇氏(同) 同上
▲渡邊長剛氏(同) 同上
▲北浦大助氏(同) 同上

大觀小觀

山西の閻錫山、オイそれとは飛出さず。石橋を叩く。
◇
形勢觀望は軍閥の常套だが、不得要領な通電で當面を誤魔化すも自己保存の惱み。
◇
唐生智軍、武漢に入らんとす。
◇
蔣氏、辛うじて南京を死守するも、大勢、すでに去れりといふべく、問題は、まだ國民政府なるものゝ存否に懸る。
◇
日本の議會は、いよいよ解散といふことに決したらし。
◇
解散、大によし、浄化も廓淸もある程度まで、既成現狀の打破より出づ。

天氣豫報

十日(南の風)曇り一時晴れ但し驟雪模樣
日出 七、〇 日沒 四、二二

各地の溫度

	昨日最低	十一時
大連	零下六、二	四、三
旅順	同 五、八	五、二
營口	同 一六、二	〇、八
奉天	同 一七、二	一、二
長春	同 一九、二	零下三、〇

◇—滿洲醫大アイスホッケー選手—◇

愈よヨーロッパ遠征の途へ

來る二十五日クリスマスの佳き日を期して出發

【奉天特電九日發】多年の宿望たる歐洲遠征を期して愈よ準備を整へ元氣を揃へて寒氣を幸ひ今から雄々しい氣を現はして猛練習を續けてゐる滿洲醫大アイスホッケー部の十一名の選手はいよいよ来る二十五日のクリスマスの日を期して花々しく出發する事になつた【寫眞は右から木下、織田、西久、豐田、古北、河清、稻葉、喜久、高橋、壽久、林、清一、野進、牛の諸選手】

商店街の繁榮策に浪速館の存續運動

磐城町連鎖商店との對抗上無視されぬ映畫館

いよいよ明十日から開店する連鎖商店街がその繁榮策として映畫館常盤座を利用して顧客吸集に新方面を開拓せんとして着々と準備を進めつゝあり、その結果は大いに注目されてゐるが、一方當市内の商店街として從來浪速町を有した浪速町が連鎖商店街へ相當の店舗を引き抜かれ、その上に最近著るしく進出して來た磐城町に新映畫館「大日活」が竣工し映畫館の存在は商店街の繁昌に密接な關係を有し、各都市に於ても映畫館が新に出來るとその附近は自然に盛場化するのが常であるところが浪速館は「大日活」及び「常盤座」の如く興行場取締規則によつたものでなく明春の解氷期を期して在來の各館と共に改築命令を受ける運命にあり、且つ浪速館は現在の敷地にては興行場取締規則による改築には幾多の難關を有し萬一興行場取締規則に該當せぬものとして改築命令と共に廢館されるに至れば、浪速町としては映畫館を有する磐城町及び連鎖商店街との對抗上由々しき問題なので浪速町の有志は浪速館を映畫館として將來存在すべく當局に運動をなすと共に之が存續につき町内として何等かの方策を講ずべく寄々協議中でその成行は大いに注目されてゐる

北浦畫伯らけふ離連

あらゆる意味において成功を收めたる中日現代繪畫展覽會開催のため滯滿中であつた美術學校教授北浦大助畫伯を初め八田美嶽、飛田周山、渡邊晨畝の諸氏は九日出帆ばいかる丸で歸國の途についたが何れも滯期の如く日支藝善の上に貢獻多かつた事を語り合ひ乍ら多數の見送り裡に出發した

女になる年ごろ

十四年二ヶ月

【東京九日發電】女が初めて女になる年齢は文化の程度氣候の關係その他で各國に依り多少遲速があり、我國では平均十四年十月から十五年と大體見當が決まつてゐるが、最近瀧田病院長小畑惟清博士の三ヶ年に亘つて東京各府女學校生徒四千五百人に依つて調べた結果によると最も早いのは十一年六月で十二年七月から十六年までが全數の九十二パーセント四を示し平均すると十四年二月になつてをり最近二、三十年間の間に約十ヶ月早くなつてゐる

東伏見宮大妃チフスと御決定

本日中宮内省から發表

【東京九日發電】東伏見宮大妃周子殿下には葉山より御歸り後本月一日より葉山の御別邸に御休養中のところ、八日御風氣にて御發熱三十九度前後を示され入澤、雨宮兩博士拜診の結果チフスと御決定本日中に宮内省より發表の筈

支那演奏旅行の夫君

藤原氏の後を追ひ秋子さん來連

十二日入港のはるびん丸で大連で落ち合つて上海へ

◇…愛情の　涙を投げつけて世人から注目され、藤原氏からは常に「女房々々」と口癖のやうに周圍の人々を惱ます秋子夫人は目下支那演奏旅行の途にある藤原氏のあとを追ふて九日門司出帆の定期船はるびん丸に投じて來る十二日來連することになつた、藤原氏は大連、旅順、奉天の獨唱會を終へて八日夜奉天發天津に赴いたが、來る十二日天津より再び來連し秋子夫人と落ち合つて市内を見物し翌十三日大連出帆の奉天丸で連れ立つて上海へ

◇…歡樂境　上海へ愉快な旅をつゞけその後内地に歸り明春二月手を携へて布哇演奏旅行の途に上る豫定である【寫眞は今年の夏藤原氏が帝大病院に入院中撮つた彼と彼女】

われ等のテナーとして若き女性の禮讃の的である藤原義江氏の後を追ふて愛兒と家庭を棄て渡歐し、今秋九月藤原氏が帝都で病むと聞いては遙々とイタリーミラノから彼の病床に驅つけて敢然と世評を一蹴し

珍らしいけふの煙霧

沖待、繋留で埠頭の混雜

九日未明よりミルクの樣な濃煙霧が折柄の東北風に流されて大連埠頭を覆ひ、めまぐるしい年末の港風景を更に慌たゞしいものにした煙霧は午前六時ごろ全く埠頭を一色にしてしまひ、行き交ふ滿鐵小蒸汽の汽笛の音、信號所の霧信號の響、それらが絶え間なく鳴り渡り、十米突位へだてたところは見分け難く折柄定期船ばいかる丸の出帆日であつたが「さよなら」の聲に引離されて行くばいかる丸すら瞬間のうちに煙霧のためその互聽が分明しなくなるといふ有樣埠頭でこの日午前六時の調査による沖待船廿一ばい、正午迄に入港、繋留されたといふ

月平均的となつてゐること、平均濃霧期が三十三日四分の一と五日延びたことが判明した

交通訓練デー

十日の交通訓練デーには今回は特に歳末車馬行人雜閙を期して各署總動員取締に當り大連署にては遊動警三班に別ち特に歩行者の左側通行勵行に努めた

歳やうやく暮れて家出、踏倒し、ドロン頻り

人妻＝宿泊人＝店員＝抱へ酌婦

歳暮漸く迫つて慌しさに追はれた如く家出人の捜査願が頻々として大連署、沙河口署宛届けられた、今九日だけでも—

◇　福岡縣三瀦郡城島町畠中正房の妻初美(二九)は姑との關係面白からず風波絶えなかつたが長男正義(三)を連れて家出、先月二十六日出帆の嘉義丸にて朝鮮へ向ひ最近大連に來た形跡があるといふので九日夫より大連署宛捜索方願出た

◇　市内西公園町一五五大日本旅館會長と稱する杉原三十郎(三九)は去る九月十日以來市内信濃町二二泉館に止宿してゐたが宿料六十一圓不拂のまゝ先月五日から行方を晦ましたといふので九日館主より大連署宛捜索方願出た

◇　原籍名古屋市西區別武町字八鄕三三八七、當時逢坂町八〇香月樓抱酌婦太助こと小川キヤウ(二七)は去る七日午後二時無斷家出逃走したので九日樓主より大連署宛捜索方を願出たが、當人は甘井子土木課に勤むる男の許に逃げた形跡があると

◇　濱口永安街本町一二八料理店大觀樓抱へ藝妓網蝶こと樋口アサ(二二)は去る七日情夫元濱口商業實習生……に出來ないとされてゐたのを復へすに至れ、來春四月大阪の日本

醉狂て留置

市内沙河口霞町十二丁目滿鐵沙河口工場作業員森川寛(三二)は七日午後十一時ごろ沙河口仲町明石カフエーにおいて飲酒泥醉の上居合せた客に喧嘩をふきかけ器具を手あたり次第にブチ壞して暴行を働いて居るのを沙河口署員が取り押へ本署に引致した醉の醒めるまで留置場どめ、八日朝散々に油を搾られて歸宅

殉職警察官の弔慰機關を設立

近く發起人會を開く

警察官の殉職に際し從來何等民間的の慰藉方法なく殉職者の勤務個所により弔慰方法等につき待遇の厚薄あり少なからぬ缺陷を認めてゐたが、今回奉天新聞大連支社長佐藤武雄氏及び青年聯盟鈴木章次氏等主唱となり、弔慰機關を設立することとなり七日午後市役所に於て各方面關係者の協議會を開いた結果、準備委員を設け具體的の案を立てたが、近く發企人會を招集し設立方法を決定する由準備委員は左の如し

市役所、民政署、商工會議所、兩公議會各代表者、青年聯盟代表者金子章次、主唱者佐藤武雄

師走！師走！師走！——。

忙しいお金の勘定

師走に入つて會社も、銀行も「金」の勘定で忙しい。殊に遣りくりに氣をつかふところは一層のことである、しかし帳簿の會計課は忙しい中にもゆとりがある、月給、ボーナスが十分に賄へる人々の「金」勘定であるから……。【寫眞は忙しい滿鐵の會計】

貴金屬、寶石類專門の大泥棒捕ふ

安東署で手配中の代物

既報去る四日市内小崗子宏濟街質屋敷二十七號において遊興中を擧動不審者として小崗子署員が逮捕した山東省生れ住所不定曲文祥(三二)は取調べの結果、曲は去る廿二日午前三時ごろ安東市場通り九丁目四番地雜貨寶石商徐鑑成(三七)方に侵入し、陳列場を破つて在中の顯毛皮十一枚時價五百五十圓、鑑止め寶石入十二個百九十五圓、カフス釦十一個百六十七圓、ネクタイピン二十五個八十七圓、ルビーアレキサンダ約二千個六百圓その他貴金屬寶石類時價約千七百五十四圓を竊取逃走しかねて安東署にて手配中であつた稀代の大泥棒であることが判明した

深川工場爆發

十名重傷す

【東京九日發電】八日午後三時十五分ごろ深川區上大島町東京瓦斯會社深川工場の瓦斯清淨機が一大音響と共に爆發し屋根十數坪を吹飛ばし一面火の海と化したが附近消防隊駈附けて消止めた、從業員九名および消防夫一名重傷を負ふた原因は煙草の火からしい

ガスで絶命

市内大龍街八九滿鐵社宅忠恕方店員李振瀛(二〇)同王德昌(二四)の兩名は七日夜煉炭を焚き就寝したが、八日朝平日より起床が遲いため同僚が室内に入つたところ、李は煉炭の瓦斯のため既に絶命し王も土間に落ちて虫の息となつて居るのを發見直ちに博愛病院に收容したので王の生命は取止めた

日本で一儲けの支那人送還

一度大連の水上署で注意したに拘らず日本で是非一儲けしたいと先月廿二日武昌丸で出帆した山東生れ林春仲(二)外九名の支那人は案の上上陸禁止となりそのまゝ九日武昌丸で送還されて來た、彼等は何れも家財道具を賣拂つて旅費と見せ金をつくつて日本に渡らうとしたもので今日までに所持金全部を費ひ果して我的ペーチヤン〳〵を繰返してゐる當局では取敢ず青島に送ると

荷物方を奇貨にモヒの密輸

岡島一派の片割捕る

先月十四日檢擧せる岡島一派のモヒ大密輸事件については其の後極力大連署司法係に於いて取調べ中なるも、去る六日午後九、更に原籍山口縣玖珂郡岩國町大字川西一一四當時市内淡路町二四滿鐵大連列車區勤務福屋學義(三九)を引致した彼は荷物方なる自己の地位を奇貨として數回にわたつて長春、川、誠昌堂にモヒを密送し密送料を受取つてゐたものである、なほ彼等一派の現在まで判明した密輸額は六萬圓餘に上り目下引致中の連類者九名に逹しいづれも言を曖昧にして密輸の本元を自白しないと

◇

小池善太郎(二七)共に逃走し行方不明となつた、沙河口署では市内黄金町下宿屋……潛伏中を發見

市内磐城町五一吳服商三河屋店員寶積今朝太郎(三)は一ヶ月前より同家外交員として働いてゐたが、去る二日同店購買會印鑑及び主人より貸與された銀側時計を攜帶家出した儘歸來せぬので九日大連署宛捜索方願出た

◇

原籍石川縣石川郡一馬村字有松當時市内逢坂町末廣ビル二階一號田中四郎(二三)は滿鐵文書課に勤務してゐたが、本月初め免職となり長兒の市内浪速町一四八花乃家大店内田中征治方に同居中、蓄商會より蓄音機を買ひ代金不拂の儘行方不明となり九日兒征治より大連署宛捜索方願出た

入日朝より來連した樓主に引渡した

赤痢やヂフテリヤの病源毒素説覆る

蛋白質でないと……

細谷博士の研究遂に完成

【東京九日發電】傳染病研究所で五年來その研究に從事してゐる細谷省吾博士は赤痢、ヂフテリヤ、破傷風等の病源たる毒素は蛋白質でないとの理論を完成し、從來の醫學界の權威を覆すことゝなつた、前にその發表をなす事となつた、即ち赤痢、ヂフテリヤ、破傷風等の毒素は蛋白質でないとせば自然これを中和する藥品を使用して從來より簡易な療法を施し得る事と期待されてゐる、細谷博士は大正八年帝大醫科出身後、研究に入り昭和一年學位を得最近二ヶ年半の外遊より今春歸朝した人である

日滿連絡上り機

平壤への乘客富川氏をのせて、九日午前八時周水子飛行場を出發

平安異香（194）

葉多默太郎作　中一彌畫

戀の行方（二二）

サッと顔色を變へたが、それを見せまいとするやうに俯向いて、飛び立つ心をじつと押へただみ聲で
「瓢箪の縫紋を持つた女、心當りがないでもねエのだが、それがどうかしましたか」
そつて、下からじつと男の顔色を窺ふ陣十郎。旅商人はその陣十郎を睨み据ゑて、
「さうか、心當りがあるか。で、ゐなくなつたのは何時のことだ」
「二年昔の春だつたが、それが、一體どうなんだね」
「二年か、なるほど、さうだらう——その女がお前屍骸になつて出たのよ、屍骸になつて……」
いふと陣十郎、思はずせきこんで、
「どどこからだ、え、おう、何處から出たんだ」かぶさつて來るのを男は輕く流して、
「なあに、なんでもないのさ。心當りがありやそれでいゝ。その女は何といふのだな」
訊いたが陣十郎は答へない。顔を覗くと、陰惡な顔色をしてゐる。
男は、そこで始めて態度を變へた。くるつと前屈みになつて、
「陣十郎、わしは使廳のものだ、黒住源八郎といつて——おぬしは知つてゐたのだらう、どうもわしを知つてゐる樣子だつた。わしはおぬしを知らないが、おぬしはわしを知つてゐた。さうだらう」
「へえ、へえぢやないや。知つてゐたらう」
「へえ、存じてゐました」
「ぢや、訊くことは返答して貰はう。その女は何といふのだ」
「藤つていつてました」
「さうか、藤か——それで、その藤といふ女が瓢箪の圖柄の入つた腰袋を持つてゐたのでな」
「さうなんで——實はその藤つてのはわしの娘なんで。先刻こゝにゐたのが妹娘で、藤が姉娘——瓢箪の圖柄の入つた革袋はわしもこゝに持つてゐる。これと同じものを姉娘に持たせてあつたんでございます。が旦那、藤が屍骸になつて出たといふのは本當なんでございませうか」
「うむ、眞實だ。ふとした機會でわしが見付けた」
「それは一體、何處なんで……」
「そいつは今こゝでは云へない。そのうちに話をすることにならう、今は我慢をしてくれ——で陣十郎、その藤といふ女がゐなくなつた時のことで、何か心當りはないか。例へば、何處へ行くといつて出たとか、誰に誘はれて出たとかいふ」
「………」
「なにかあるだらう。あるらしいおぬしの顔つきだ。云つてしまつてはどうだ」
「………」
陣十郎はもう源八郎には耳をかしてゐないやうだつた。何か深く考へこんで物をいはないのだつた。
源八郎は、その樣子をじつと見てゐたが、例の辛辣な冷笑が、髭の伸び次第になつた頬を走ると、同時に松の根の腰をあげて、
「まあいゝ。それだけ聞けばなんとか目鼻がつくだらう。陣十郎、邪魔をしたな」
云ひ捨て、爪先走りに淀川堤へ駈あがつた。堤へ上ると、柳の下に二人の男が待つてゐる。配下の高倉四郎と下僕のからつけつの勘兵衛。何れも旅商人の風體だ。
「面白いものが手に入つた。とにかく歩いてみるものだな」
何時になく上機嫌な源八郎だつた。
「四郎、おぬしはこれからすぐ藤原へ引返して、日向へ行つてくれ。日向はお蘭の方の生母の故郷で、お蘭の方が二十の年までゐた所だ。行つてお蘭の方が入道殿と父子對面のために上京した前後の事情をとくと調べて來てくれ。ふとすると案外な土産があるかも知れない。なるべく詳細を調べて來るのだ」
「承知いたしました」
高倉四郎はピチ〳〵した魚のやうな活氣を見せて、そこからすぐ藤原へ引返した。
源八郎はある重大な秘命を受けて京都へ潜行中だつたので、そのまゝ京都へ急いだ。
「お大將、椋から出た女屍體の、下手人のめつこがついたつてわけで？」
「うむ、まあ、さうだよ——」
源八郎は笑つてゐた。

映畫と演藝

潮に乘る北斗

絶對的大衆映畫である。放蕩者で腕のたつ武家の二男坊、色好みの年増女、隠密をつとめて居る二男坊の兄、おとなしい二男坊の許嫁、そして慘忍な海賊の頭領。舞臺は異國情緒溢れる長崎である。此のクラシカルな背影の前に亂舞する妻三郎、川田芳子以下の姿を我々はすなほに受け入れる事が出來やう。
◆が何と云つてもストリーが簡單な爲に人物の紹介などが完全でない。從つて時々事件がひどく唐突だつたりする憾みがある。キヤメラも相當苦心してあるし、セットも凝つたつもりではあらうが、それ程の効果をもたらし得ず、かへつて少し悪洒落に墮して居る。あまり監督の企畫が大きすぎて、いはゆる眼高手低の結果に終つたのではあるまいか。
◆妻三郎の演出は近頃めづらしい味を見せて居るし、川田も忘れられて居た昔を思ひ出すに充分な若さを見せては居るが、妻三郎、芳子共に其性格の變化に强味が少しもない。殊にラストシーンに至つては、昔のオペラの眞似ではあるまいし、安價なセンチタルの濫擇山で思はず「妻三郎よおやめなさい」と云ひたくなる。
◆文句はともかく、面白く見られる映畫である。肩が凝らずに妻三郎のチャンバラに滿足出來る點だけでも興行價値はあらう。

噂話

けふの船で小波痴外氏が淋しく歸つて行つたが▲既報の如く同氏を繞り仲間の美談が傳へられてゐるが、その後乘船券を買つた人なぞが出て一層關係者を感激させた▲土曜日から日曜日へかけて劇台に暖かゝつたので各館とも賑はつた▲常盤座は開館の準備がすつかり整つたが、肝腎の建築の方が遲れてゐるので豫定通りの開館が難しいのでないかと懸念されてゐる▲また連鎖商店のパンフレットによると三月開館となつてゐるが、あれは何かの間違ひだらうと謂はれてゐる▲これは早く連鎖商店で訂正するなりマネキンを使つてハツキリした開館日を宣傳した方が得策だらうと噂されてゐる

R-140

滿洲日報

小賣商店の合理化

何もかも合理化の時代だ。小賣商店のみ時代の潮流から遅れることは出來ない。しかし合理化には苦惱が伴ふ。この苦惱を乘切り、合理化したかと思ふと、また次ぎの時代に合理化せねばならぬ。そこに小賣商人の奮闘を必要とし、不斷の努力が要求せらるるのである。

昔は老舗などいふものがあつた時代目かの何兵衛が、その老舗の主人として、ともかくも暖簾を張つて行くことが出來たのだ。ところが時代は常に進歩する。物質的進歩は社會組織、商業組織をも、根柢から革命し來つた。合理化とは、要するに新時代の要求に順應すべく、小賣商店が安定を求めて落ち着かんとするに外ならぬ。然るに時代のテンポは加速度であり安定したかと思ふと、次ぎの時代へと安定せねばならぬので、小賣商人の苦惱は際限ないといふことになる。そこで、どうしても苦惱と奮闘して、打ち勝つだけの覺悟と努力とが必要となつて來る。

アメリカには小賣商店王といふやうな人物が輩出した。小賣商店の痛苦は世界共通であつた。否、アメリカでは日本などよりも早く、小賣商店の受難時代が襲ひ來つたのであつた。ワナメーカは小僧から賣子となり、あらゆる受難と奮闘とそれに打ち勝つて、つひに小賣商店王といはるるまでになつたのである。これ彼が、小賣商人は顧客の購買係なりのモットオを以て徹底的に奮闘努力したからに外ならない。消費者の購買係、これ小賣商人の拳々服膺すべき格言であらねばならぬ。

現代の自由競爭的なる經濟組織（資本主義的であつて自由競爭の時代にあらずとの論もあるが）のもとにありては、小賣商人は出來るだけの努力によつて、自由競爭に打ち勝つて行かねばならぬ。經濟組織の變革を要求することは別とし、現實に生活して行かねばならぬ小賣商人としては、出來るだけの奮闘により、競爭に打ち勝つて行かねばならぬ。それには、どうしてもワナメーカの格言のやうに、商品の消費者すなはち小賣商店の顧客の購買係たるの心懸けを以て進まねばならぬであらう。

現在の經濟組織を以てしては、どうしても、商品を生産者から最も近道を通つて消費者の手に渡さねば駄目である。すなはちなるべく中間商人の手をくぐらぬことが肝要であるのだ。中間商人の手を、一回でも多く潜るといふことは、それだけ小賣物價を高くするといふことになるのである。小賣商人は、購買者の身になり、一錢でも安く賣ることを第一着眼とせねばならぬのである。これすなはち、仕入において吾人は、一層の努力を商人諸君に要望するものである。次ぎは資金關係である。殊に滿洲の如き與資本を相當に利用することの出來るところにあつては、ストックの半分ぐらゐを與資金勘定であつても、その運轉度數を多くすること、すなはち薄利にても可なり、成るべく早くストックを資金化して資本の回轉を迅速にすることである。それには購入組合の如き、または共同仕入の如き、出來るだけ色々の方法、組織を利用し、購買者の利益本位で努力すべきである。

尤も、かくいへばとて、購買力あつての小賣商店である。この大連の購買力は、果して如何。この滿洲の商品消化力は、如何の程度であらうか。その調査、觀測を誤つてはならぬのだ。店飾りや宣傳を行ひ、電燈をあかあかとつけたところで、購買力すなはち一般社會に、その商品を消化するだけの力がなかつたならば、それこそ暖簾に腕押しとなる外はない。新らしい商店街が出現したとしても、それを消化し盡すだけの購買力が一般社會に存せぬ限り、その商店街が、如何に小賣商店の合理化を具備して、眞の合理化たる安定といふところに到達し得ぬことは當然である。

電燈などをあかあかとつけ、數からいつても、また質からいつても分でないところに、合理化を求めんとしても、それは出來ぬ相談である。麥を作るには、まづ畑の大さから極めてかからねばならぬ。商品を消費し得る地盤の廣狹、力量如何を測定することが肝要である。尤も、社會の進歩發達を見越して、一石を打つことは別であること勿論だが、また經濟界の好況不況といふことも考慮に入れねばならぬこと勿論だが、在來のやうに、商品を列べ、店舗を張りさへすれば、自然と客は集まる、商品は捌ける、食つて行けるといふのでは、決して小賣商店の合理化といふことは出來ぬのである。

購買組合の勃興なども、ある意味からすれば小賣商店がそそつたともいへやう。ただ購買組合が日常生活の必需品（それも程度問題で、その限界の測定は困難だが）以上に、贅澤品まで配給することなどは考へねばならぬが、小賣物價の低下といふことは、購買組合の勃興によつて緩和されたりといふべく、しかも要する購買組合は士族の商法であり、專門の小賣商人にして、あらゆる方面から小賣商店の合理化を期するにおいては、その商品の消費者たる一般顧客は合理化されたる小賣商店の味方たることは當然でなくてはならぬ。

要するに現代は、何もかも合理化せねばならぬ時代である。小賣商店もまた合理化して時代の要求に順應して行かねばならぬ。小賣商人は顧客の購買係でなくてはならぬ。次ぎから次ぎへと要求せらるる小賣商店界の合理化も、この覺悟と努力さへあらば、常に新時代に安定して行くことは必ずしも至難ではあるまいと思ふ。

時局の影響で電燈も苦境
哈洋建て料金を徵收　高橋北滿電氣支配人

【ハルビン發】北滿電氣高橋支配人は最近の狀況につき語る

ハルビンは洋票の暴落で哈洋建で電燈料金を徵收してゐるので會社は歩が惡い、一キロワット十七錢五厘では金票の十錢をケコムので立たない、其れに本年は時局影響で新築家屋も少く工場、會社も節約、操業短縮で電力の使用率も減じてゐる上に電燈を使用して營業するレストラン其他が戒嚴令のため早く時間を切り上げるので打撃を受けてゐる、其外海拉爾の支那軍潰退に怖れた有產階級の人々が南下避難するなど全く文字通りの火の消えた狀態で會社としても經營は困難である、値上げは今のところ考へてはをらぬが、支那側電業公司も矢張り競爭値段で一キロワット十七錢五厘としてゐるが苦いことだと思ふ。尚ほ北滿及支那側電業はいづれも五千キロの電力を有してゐるが使用供給量は約三千五、六百キロ內外であると因に支那側電業は新市街と傅家甸に到る電車の運轉を開始してゐる

牛肉小賣に就て大連市民に告ぐ (二)
渡邊精吉郎

今年の九月上旬に大連市の助役に瀨谷氏が就任せられたので、私が挨拶に行つた節、瀨谷氏は私に牛肉の小賣問題はどう成つたかとの質問があつたので、私は市こそどうされたのか、市から私に御依頼があつて計畫したのであるが、今春有耶無耶に了つた切りに成つて居るが、市ではどう成さるお考へかと反問したのです、瀨谷氏はそれから今でもやつて貰へるかと問はれたので、其席から山田氏に電話で問合せたら、賣場さへ市が提供されるなら、何日からでもやつて宜しいとの返事であつたので、それでは實行する準備をすると共に、市では一應市場の牛肉商に私の採算を打明けて、値下げをすることが出來ぬかと交渉されたのですが、商人連は採算が困難なことを述べて、百匁を金五十五錢迄は下げると云つたが、最後に五十三錢迄に歩み寄つたのですが、市では暫く廉賣店を設置することを見合せて、在來の商人に安く賣らせて見ようといふことに成つたのです。

然し私はそれでは決して希望する樣な結果を見ることは出來まいと、思つたのです、なぜ私の出來ると、元來何故に大連では牛肉がこんなに高いのであるかといふことを、市民諸君に知つて貰ひ度いのです、それは牛肉商全體が暴利を貪るからであると一概には云はれ無い、暴利は素より暴利であるけれど、市場の牛肉商連は、此高い値段で賣つて居ても、決して一ケ月何百圓といふ、莫大な利益を得て居るのでは無いのです、場合に依ると喰つて行けるのが一杯で、惡くすると若干の缺損が出るといふ始末です、事實ですから仕方が無いですが、誠に不思議千萬の樣ですが、それは主として日本人の牛肉商の營業方針が間違つて居るのが原因で、厚利少賣主義を行つたからです、公設市場肉ですら、支那商人は値切ると値引をするが、日本商人は値引せぬ、日本人の店では日本人の買手は値切ることを氣の毒がるが、支那商に對しては氣樂に値切れる、結局日本人の店では餘り買はなくなつて、支那商に得意を奪はれるので、日本人各店の賣れ高が誠に少く成つた爲、百匁當りは高く賣つても、營業の經費が百匁當り高く附くのと、仕入が少量宛である爲めに、原價が非常に高いのです。

支那官憲が不逞團と通牒
坪井警部補の殉職で判明し　わが官憲の態度強硬

【間島發】坪井警部補の殉職に端を發し延吉縣甕聲磖子の支那官憲が賄賂を得て不逞の徒を庇護し中には義兄弟の誼を結んでゐる者さへあるといふ驚くべき事實が發覺したので今回の捜査事件に對して支那側が共同捜査を應諾しなかつたのも警察主權問題の外に右の如き事情の潛伏してゐることが充分判明した爲め我警察の激昂甚だしく場合によりては從來の協調主義を一擲せんとする強硬態度を示すに至つたところ之を看取した支那軍警首腦部は非常なる刺戟を受け近く延吉警備軍司令部に天多防會議を開催して匪賊及び思想犯の撲滅に就て協議することに決し敦化、額穆、延吉、和龍、汪清、琿春の各縣長及び琿春を除く各地駐屯軍の長官並に公安局長に對してそれぞれ召集の通牒を發した模樣である

交渉成立しても特產物は大連へ
松田鮮銀理事語る

【京城特】東支鐵道問題に對する奉露交渉成立の結果、現在大連に集中されつゝある北滿特產物の一部が再び浦鹽に向けらるるのではないかと解せられてゐるが、松田鮮銀理事は左の如く語つた

問題勃發の直後、既に明年二月までの先物が成立してゐたし二月以後の先約も引續き成立してゐる筈だ、此等は何れも大連經由で船のチャーター等も總て大連を目標に行はれてゐるから、今東支鐵道問題が解決したとしても直に浦鹽に廻るやうなことはなからう、本年の北滿特產物は東支本部線に出廻るもの〻一部を除けば大部分は大連へ集るものと觀ても不當ではなからう

吉林省保衛團改組延期

【吉林發】吉林省政府は今回國民政府より「露支紛爭惡化の折柄保衛團の改組は今後時局の解決する迄延期すべし」との訓令に接したので、此旨全省保衛團管理處に通達し同處は更に之れを管下各縣に轉報した模樣であるが、之れに依り今春來計畫中であつた保衛團改組は既に改組濟みのものを除く外延期となつた譯である

永衡官銀號で林場を閉鎖
吉海線で出材する迄

【吉林發】吉林永衡官銀號が吉敦沿線黃花松林場の境界線不明を唯一の理由として頑として開放を肯ぜず爲めに在吉林日支木材業者は勿論吉敦沿線在住民の生存にも關する重大問題とされて居るが右に對し某方面の觀察では現在の如く吉敦沿線から伐出する木材が吉長鐵路を經て滿鐵線に輸送される樣では省資本で敷設された吉海鐵道の利益とはならぬ故に吉敦鐵路と吉海鐵路の連絡が完成し出材が悉く吉海鐵路に依つて南滿に輸送されて其利益を省庫に收める事が明確となつた曉にたいて永衡官銀號が其林場の閉鎖を解く方針であらうと云はれてゐる

海拉爾は無事
チタから入電

【ハルビン發】海拉爾の最近の狀況がチタからハルビンに打電されて來た、通信は電信を利用したもので海拉爾は安全であると記されてあるきりであるが海拉爾滿洲里間の通信はこれによつて完全に通じてゐることが判る

學校騷擾の善後策
齋藤總督曰く

【京城特九日】齋藤朝鮮總督は十日夜京城發二週間の豫定で東上するが、本日正午記者團に對し最近頻發する學校騷擾事件に關し語る

流言蜚語で困つてゐる、大體教育の根本精神に就ては朝鮮のみならず內地でも考慮の餘地がある、背後の煽動者を早く處分して善良な學生の被害を少くしたい、今度の上京は政務打合せで特殊な問題は持つてゐない

避難民を保護

【吉林發】吉林省政府は今回省內各縣及設治局員に向け「國境附近在住民中露支時局の影響を蒙り避難し來る者に對しては一律に之を收容し衣食住を供給する樣」電命したと云はれてゐる

哈市の花柳界
歐亞不通で打擊を蒙る

【ハルビン發】東支東西兩部線の國境杜絕と多になつた爲め旅客も減少しハルビンの日本人旅館は非常に寂しく人影もない位ゐであるが時局の影響は旅館ばかりでなく一流料理店の如きも歐亞聯絡の開通してをらぬため、歐米歸りのお客がないので打擊を受け矢倉、武藏野、大吉等の一流料理店は地場の客以外特別の收入がないので悲鳴をあげてゐる

南征雜錄 (54)
難波勝治

臺灣の地勢

臺灣島と半島との相違、それはともあれ、臺灣と朝鮮とは同じく西向きの國である。北西二方面は蒙古風吹き荒む日本海の怒濤に洗はれながら、太平洋岸の緩斜面を和やかな黒潮に浸す本州とは反對に、朝鮮も臺灣も日いづる東の空を背にして、西側の平野を懸命に

愛撫哺育 するかのやうに、斯した地勢が齎す必然性は、兩地の開發史上に種々の痕跡を色附けて居るが、殊に臺灣に於て其區別を明かに認め得る若し基隆とその周圍に凝集する山塊とを扇の要とすれば、中央山脈を劃つて東の半分は疊んだ儘に、西の半分はサラリと開いて南風を迎へて居る形である、恰度そうした地理的形勢を遂ふて、赤道附近の熱帶圏から北上したインドネジヤ族や、支那東岸から來航した閩族が、茂みの南部の南畜たる西部臺灣に最初の根據を据ゑたので

蕃契以前 の南洋民族移動は勿論、中世紀以後に於ける歐洲文明東漸の跡に見ても、この地は常に世界交通の要衝に當つて居たが、今や日本の文化力及び經濟力が南進につれて、同じ意味の重要價値は益々濃くなりつゝある人類史學の示す所によれば、最初の日本民族を構成した分子中には確に黒潮に棹さして北進した熱帶種族が混入して居た、縱し夫は國民全體に血肉的浸透力を有つて居なかつたにせよ、其處に家屋の構造、衣服の樣式、宗教觀念に就て南洋から携へ來つたらしい

素樸健剛 な中核があつて、その後輸入された支那からの大陸文明を、完全に吸收消化するだけの消化力を具へて居た事、確實である、隨つて日本近時の經濟的進運も、曾て數千年前に北流した民族移動熱が、一轉して發祥地に還元膨脹せんとし、此往返反覆の間に足踏りたる臺灣の開發は益々緊要の度を加へつゝある、就中急務中の急務は東部臺灣の融化で、その現狀は之を西部に比して非常に見劣りする、試みに統計に依つてその一例を擧ぐれば、全島四百三十四萬の人口中、西部に生息するものは四百萬以上で、

東海岸は 人口[illegible]に足らぬ、昭和三年一月一日現在の耕地面積を瞥見するに、有租八十三萬三千八十七甲歩、無租四十二萬二千九百四十九甲歩、その州別に依る內譯は左の通りであつた

▲有租地表(甲步)

州廳名	田地	畑地
臺北	五四、七八〇	三三、五三一
新竹	七九、四四四	三七、一四一
臺中	八三、七九九	四九、一〇三
臺南	八〇、一〇〇	一六一、七五四
高雄	六三、〇一四	六三、二六一
澎湖	—	七、六八七
臺東	四、八〇七	七、〇三三
花蓮港	六、八〇四	一〇、三三五
計	三八〇、七〇八	三六八、八五

(田畑合計七十七萬六千五百三十三甲步、之に養魚池二萬一千七百四十五甲步、及び建物敷地三萬四千八百九甲步を加算す)

▲無租地表(甲步)

州廳名	國有	民有
臺北	三七、五七六	六三、〇八六
新竹	九、四九八	八三、一〇八
臺中	二七、二五八	五四、七九九
臺南	二九、三二三	六〇、三二九
高雄	一五、八九一	二九、七七七
澎湖	一、九六三	一、四三二
臺東	七六七	三、三二〇
花蓮港	一、九五二	四、八〇九
計	一二四、三二七	二九八、六二三

右表に依 つて東部臺灣と見るべきは、臺北州でも比較的人口稀薄な基隆以東の一半と、花蓮港、臺東の二州だが、この三者を合算しても右租地四萬甲步、無租地二萬甲步を超へるやうな事はあるまい、果して然らばその點だけでも、東西兩部の開發程度は二十と一との割合である（眞寫は蕃人とその家屋）

満日地方版

安東

家賃一割の値下げを斷行
満鮮製函の唐津氏が貸家十七戸に對して

當地江岸通満鮮製函會社唐津鶴吉氏は同氏個人所有の貸家十七戸に對し十一月分より家賃の一割値下げを斷行した

同氏の貸家十七戸は從來安東一般の家賃より割安であつたのに今回更に家主自から進んで家賃値下げを斷行したに就て一般から好評を以て迎へられて居る、尚借家人も唐津氏今回の値下げに對し只々感謝し喜こんで居る

恩賜の擬手を土屋一等卒に

昨年六月一日安奉線鷄冠山に於て馬賊の爲め盲貫銃創を受けた一等卒土屋銕夫氏は其の後廣島衞戍病院に入院したが遂に左手を切斷し畏れ多くも恩賜の擬手を拜受し去る八月除隊したが今回増加恩給と普通恩給計七百圓を下賜された

市場景品賣出

新設魚菜市場は來る十日より一週間開市記念の爲め特別大賣出しを行ひ總額三百圓の景品を附する事となつた景品券は二十錢毎に假券一枚を渡し十五枚で本券一枚と引換へるものであると

貯金成績良好

満鐵會社に於ては公私經濟節約の現狀に鑑み全社員に對し貯金預金の宣傳に努めて居るが、安東地方事務所經理關係の貯金成績は昭和三年度十月中の成績に比較して今年は口數に於て百二十一口金額に於て一萬七千九百七十餘圓の増加を來たして居る

贓品の自轉車

本月三日市内市場通七丁目川邊自轉車店方に一臺の自轉車を持參し賣却せんとせしが川邊方にては其の擧動が怪しいので拒絶したるを以て彼は他にて賣却せんとうろうろしておる處を巡邏中の田村巡査に怪しまれ本署に連行取調たるに此奴は原籍平安北道龍川郡内中面東洞金炳煥(二二)にて龍川郡南市日の出旅館前にありたる自轉車を盜んだものにて年末借財の決濟の爲め惡事を働いたものらしく目下引續き取調中である

國境雜聞

◇安東守備隊、憲兵分隊では七日全隊員に腸チブス豫防注射を施した

◇新義州王子製紙會社に到着した製紙用ドライヤーが破損したゝめ原因調査の爲め大連埠頭事務所員が來新七日歸連したが破損理由全く不明で損害約二萬圓の見込みであると

◇去月二十四日安東驛にて殉職した檢車區修車方小泉源次郎の遺族は各地からの同情金九百六十餘圓を感謝の涙を以て受取り七日法要を營み八日午後五時三十分安東發列車にて出身郷里長崎に歸つた

◇滿鐵地方事務所社宅係長能美末男氏は滿日來よりの病氣滿鐵病院に入院中であつたが此程稍快方に向つた

◇安東警察署木原司法主任は風邪の爲め去る四日より自宅引籠中

鐵嶺

一面識もない哀れな人に同情
西本氏の美談傳はる

人情紙より薄しといふ今の世にこれは又人情溢るゝ美しい篤行の人があり附近の者誰一人賞めぬ者は無い、それは過日滿鐵醫院で死亡した赤十字社鐵嶺委員支部の施療患者宮武彌助(五七)は十三歳の折櫻町西内商會の先代主人に連れられて渡滿愛撫せられて三十三歳まで二十ケ年同家の菓子職人として精勵して居たが、三年前同家を辭して以來不運のみ續き鐵嶺を引揚げ四平街に行き肺結核となつて内地に歸つたが、頼る人とても無い孤獨の身とて矢張り永年住み慣れ知人も多い鐵嶺の人に縋らんと去月下旬當地戸澤某氏を頼つて來たが戸澤氏は奉天に行つて不在而も近く當地を引揚げるといふ噂に戸澤氏と懇意の櫻町醫院西本恒市氏方に到り戸澤氏を頼つて來た旨を告げ現在の窮狀を愬えたところ日蓮宗信者として信仰に生きてゐる西本氏は其境遇に同情し一面識も無い宮武に對し親切溫情至らざる無く何とか身の處置のつくまで蘇生せよと其儘同家に世話する事となつたが永い間の流浪と身も魂も疲れ果てた宮武は溫かい人の情に漸く安堵したものか病勢は日毎に險惡となり明日をも知れぬ身となつたので西本氏は生前一度も醫師に診せなかつたとあつては面目無しと醫師の診斷を受けさせたが何分にも肺結核と結核性腹膜炎である爲め療養費も莫大を要する爲め茲に赤十字へ縋つて本人を助けんと知人の奥田愼八小池長之助鈴木喜久藏日蓮宗松田布教師其他の人達が奔願の結果施療患者として入院を許され本月一日入院したが藥石も人の情も効なく五日目に死亡した西本氏は孤獨の死者を心から憐み葬儀萬端總ての世話をして今尚故人の冥福を祈つてゐるが憐な人とは言へ一面識も無い者に對して斯うした佛のやうな心で世話してやつたといふ西本氏の篤行は誠に美しく神々しいものである

使用人に厚い情
松花ホテル主人の篤行

西本氏の美談と共に松花ホテル主人の篤行も又今時稀な人情美談である、當地松花ホテル女中お初さんは日頃から元氣の好い女中であつたが、風邪が因で病氣となり働く事も出來なかつたので先月上旬同家を辭し知人の家に二三日養生したが思はしからず又復松花に縋つたので一度解雇した者とは言へ曾ては同家に働いた者の事とてホテルの夫妻は心よく迎へ入院もさせて手厚い看護を與へてゐたが、遂に其効なく先月二十八日に死亡した、死亡後も葬儀萬端同家で負擔し法要なども家人と同樣懇ろに營み死者の冥福を祈つたといふ兎もすれば爭ひを起し易い雇傭者の間にも斯る美しい人情溢るゝ主人あり女中お初さんの靈魂も嘸かし喜んで冥福した事であらう

華語試驗合格

關東廳支那語獎勵試驗受驗者のうち當警察署警部補市丸新次氏は二等に同川島清治氏は五等に合格せる旨通知があつた

大石橋

山崎氏送別會

當地方事務所商工係川崎信夫氏は八日附を以て本社人事課に榮轉を命ぜられ不日出發の由なるが同氏は平素同僚間は勿論武道關係方面にも信望厚く緊縮の折柄にも拘はらず友人等は梅迺家に於て送別の宴を催すと同氏は在勤中市中商工業者のため常に熱心に盡力斡旋する處あり各方面より惜まれてゐる

清水氏も榮轉

地方係長清水外雄氏も八日附を以て本社地方部勤務を命ぜられたが出發期日は未定

支局長挨拶

伊藤支局長は細野本紙販賣店主と同道挨拶のため各機關を初め市中の主なる有志を訪問した

撫順

銀盤上に跳る滿洲の若人
愈よシーズン來り
撫順新コート準備整ひ開場

過般來注水中であつた新公會堂横の新スケート場は諸準備全く整ひ八日の日曜から開場一般に開放された、リンクは二百米突、中央は氷上集團ゲーム中最も壯快なアイスホツケー場になつており、位置が昨年の處より至極便利である關係上朝から小中女學生等のスケーターがうよ／＼する程スピードスケーテイングに日の暮るゝも知らぬ狀態である、撫順氷滑界で現在最も大衆的なのはスピードスケーテング、これに次ぐものはアイスホツケーである、フイガースケーテイングもやらぬではないが程度の低い爲にリンクを滑走する位の程度で巧妙な氷上ダンスなどは見られない、何れにしても酷寒烈風のなか女の子までが各種のスケーテングに餘念のないのは眞に壯快でコ、滿洲ならでは見られぬ情景を現出してゐた

藤村夫人の奇禍

藤村當地驛長夫人は去る五日自宅裏口の窓際にて耳掃除を爲せる折柄突然風に吹き飛ばされ戸に右手を打たれ箸を耳中深く突き入れ負傷されたのが原因で中耳炎となり目下奉天滿鐵病院に入院加療中である

處女雪を踏みスキーヤー飛躍
老虎臺スキー場日曜大賑ひ
近く全滿大會計畫

既報六日の雪は近來にない雪であつたらう急にとけず、撫順のスキーヤーの注文通り昨冬新設された老虎臺のスキー場滑走をそゝるやうに埋めつくした、昨冬降雪期は早かつたが本冬の如き大雪がなかつた事とて新調給來スキーを抱へて髀肉の嘆を洩らしてゐた

連中は 八日の日曜に朝飯もそこ／＼全山處女雪に包まれた老虎臺スキー場へと馳せつけたその觸れの主なるものは二木正隆支店長、炭礦人事係主任安藤氏、經理の隅野、工務の淺坂の各氏等數十名、二木氏等の名コーチヤーの指導で頂上から千百米のコースを自由自在に放たれた矢の如き巧な滑走を續けるものがあるかと思ふと、大の男がもんどりうつてブツ倒れ生きた

雪達磨 となるもの等々に千姿萬樣本シーズン處女滑走に大賑はひを見せてゐた、近く降雪の加減を見て昨年來數千圓を投じて新設した滿洲一のスキー場を廣く江湖に紹介すべく全滿スキー大會を撫順で開き度いとの事である、因に撫順に於けるスキーヤーは現在百數十名、近來益々スキー熱は旺盛を極め體育協會では炭礦木材係に請ひ極めて安價にスキーを調製一般同好の士の便宜を計る由である

大連三越が撫順で挑戰
師走氣分つのる

不景氣の上に緊縮風で撫順の各商店も相當あてられ氣味ではあるが、未曾有の商界受難の暮れを何んとか突破すべく各おもひ／＼に歳暮賣出戰にこゝもと奮鬪目ざましき狀態であらうへ大連三越支店が八九の兩日新公會堂で出張販賣をやつた値段は市中と大した違ひはないが呉服類から各種見切品に至るまで三越のマークが永安臺方面の奥さん連をチヤームしたものか兩日とも相當の盛況を呈し撫順の師走氣分を一しほ濃厚にしてゐた

煤都雜信

◇東海樓の芳江さん殊勝にも財布の底を敲いて金五圓也を獻金

◇撫順署では例年物騷な年に備へるため小警戒を十六日より(當番は全部非番半數を以て)二十四日迄全員大警戒は二十五日より三十一日まで行ひ大小盜はもとより小火見までも絶滅を期する由

◇遼寧省政府は全縣に壯丁募集を行ひ撫順からも本年末日まで壯丁二百五十名を募集奉天軍部に送る事になつてゐるが、不景氣で喰へぬものが多い關係から募應者殺到

◇過般強盜を勇敢に追跡遭難目下病床にある溝口巡査に炭礦より金一封の見舞金を送つた

撫順驛發送貨物
四萬八千四百噸
素晴しい十一月中成績

本年は今まで豫想外に暖かであつた關係上特産出廻り最盛期は例年に比し約一ケ月遅れたにも拘らず十一月中撫順驛貨物發送はなかなか多く豆粕、大小豆、和酒、米その他合して四萬八千四百八十六噸であるこれを仕向地別に示せば大略次の如し

▲大連埠頭一萬一千〇七噸四分(大豆八百二十五噸、豆粕二百三十四噸五分、その他)▲埠頭吾妻驛四百六十八噸八(米三百十九噸四分、高粱五十噸)▲小崗子二百〇八噸(全部殺)▲遼陽百〇五噸一▲奉天一千百十四噸八▲鐵嶺二百九十噸▲四平街百五十四噸▲營口百二十四噸四▲四洮線二百九噸(個人炭百九十八噸、アンペラ十噸(個の他)▲内地省線直送百四十噸五分(豆粕十三噸四分、その他)

煤都餘燼

◇擧國一致教化動員に奮起せるの秋

◇某邦人氣狂牧師は假りにも宗教家の看板を揭げ乍ら教化聯盟に參加を峻明

◇建國の神を祀れる神社參拜を拒否したと

◇敢て汝に問ふ汝は假面せる赤奴に非ざるかを

◇苟くも帝國神國の神を祀れる社はすべての宗教を超越す

◇斯る牧師に迷はさるゝ淳朴なる同胞の信徒あるを思ふ時吾人は慄然たらざるを得ない

◇思想善導の徹底を期さんとすれば偏見なるニセ宗教家の腦味噌から敲き直さねば嘘だ

瓦房店

旭萠會演奏會

熊岳城居住筑前琵琶の大家岡島旭萠氏は今回藝術方面より國民思想善導の爲め正しき謠曲を普及する目的を以て十一日午後七時より倶樂部に於て演奏會を開催する事となつたが一歌君ケ代を始め二十種の多きに達し主として蓄音機吹込なるも中には實演もあると

藤村家の慶事

瓦房店機關區藤村辰造氏令孃禮子さんは尾崎局長夫妻の媒介にて大石橋大隊副官寺尾勉氏と婚約成り七日天金に於て盛なる式を擧げた

購買會役員會

市中側小賣商人に比し大差なく物品に依つては却つて高價な品を配給するとて久しく改善を叫ばれた購買會當地支部も非難其極に至り遂に七日役員會を開催之が改善方法を協議した本年も餘す處僅となつたので來春年替りに於て宗款の改正をし其他漸次改善をなすべく決議された樣であるが購買方法の改善の如き即時に實行の出來得るものはしてほしいと一般の希望である

本溪湖

愛兒の永別を顧みずに入營
守備隊の根本保夫君

去る十二月二日本溪湖守備隊に入營せる茨城縣筑波郡久賀村東栗山根本保夫君は五年前父を喪ひ其後は自から一家の中心となりて老母及び二人の幼妹を養ひ昨年妻を娶りて一女を擧げ平和なる家庭の内に孝養を奨み居たるが、折柄徴兵檢査の結果合格して獨立守備隊に籤拔せられたが、恰も入營の前夜愛兒は突然急病に罹り醫師の手當も空しく終に君が出發の朝未明永眠した君としてせめて葬儀なりとも自分の手で營んで遣りたきは私情であるが、君は奉公の至誠に何物をも顧みる暇なく後事は老母と妻女に託し雄々しくも渡滿入營した、君は此の悲哀を胸に秘め元氣に軍務を勵み居れり君が奉公の至誠は全員の敬服するところとなつて居る

兒童の唱歌會

七日午後七時より小學校講堂に於て兒童の唱歌會を開催せしが何れも出來榮見事にて父兄其他の參觀者多數にて非常なる盛會であつた今度の會は小學校開設以來二十餘年の今日漸くスチーム煖房裝置の完成自祝を意味したものであると云ふ

署長の披露宴

山崎署長は新任披露の爲め七日夜料亭千歳に有志多數を招じ盛宴を張られたるが主客打寛ぎ十二分の歡を盡し非常なる盛宴であつた

加藤氏講演會

東洋大學教授加藤咄堂氏は六日夜倶樂部に於て最も權威ある講演ありたるが生憎降雪に惱まされ聽衆の多からざりしは遺憾であつた

長春

兩巡査の轉勤

今回高等科生を終了して歸署した宮原巡査は大石橋署に空閑巡査は奉天署に轉勤した

呂氏家族と奉天へ

尼市に於ける露支衝突交渉の結果東支現督辦呂榮寰の罷免が條件となつてゐるので支那側は交渉促進の爲め誠意を示し早くも同氏を罷免したので呂氏は家族を引纏め七日十三時廿分長春發、十六時二十分奉天に向つた

河合課長來長

河合關東廳衞生課長は關東長官代理として六日午後一時十分來長、

貔子窩

支那側の重税に寂れ行く城子疃
家畜類の取引絶無

關東州の東北州境に位し莊河二縣を控え[illegible]の開通と共に終と して將來を目され茲二星霜の間に異常の發展をなした城子疃市街が昨今めつきり寂れて行く樣になつた原因は支那税務局の重税に依るものであるが從來莊河復州方面よりの輸出入品十圓未滿のものに對しては免税なるものが今回奉天省の命なりとて一律に課税し先般山東牛肉輸出稅に依る影響を受けて盛になつた城子疃家畜市場の如きも從來牛一頭一圓の課税が一躍七圓を徴收され莊河方面よりの家畜類は殆ど杜絶えて終つた州境關門に在る同地李分所長は種々の非難があり今回轉動になつたが現狀を維持するに於ては城子疃は其影を沒すべく之が善後策は目下の最大急務と見られてゐる

故鄕巡捕長の葬儀に參列七日午前八時三十分發急行で陶家屯に赴き劉氏の遭難現場を實地檢分した

大金拐帶逮捕

去る五日午後五時頃市内日本橋通に於て折柄年末特別警戒中の一警官が擧動不審の一支那人を取調べた所懷中に三千八十五圓を所持して居たので本署に連行取調べた結果、朝鮮全羅北道に於て一貫金屬商に勤務中同店の金を拐帶して逃走したものであることを自白した

敗退將棋(十六)
滿日名家

【志澤氏一回二勝目】

香平交左香落 四段△鈴木一穗

三段▲志澤春吉

持駒 志澤氏 角 歩

【圖は二五銀迄の局面】

持駒 鈴木氏 角金香歩歩歩

【盤面以下指方】△一七玉▲一六歩△一八玉▲二八角△二六角▲七五飛△六二歩成▲同金△三五角▲四四歩△二二龍▲六二歩△二四龍▲三四歩△二五龍▲三五歩

【對局者の感想】鈴木四段曰く敵の二八角は嚴しい手です七七香と飛を壓する順を考へたが二七歩成と利かされると凌ぎがなくなるので止むを得ず二六角と受けて應手を見た。志澤三段曰く七五飛の出は相當危險な順もあるが武器がないので唯一の方法でせう。鈴木四段曰く二二龍の手は隨分考へたが他の攻めでは手遅れとなつていけません。

【大崎八段講評】下手敵が一八玉と引くを二八角と一七歩成の意味に利き壓迫を加へては最も大切なる角を二六に費さじ先に七五飛と活躍を計り局面に得る順ありてよろし。

滿蒙植物の採集雜話(17)
旅順 佐藤潤平

第三篇(六) 巡警に拉致されて

六月の下旬興安嶺の東側の調査を終つて博克圖を引揚げ西側の小嶺子に移つた、併しまだ東側では二三の採集のこりがあり花の咲くのを待つてゐた、で七月五日朝三時小嶺子を博克圖の公司の支配人宇野氏と共に發し四時すぎに博克圖に着いた、着いた時は小雨が降つてあつたが直ちに採集に出掛けた、公司へ歸つた時は朝の八時頃それから公司の池田支那語の通譯に案内されて標本製作のための古新聞四貫目ばかり買ひに街に出たこの時も私は採集服裝、背囊其他すべて採集要具を身に帶びてゐた頗が注々に目張番してゐる一巡警が私の容姿が異樣に見えたであらう、私を捕へて何所へ行くのかと聞いた通譯はその由を話した、それでことがすみ、我等二人は新聞紙を豫定通り買ひ求めた、それを持つて公司へ歸つた、池田氏はまだ採集するものがあるから池田氏と別れて郵便局の前を通りかゝつた、すると先刻の巡警が私を呼び止めた、そーてお前は何にするかと問ふ、で私は山の草を取るものだと答へた、でも彼はまだわからない、それで私は例によつて護照を示した所が巡警の馬鹿野郎讀めないじやないか、折から通りがゝりの商人風の男にその護照を讀み聞かされた、併し巡警が納得出來ず、私に背囊を見せろとある、で私は背囊の中も見せてやつた、でもまだ私から疑ひがとれないと見えて本署へ連行しやうとした、私は行く必要がないじやないか、私がこの通り貴國から發行した護照を持つてゐるだからと巡警がわからうがわかるまいがそんなことはかまはず日本語で話してやつた所が巡警これや一人では本署へ連れて行くことが不可能だと見たものか多數の巡警を呼び集めた、急を聞いて集つて來るわ／＼巡警、乞食のやうな容姿をした支那兵それに街の人々、私の周圍を黒山になつて圍んだ、中にはブナグレと云ふ奴も居れば捕縛せよと云ふ輩もゐる、さうしてゐる中に一つ二つ拳が飛んで來た、併し私は態度には少しも恐れた樣子を見せず左手に護照を持ち、これを高くかゝげて、この護照を持つてゐるものに危害を加へると國際問題だぞと叫んだ、さうしてゐる中に公司の田中氏が買物に街に出て來た、さうして辯明に務めた併し聞き入れない、そこへ公司の宇野氏や池田氏や田中氏などが掛けつけて同じく辯明したが矢張り駄目であつた、再度背囊の中を見せろと云ふから見せた、そして寫眞機を取りあげた、それでやむなく本署へ行くことにした、その時には宇野氏、池田氏が同行して呉れた、その行く途中など面白かつた、拔劍して悠々と本署へ引揚げたのであつた、途中に巡警十名許りと支那兵の武裝せるもの若干名と出會つたその時であつた、遙か向ふに彼等の姿が見えると取りあげた寫眞機を高くかゝげて得意滿面大手柄でもしたかの如くであつた、いよ／＼彼等を按し私等は名刺を通じ護照を示したら、その中の部長とでも思ふ巡警は、別に大したことはない何れ本署まで行つて下さいと私等に云ひ件の巡警にはこの人は大事なんだから親切に案内して行けと云はれた、それから云ふものは件の巡警今までとは打つて變つたもので本署へ行つてからお茶を上げませうかなどゝ云ふのであつた、本署へ行つて署長と會ふと卻つて先方で恐縮してゐた。(寫眞は採集姿の筆者)これが新聞記事となつて皆樣に御心配をかけた事である

奉天

讀書慾に富む兒童に良い書籍
圖書館が二千圓で買入れる

氣候風土その他周圍の關係にもよらうが滿洲における各小學校の兒童は内地のそれに比し四季を通じ冬季は殊更讀書慾に富んでゐるので兒童の前途を慮つた教育家有志は色々な方法で會を組織し兒童讀物選擇、蒐集などに努め善導せしめてゐるが、奉天圖書館でも約二千圓を以て兒童の讀物を選擇し各方面に亘るものを揃へ兒童文庫又は各小學校を巡回讀ましめる巡回文庫なるものを作る計畫を進めてゐる二千圓の兒童讀物選擇は實際上千圓ですら選擇讀物を購入しかねる程多數得られるため之が實現の曉には在奉各小學校兒童は勿論沿線の兒童も非常に惠まれて來る譯である

▲プレスト氏（太平洋會議オーストリヤ代表）八日安奉線急行にて來奉
▲サドラ氏（同上）同上
▲呂榮寰氏　七日夜歸奉
▲周四洮鐵路局長　七日四平街へ
▲太原本社支配人　八日朝來奉同夜歸連

瀋陽駄話

緊縮、節約の鐘が亂打されて以來どこもかしこも緊縮一天張りで二の文句も告げない▲かうなると一年に一度の歳末大賣出しにどんな影響を及ぼすであらうかとその身ならぬ他のものまでが不要ぬ心配をしてゐたものであるが▲サラリーメンは別に收入の減じてゐるのでなくそれに緊縮でもしたらどれだけ貯金がせられるであらうかといふのであるが▲歳末大賣出しこれは各商店の商品整理でもあらうが一年中一番かき入れ時である緊縮とは云へ顧客を迎へ大いに賣り上げるそれは商賣柄已むを得ぬ▲故に各商店とも顧客引つけのため鳴物で例年以上の大宣傳を行つてゐる▲宣傳の效空しからず各商店ともボツ〳〵時價品の賣れ行きを見るそしてその數は日を逐ふて増加するやうだ▲全く宣傳の效果ですよ不要な處には節約して時に應じて大いに宣傳するのも緊縮の眞理にかなつた道ですよ▲との或商人の話も尤もだが商民もかうした方面に漸次目覺めて行くのは何より喜ばしい事だ

最低氣温十七度三
寒かつた七日

一般に三日から奉天における氣温も著るしく降下し七日の如きは最低十七度三を示したが右氣温は今冬に入つて最初の最低氣温であると

町の便り

八日の日曜日は近頃ない小春日和に惠まれて市中は年末大賣出しで大賑ひを呈したが一方滿鐵舊グラウンドのスケート場もファンで盛況であつた

◇

駐滿滿期兵の關東廳巡査志願者の採用試驗は八日午前九時より施行された受驗者は沿線各地より來奉せるものも合して卅八名に達し午前中は學科試驗午後は身體檢査が行はれた

◇

梅村[illegible]子は七日撫順に赴き八日歸奉したが同日十五時半發安奉線急行で歸國した

◇

熊本出身力士司天龍事田代喜市氏は九州相撲一行から離れ奉天に來り當地相撲道のため盡力することになつたが八日午後五時十間房篤の家に於て盛大な斷髮式を行つた

◇

滿洲醫學會支部では九日午後四時から醫大第五講堂に於て例會を催した

◇

支那問題研究會例會は九日午後四時から奉天公會堂に於て開催され太平洋會議を中心とする滿洲問題について佐原盛京時報社長の講演があつた

◇

我等のテナー藤原義江氏の送別獨唱會は七日午後七時より春日小學校に於て開催されたが、さしもの講堂も定刻まで既に滿員の狀態で無慮千名に達し氏獨特の獨唱には何れも恍惚として陶醉してゐた、かくて午後九時終了し盛大なる歡迎會が開かれた、猶同氏は村岡樂童氏と共に八日朝北寧線で天津に向ひ上海經由赴歐する由

◇

この程腸チブスで醫大醫院に入院した奉天署高等係の清水熊吉氏夫人はその後容態よからず遂に七日午後四時死去した猶葬儀は九日午後三時橋立町葬齋場に於て營まれた

人事

▲須藤大連憲兵分隊長　七日來奉
▲河合關東廳事務官　七日夜長春より過奉歸旅
▲金丸滿鐵監査役　七日安奉線急行にて來奉
▲藤原義江氏　八日天津へ
▲村岡樂童氏　同上

吉林

材木同業組合の陣容漸やく整ふ
改めて枕木問題陳情

吉林材木同業組合では過般商議員會の際滿鐵會社への枕木請願書に關し討議を行つたが、右請願書の内容に於て元請側の議員と下請側の議員との意見の相違から遂に三ヶ島、赤池、吉武諸氏の辭任申出でに引續いて總辭職を招來した、そこで去る二十八日臨時總會を開き商議員改選の結果、三ヶ島、寺尾、前田、久禰田、奧田、岩田、平尾の七氏當選を見たが又復三ヶ島、前田、寺尾三氏が辭任を申出ると云ふ情況で其上に組合長候補者と目され居る久禰田孫兵衛氏が旅行不在の爲め組合長以下役員互選の議員會が遷延されつゝあつたが愈々去る五日夜居留民會に於て新任商議員會を催し其結果豫測の通り組合長に久禰田氏副組合長に奧田一郎氏有給理事に慶田氏兼任會計に平尾芳次郎氏の當選を見た然るに當にした組合長久禰田氏は社業務の都合上就任し難しと固辭した爲め再詮議を行つた結果組合長に奧田一郎氏、副組合長に岩田廣次氏就任に決定した、茲に於て過般來揉めに揉め拔いた吉林材木同業組合も漸く安定し愈々滿鐵會社に對する請願運動の實行に着手する模樣である

江風會謠曲納會

吉林江風會では來る十五日午後九時より松江俱樂部に於て、本年度謠曲會を開催し男女會員一同が目出度く謠納める事になつたと

劍道部の納會

吉林劍道部は愈々來る廿二日尋常高等小學校講堂に於て本年度の稽古納めを行ふ事になつた

人事

▲吉林副司令部顧問林大八氏　出奉中の處五日夜歸吉
▲吉林領事館栗本書記生　嘉屋外一名は吉海鐵道沿線へ出張
▲同館片桐署長　教化方面へ出張中の處歸任
▲吉林滿鐵公所長栗野俊一氏　七日吉林出發京城方面へ出張

鞍山

教化動員聯合會愈よ活動を開始
廿日映畫會と講演會

這回新らしく組織された鞍山教化總動員聯合會では會の目的を達成する第一回の試みとして來る二十日演藝館に於て映畫會及び講演會を開催する事となつたが更に印刷物を配布する筈で各役員は總動員の實を擧げるべく努力して居るが聯合會長は林地方事務所長に決定したが會の規約は左の通りである

鞍山教化總動員聯合會規約

第一條　本會は鞍山教化總動員聯合會と稱す
第二條　本會は左の學校及諸團體を以て之を組織す
一、中學校
一、小學校
一、各種各派宗教團
一、修養團鞍山支部
一、實業青年團
一、青年聯盟鞍山支部
一、在鄉軍人會鞍山分會
一、各種婦人團
第三條　本會は國體觀念を明徵にし國民精神を作興し經濟生活の改善を圖り國力を培養するを以て目的とす
第四條　本會の事務所は之を鞍山地方事務所内に置く
第五條　本會は其の目的を達成する爲左の事業を行ふ
一、講演會、映畫會等の開催
一、印刷物其他の刊行頒布
一、其の他本會の趣旨に適したる事業
第六條　本會に左の役員を置く
會長（一名）委員（若干名）
第七條　會長は鞍山地方事務所長之に當り本會を代表して會務を統理す
會長事故ある時は會長の指名したる常務委員之を代理す
第八條　委員は第二條の諸團體の代表者、鞍山警察署長、鞍山製鐵所事務課長及社會主事之に當り本會に關する重要なる業務を審議す
第九條　本會委員中より左の常務委員を設け本會に關する事務の遂行に任ず
一、鞍山警察署長
一、鞍山製鐵所事務課長
一、神道團代表者
一、佛教團代表者
一、基督教會代表者
一、修養團鞍山支部代表者
一、青年聯盟鞍山支部代表者
一、實業青年團代表者
一、在鄉軍人鞍山分會代表者
一、鞍山婦人團代表者
一、社會主事

製鋼所の滿洲設置に贊成

大連に於ける製鋼所州内設置運動は漸次熾烈となり期成同盟會の成立を見て之が實現を期する事となつた出であるが未だ運動の具體的方法は講ぜられて居ない模樣で其運動の準備行動として奉天、撫順、鞍山三地の各代表機關の了解を求むべく期成同盟會長石本大連市長は市會議員篤井新助同相川米太郎二氏と同行にて八日午後三時八分着の列車で來鞍し實業協會堂に於て地方委員議長増田直次、同副議長石川義助、鞍入組合理事長齋藤元三郎、實業協會會長植田貞造の四氏と會見し種々懇談する處あつたが此運動が鞍山、大連の獨自の立場からは其土地を第一の候補地となすものであるが大體の方針は朝鮮を廢して滿洲の適地に設置する事を要望するのが目的で此點は鞍山側としても了解する處があつたと

製鋼所問題で地方委員協議

鞍山地方委員會では大連より製鋼所州内設置に就て後援方を依賴して來たので七日午後一時半から地方事務所に於て緊急委員會を開き協議する處あつた

開原

市場會社定時總會

開原市場會社にては來る十七日午後一時より同社に於て第二十二回定時株主總會を開催
一、營業報告書、貸借對照表、財產目錄及損益計算承認の件
二、利益金處分に關する件
三、監査役高[illegible]健氏任期滿了に付改選の件
を附議する事となつた

開原臨時總會　解散を附議

開原銀行にては營業を滿洲銀行に讓渡したるにつき來る二十一日午後二時華商公議會に於て臨時株主總會を開催し同行解散及び清算人選任の件を決議する事となつた

遼陽

石炭檢斤は成績良好

遼陽警察署では七日朝市内一齊に行商人、商店等の度量衡檢査を實施すると同時に市内に運搬する石炭の檢斤を實施したが行商人の秤には可なり不完全のものもあつたが從來兎角の評あつた石炭は斤量不足もなく成績良好であつたと

民食輸出取締

遼寧省政府委員から縣政府へ七日附の訓令に依れば本年の農作物は省内一般に不良であつたのみならず戰禍の爲め明年の收穫まで果して主要民食に不足するなきや懸念に堪へず若し民食に不足を來すが如き事ありては忽ち生計困難に陷るを以て各縣長は管內商民に布告して管外への輸出と買占めを嚴重に取締ること丶なつたと

コドモページ

エスキモー人の雪のお家
冷たい氷の上に温い夢を結ぶ

雪のお家……なんていふと何だかお伽ばなしのやうですねだがね北極の近くに住んでゐるエスキモー人はほんたうに雪でお家をこしらへて住んでゐるのですよ。北極つてどこだつて？それや、ずいぶん遠いところなんです。奉天よりも、長春よりも、ハルピンよりもいやもつとく北の方の年中雪や氷にとざされたそれはく寒いところです。その北極附近は半年晝で半年夜の不思議な國ですが、そこにはエキスモー人と言つて大人でも背が普通の子供位しかない人々が住んでゐるのです。きつと餘り寒いから大きくなれないのでせう。此のエキスモー人は冬になると雪でおうちをこしらへます。雪でお家が出來るものかつて？ところが立派なお家が出來るのです。先づ一嵐の雪が積ると、エスキモー人たちは雪の材木を……え？雪の材木は少し變だつて？ではまあ雪材とでも言つて置かうか、その雪材を長さ三四尺、幅二尺、厚さ五六寸位の大きさに切り、之をまるで煉瓦でも積むやうに圓形に重ねて行つて、まんまるい屋根のお家を作るのです。このやうにして出來た雪のお家は嵐が吹いたり雪が降つたりする度毎に益々堅くなつてしまひには堅固な家になります。私達のお家を造るのには二ケ月も三ケ月もかゝりますが、エスキモー人は二人がたつた八時間餘りで高さが十二尺、廣さが十五六疊敷位の大きなお家を建ててしまふのです。そこには地鎭祭もなければ棟上げ式もありません。お窓は？さうく お窓はガラスなんてぜいたくなものはないから海豹の透明な腸を何枚も綴合せた幕を張つたり薄い氷を張つたりしてこしらへるのです。エスキモー人は此の雪のお家の中に灌木の枝をならべて寢床をつくります。そして、その上に何枚もの毛皮にくるまつて溫かい夢を結ぶのです。部屋を温めるには海豹から取つた油をともすだけ。それで寒いとも何とも言はないのです。何と不思議な人達ではありませんか

キツネノ アカチヤン

ニツポン デモ セイヨウ デモ オハナシ ノ ナカ ニ デテクル キツネハ ミンナ ヒトヲ ダマシタリ イチノ ワルイコトヲ シタリスル ワルモノ バカリデスガ キツネ ハ ケツシテ ソンナ ワルイコト ヲ スルケモノ デハナイノデス。キツネハ タイヘン オクビヨウナ ケモノデ ノハラノ クサノナカニ キテモ イツモ ビクビク シテヰマス。コレハ キツネノ アカチヤン デス。キツネ ダツテ カアイイヂヤ アリマセンカ。

僕の童謠

大廣場小學校二年 森照男

はつぴやう會

はつぴやう會は
おも白い
ほんをよんだり
お話したり
うたをうたつて
おも白い
ぼくはほんを
よみました
はつぴやう會は
おも白い
わらひ話を
しましたり
マンガの本を
よみますよ
ほんとにほんとに
おも白い

玉入れ遊び

玉入遊びは
ゆかいだなあ
下關から東京へ
玉はころんで
行くんだが
とちゆうで穴へ
おつこちる
玉入遊びは
ゆかいだなあ
まわしてゆすつて
すゞ中に
コロコロころんで東京へ
とうとうぶじに
つきました

よまわり

カチカチカチと
よまわりが
拍子ぎたたいて
とほつたよ
時けいを見ると
九時はんだ
ぼくはびつくり
おどろいて
とんでふとんに
はいつたよ
よまわり向ふに
行つちやつて
拍子ぎのをとも
きこえない

星のない夜

星のないよは
さみしいな
お月さん一人で
さみしかろ
星のないよは
さみしいな
電氣の光が
つよいな
星のないよは
さみしいな
向ふで犬の
こゑがする。

ニドメノ 大チヤンノタンケン (158)

ハルミチ作 ジラウ畫

大チヤンノ トコロニ アワテテ カケモドツテキタ ダラスハ シキリニ ナニカ イヒナガラ ホラアナノ デグチノハウヲ ユビサシテキマス。大チヤンハ ダラスノ イフママニ アナノデグチニチカヅイテ イワカゲカラ ソツト ソトヲ ナガメルト ソコハ キリタテタヤウナ カイガンデ オホキナ イハノ ウヘニ ヒトリノ ムスメガ ウミノ オキノハウヲ ナガメナガラ サメザメト ナイテ キマシタ。

「アレデス アレデス アレガ ワタシノ サガシテヰル ワウサマノ オヒメサマデス」

大チヤンニハ ダラスノ コトバガ ヨク ワカリマセンデシタガ ドウモ サウ イツテヰルヤウニ オモハレマシタ。

兒童の作品

お父樣のしくじり

嶺前小學校三年 和田春海

これは、まだ去年の事であつた「はあちやん、おきなさい」私はお父様の大きなこゑに目がさめた。外を見ると、まだまつ暗で、お星様も光つて居るし、電しんばしらに赤い電氣がともつて居た。「まだねむい……」私と、兄様は言つた、お父様は「もう六時だよ、早くおきなさい」と、おつしやる。女中もまだねてたらしい。お父様のトンくと、かいだんを下りていらつしやる足音がする。しかたなしにお兄様と、目をこすりながら下に下りてみた。女中は子供べやの時計の前に立つてぼんやりして居る。私は「どうしたの？」と、聞いた。すると女中は急に「くすく」笑ひ出して「まあだ、二時半で御ざいますよ」と言ひましたので、私と兄様は「えゝ……」と、言つてびつくりしました。よくく時計を見ると、お父様は長い針とみぢかい針と、みちがへてゐるのでした。三人で大きなこゑで笑ひ出しました。私は、「お父様まだ二時半よ……」と言ひますと、「バカそんな事は、ないよ」と、まじめになつて、おこりになるのでおかしくてたまりません。お父様を時計の前につれて行つて「ほうらほうら」と、言ふと、お父様、頭をかいて、すごくと二階へ上つておとこにお入りになりました。

キノフ

沙河口小學校一年 フチタオサム

キノフ ハ ヤスミ デシタカラ ボクト コタケクント スズキクント アリタクント 四ニンデ オカネヲ モツテ 日ヨウガツカウニ イキマシタ。日ヨウガツカウニ キタラ 人ガ 一パイ ヰマシタ。一バンニ シヨウカヲ シマシタ。ニバンメニ オイノリヲ シマシタ。

短歌

神明高女二年生作品 棚原 靜子

すゐれんの眞白に咲ける池の面をとんぼ三つ四つすいくと飛ぶ
×
くみ置きしたらひの水に幾たびも翅ひたしけり赤き子とんぼ
×
初冬の朝はしづけしほのぐと舟のかなたのしらみくるかな
×
寒くややたち返りたるこの朝げ驢馬のなく音の身にしみ聞ゆ
×
何やらむ土にうつれる紫のかげ崩れけり花の散るらし

伴野 政江

×
朝つゆにぬれし苺をつみとりて籠の重きに心おどりぬ
×
ひそくと落葉に時雨のそそぐ音を湯ぶねにありて靜には聞く

米歐 ところどころ……(四) 西洋の小原女

阿左見 福馬

之はポルトガルの首府リスボンで見た小原女姿の魚賣です。今三々伍々打連れて波止場から市中に魚を賣りに行く處です。跣足でこうした姿は西洋では珍しい事です。

愛慾の窓（183）

戸川貞雄作
淺枝次朗畫

犧牲（一三）

龍吉はさう云ひながらつかつかと英輔の前にすゝみ寄ると、洋袴のポケットに突つ込んでゐた左の手を、ぐいと英輔の眼の前に突き出した。その手の先には、拳銃が光つてゐるのである。

「……歸れ！貴樣はまだ姉さんを誑らかしに來やあがつたんだな！」

彼は憎しみに堪えない調子で叫んだ。

「歸れ！さつさと歸つてゆかないと、撃つぞ！」

「……龍吉君！思ひちがひをしちや困るよ、僕は大切な用のために來たんだ」

英輔は、龍吉の殺氣に殺氣を感じながらも、おちついた聲で云つた。

「……龍吉！小綠さんは家出なすつた奥さんを尋ねていらしたんだよ！そんな危いもの止して！先刻もわたし云つたんぢやないの！」

美知子は背後から龍吉の腕をおさへた。

「ハヽヽヽ！姉さん、そんなに心配しなくてもいゝよ……」

と、龍吉は唇をひき釣らせて笑つた「……この拳銃は小綠さんのだ。だから僕は返してやらうといふのさ！さ、受取りたまへ！」

龍吉は拳銃を英輔の前に更に突き出したが、英輔が受取らうとしないのを見ると、ひよいと無雜作に英輔の服のポケットのなかへ捻り込んだ。

「その代り、早く歸るんだぜ！」

「……では僕は歸るとしようね」と、英輔は寂しく苦笑したが、美知子の方に顏を向けて「……僕を信じて下さい！若しも倭文子がこゝへまゐりましたら、引止めておいて下さい。さうして僕の邸へ電話を掛けて下さい。僕は飛んで來ます。それから草野君の公判のことですが、明日判決が下つても、まだ控訴出來ます。よく辯護士とも相談なさるんですね。僕の偽證が悪かつたとしたら、僕も控訴の場合にこの前の公判に於ける自分の偽證を取消します！そのために僕が偽證罪に問はれるとしても、苦くはないと思ふ……控訴の間に、例の遺書の方も調べませう」

と、筋道立てゝ説く。その説くところに一點の虚僞もあるやうには思はれなかつた。

「わかりましたわ、あなたの御好意も、あなたのお言葉も、よくわたしにはわかりましたわ。それにしても倭文子さまのこと、心配ですわねえ」

美和子は眉をひそめた。

「……まさか、飛んでもないことをしてくれやうとも思はれませんが、しかし心配で堪らないんです」

英輔はきつと唇を嚙むやうにしながらうつむいた。

「……でも、明日の判決を氣にしてゐらつしやることは事實ですから、そんな早まつたことをなさる氣遣ひはないと思ひますわ、明日にもこゝへおいでになるかも知れませんわ」

美知子は慰め顏に云ふ。

「……さうですわ。さう思つて兎に角一先づ僕は邸へ戻りませう」

英輔は辭し去つた。

英輔を門口を少し離れた空地に待つてゐた自動車にまで送つて來た。そして美知子は息を切らして二階へ駈け上つて、窓際に悄然と突つ立つてゐる龍吉の前に立つた。

「……龍吉！」

彼女は低く、しかし鋭く呼びかけた。

「……何さ」

龍吉は白い眼を上目遣ひにして美知子の顏を見上げた。

「……有難うよ〳〵！小綠の邸へ忍び込んで、あの遺書を古新聞とすりかへて持ち出してきたのはお前だらう？」

美知子はあたりを憚りながら、しかしゴム毬のやうにはずむ心臟をおさへかねて、聲を顫はせた。だが、龍吉の答は意外だつた。

「……僕、知らない！」龍吉が、

新刊紹介

▲戰記名著集（第六卷）安川中尉の「血煙」大竹特務曹長の「劍と筆」二篇を收む、何れも日露戰爭の實戰記で當時の狀況を眼前に髣髴せしめる（豫約品）東京市神田區錦町二丁目十九番地戰記名著刊行會發行

▲文藝時代（十二月號）新進作家夫人達の「私の夫に就て語る」其他（定價金三十錢）東京市牛込區矢來町七一新潮社發行

▲大乘（十二月號）大谷光瑞氏の無題錄、佛敎の大意、長江秋色其他（定價金四十五錢）京都市紀伊郡伏見村字堀内大乘社發行

▲西伯利鐵道旅行案内（非賣品）北日本汽船株式會社發行

▲海商雜誌（十二月號）定價金二十錢、北海道札幌市北三西六北海道廳内、北海道畜産協會發行

▲新文藝日記 昭和五年版の新潮社の「新文藝日記」は、新味溢るゝ裝幀に飾られて出た。卷頭を飾るグラビヤ印刷の數葉は、殊に日記の最大特長であるが、この日記にのみ見る所で要史は、本日記の一ケ年間の文壇の出來事は一目の下に看取される。本文には從來と全く面目を異にする讀み物がお極めて豐富で、新人二十六氏の「私の顏」をはじめ、諸大家の「私の生活」「趣味と娛樂」等、讀むべきものが多い。附錄の「文壇年鑑」には昭和四年度に於ける小說界、評論界、戲曲界、並に世界各國文壇界、映畫界の展望、それから現代文士錄（近代作家の年鑑）及び著名同人雜誌編輯者、新聞社文藝部員一覽等を集めてある定價九十錢

▲短歌日記（昭和五年版）附錄として增訂明治大正和歌年表現代歌人錄を收めてゐる定價一圓二十錢 紅玉堂出版 東京

▲國民詩歌雜誌（十二月號）定價五十錢 牛込區山伏町 其社發行

▲實業界（十二月號）定價二十五錢 東京麴町區平河町 實業社發行

▲靈と人生（十二月號）定價二十錢 東京市外杉並町 心靈研究會發行

▲實業青年（十二月號）定價二十錢 東京麴町區平河町 實業社內實業青年修養團發行

▲土（十二月號）島田青峰氏主宰の俳誌 定價二十五錢 東京牛込

妙布
外用
妙布
外用

皆様の

健康のために
幸福のために
コリを和らげ
痛みをのぞき
疲れをなほす
勝れた効能を
お試し下さい

主治効能

肩腰のコリ
リウマチス
うちみ
神經痛
乳のコリ
過勞の痛
胸咽喉の痛
筋肉の痛

定價
金二十錢
金三十錢
金五十錢
金壹圓
全國到る所の藥店に有ます

本舗 愛山堂
東京市麻布區霞町二十一番地
渡邊輝綱
電話青山二六二七番
振替東京四六〇七番